

IP ADVANCED RADIO SYSTEM
IP500M

この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

はじめに

1 ご使用前の前に

2 基本操作

3 応用操作

4 各種機能の設定(SETモード)

5 各種機能の設定(WEB画面)

6 別売品とその使いかた

7 保守について

8 ご参考に

さくいん

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、auの4G LTE(800MHz)網を経由した音声通信やメッセージ通信ができるトランシーバーです。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本製品の概要について

◎ auの4G LTE(800MHz)網を経由した呼び出し(個別/グループ/全体)やメッセージの送受信^{★1}、ステータス情報(例:会議中)^{★1}の送信ができます。

※端末側でどのグループに所属するかを選択できるトークグループにも対応しています。

◎ 2種類(単信/複信)の通信方式^{★2}に対応しています。

◎ IP54(防塵形と防まつ形)^{★3}の性能に対応できるように設計されています。

◎ 本製品は、免許不要・資格不要です。

★1 送信できるメッセージやプレゼンスは、あらかじめ設定された内容です。

★2 単信は送信と受信を交互に切り替えて交信する方式、複信は同時に通話できる方式です。

★3 「IP表記について」(P.ii)をご覧ください。

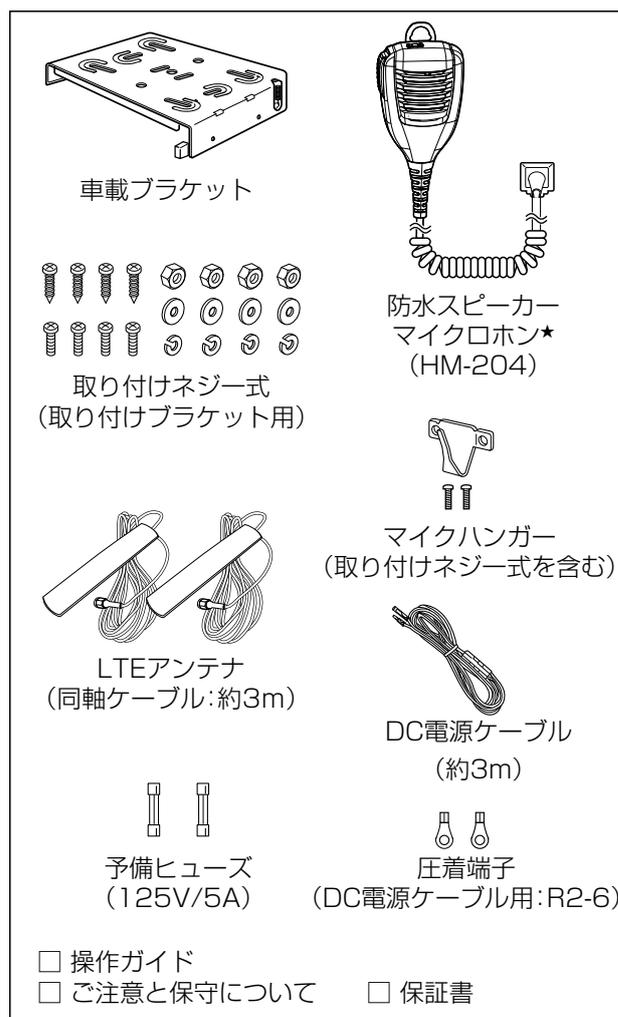
自動車運転時のご注意

◎ 安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。

◎ 無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。

◎ 安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。

付属品について



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。本書の内容の一部または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

はじめに

防塵/防水性能について

マイクロホンが無線機本体に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- ◎ 雨の中や水滴が付着、またはぬれた手で、マイクロホンや外部スピーカーを付けたり、はずしたりしたとき
- ◎ 防水スピーカーマイクロホンが接続されていない、または正しく接続されていない
- ◎ 落としたりして、強い衝撃が加わったとき
- ◎ 本製品を分解、または改造したとき
- ◎ 蛇口から水や湯を直接当てたとき
- ◎ 水や海水につけたとき
- ◎ -10°C ~ $+60^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用したとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

防水スピーカーマイクロホン、またはテンキー付きマイクロホンが無線機本体に装着することで、IP54の防塵/防水性能があります。

※上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。
別売品は、防塵/防水性能をご確認の上、ご使用ください。(6章)

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

- IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること
- IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

日常のお手入れと点検について

- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- ◎ 定期的に決まった位置の相手局と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。
- ◎ 音量が最小に調整されていないか、無線機本体のツマミを回して、表示される音量レベルを確認してください。
- ◎ ご使用になるときは、アンテナが確実に固定されていることを確認してください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

セキュリティーについてのお知らせ

無線LAN製品をご使用になるときは、下記のURLにアクセスしていただき、「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意」をご覧ください。

http://www.icom.co.jp/network_security/

はじめに

電波法についてのご注意

- ◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎ 本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。
本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。
したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。
また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用しないでください。
- ◎ 5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されています。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをご守りください。

- ◎ 植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行、および使用してください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
- ◎ 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
- ◎ 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
 - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
 - 病棟内では、本製品を使用しないでください。
 - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
 - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- ◎ 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

- ◎ サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。
移動局として車内に設置する場合、炎天下では、車内の温度が極端に上昇し、本製品に悪影響を与えます。
また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。
- ◎ 車載運用では、バッテリー保護のためにも、1日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。
- ◎ 磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎ パソコンやその他の周辺機器の取扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- ◎ 本製品が原因で発生した債務不履行、または不法行為に基づく損害賠償の責任は、当社に故意、または過失のある場合を除いて、本製品の購入代金と同等金額を上限といたします。
- ◎ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない同一製品、もしくは同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責任は一切負いません。
- ◎ 本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ファームウェアの自動更新について

本製品は、自動的にファームウェアが更新されることがありますので、あらかじめご了承ください。

※更新中は、本製品をご利用いただけませんのでご注意ください。(P.1-6)

取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

一般的なご使用を想定した内容にしていますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

はじめに

無線LANについてのご注意

- ◎ 本製品の5GHz帯無線LANは、屋内使用に限定されています。
DFS機能によりレーダー波を検出した場合、通話を継続するため、5.2GHz帯(屋内限定使用)のチャンネルに変更されることがあります。
5.6GHz帯の場合でも、屋外では使用しないでください。
- ◎ 自動車内は屋外となりますので、5GHz帯を使用できません。
自動車内で無線LAN機能を利用する場合は、2.4GHz帯を使用してください。
- ◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。
心臓ペースメーカーに電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。
- ◎ 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。
医療機器に電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。
- ◎ 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。
電子レンジを使用すると電磁波の影響により、本製品の無線通信が妨害されるおそれがあります。

無線LANの設置場所について

次の設置条件を考慮しないと、通信範囲や速度に影響します。

- ◎ 無線LAN用の内部アンテナは、本製品の前面部にあります。
無線LAN機能をご利用になる場合は、通信の妨げにならない場所、および通信の妨げにならない方向に設置してください。
- ◎ 傾きがなく、落下の危険がない安定した場所に設置してください。
- ◎ 本製品の上にものを置いたり、本製品同士やほかの製品と重ねて置いたりしないでください。
- ◎ 通信範囲はオープンスペースで最も広くなりますが、倉庫の中のように大きな金属製の壁などがあると、電波を反射することがあります。
電波は壁やガラスをある程度通過しますが、金属は通過しません。
コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれているため、電波を遮断するものがあります。
ガラスの場合も、「熱線吸収ガラス」や「熱線反射ガラス」など、電波を遮断するものがあります。
- ◎ 床にはふつう、鋼製の梁が入っており、金属製防火材が埋め込まれていることがあります。
そのため多くの場合、異なる階に設置した無線LANとは通信できません。

電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯の無線LANで通信するときは、次のことに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

- ◎ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ◎ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記のサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- ◎ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00～17:00)

表記の意味について

「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備

「DS/OF」: DS-SS方式/OFDM方式

2.4DS/OF4

「4」 : 想定干渉距離が40m以下

「---」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

はじめに

無線LAN規格について

本製品が準拠する無線LAN規格と最大通信速度

周波数帯	無線LAN規格	帯域幅	最大通信速度(理論値)
5.2/5.3/5.6GHz	IEEE802.11n (W52/W53/W56)	40MHz	150Mbps
		20MHz	72Mbps
	IEEE802.11a (W52/W53/W56)		54Mbps
2.4GHz	IEEE802.11n	40MHz	150Mbps
		20MHz	72Mbps
	IEEE802.11g		54Mbps
	IEEE802.11b		11Mbps

【無線LANの性能表示等の記載について】

- ◎本製品の通信速度についての記載は、IEEE802.11の無線LAN規格による理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度(実効値)を示すものではありません。
- ◎実際のデータ転送速度は、周囲の環境条件(通信距離、障害物、電子レンジ等の電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など)に影響します。

無線LANのチャンネルについて

IEEE802.11a(W52/W53/W56)規格の無線通信チャンネルについて

右に記載する表示がある製品は、IEEE802.11a(W52/W53/W56)規格で採用された無線通信チャンネルに対応した製品を意味します。

無線LAN端末についても、右に記載する表示がある製品でご使用いただくことをおすすめします。



帯域幅と無線通信チャンネルについて

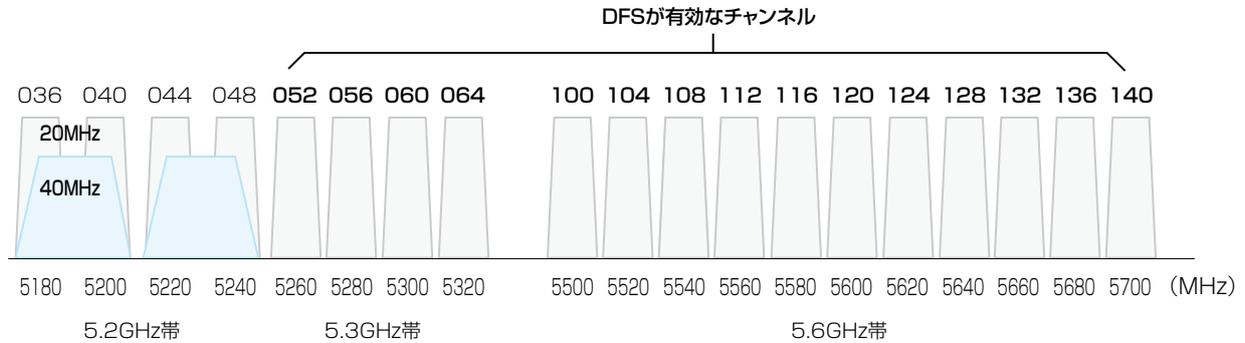
帯域幅により使用できるチャンネルが変わりますので、必要に応じて本製品の帯域幅を変更してください。(P.5-23)

無線動作モード(周波数帯)	帯域幅	使用できるチャンネル
5GHz	40MHz	36、44
	20MHz	36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140
2.4GHz	40MHz	1、2、3、4、5、6、7、8、9
	20MHz	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13

はじめに

無線LANのDFS機能について

無線LAN通信で使用するDFS機能は、5.3/5.6GHz帯のチャンネルを設定したときだけ有効になり、気象レーダーなどへの電波干渉を自動で回避します。



◎WEB画面(P.5-23)やCS-IP500M[★]で5.3/5.6GHz帯(052～140)のチャンネルを選択すると、起動開始から1分後、レーダー波を検出します。

レーダー波検出中は、本製品の[MSG]ランプが[★]橙点滅して、本製品へのアクセスをすべて停止します。

本製品の起動中、または運用中にレーダー波を検出したときは、自動的に電波干渉が発生しないチャンネルに変更されます。

★CS-IP500MIは、IP500Mをパソコンから設定できるソフトウェアです。

弊社ホームページからダウンロードできます。

◎5.3/5.6GHz帯(052～140)のチャンネルでレーダー波を検出して、DFS機能が無効なチャンネルが選択された場合は、別のチャンネルに変更されることはありません。

無線LANについてのご注意

◎本製品の5GHz帯無線LANは、屋内使用に限定されています。

DFS機能によりレーダー波を検出した場合、通話を継続するため、5.2GHz帯(屋内限定使用)のチャンネルに変更されることがあります。

5.6GHz帯の場合でも、屋外では使用しないでください。

◎自動車内は屋外となりますので、5GHz帯を使用できません。

自動車内で無線LAN機能を利用する場合は、2.4GHz帯を使用してください。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

[]表記：オペレーティングシステム(OS)の各ウィンドウ(画面)、ユーティリティ、設定画面の各メニューとそのメニューに属する設定画面の名称を([])で囲んで表記します。

[]表記：タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名、各設定画面の設定項目名などを([])で囲んで表記します。

< >表記：ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(<>)で囲んで表記します。

※Microsoft[®] Windows[®] 7 Home Premium、Microsoft[®] Windows[®] 7 ProfessionalおよびMicrosoft[®] Windows[®] 7 Ultimateは、Windows 7と表記します。

※本書は、Ver. 2.09のファームウェアを使用して説明しています。

※本書では、Windows 7の画面を例に説明しています。

※本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

はじめに

もくじ

はじめに	i	5.各種機能の設定(WEB画面)	5-1
本製品の概要について	i	1. 設定のしかた	5-3
自動車運転時のご注意	i	2. 設定画面の名称と機能について	5-8
登録商標/著作権について	i	3. 「TOP」メニュー	5-9
付属品について	i	4. 「情報表示」メニュー	5-11
防塵/防水性能について	ii	5. 「ネットワーク設定」メニュー	5-17
別売品の使用による防塵/防水性能について	ii	6. 「無線LAN設定」メニュー	5-23
IP表記について	ii	7. 「無線機設定」メニュー	5-39
日常のお手入れと点検について	ii	8. 「無線機情報通知設定」メニュー	5-74
情報処理装置等電波障害自主規制について	ii	9. 「管理」メニュー	5-77
セキュリティーについてのお知らせ	ii	6.別売品とその使いかた	6-1
電波法についてのご注意	iii	1. 別売品一覧	6-2
医用電気機器近くでの取り扱いについて	iii	2. AM-5(アーム型マイクロホン)	6-3
取り扱い上のご注意	iii	3. SM-28(デスクトップマイクロホン)	6-3
ファームウェアの自動更新について	iii	4. OPC-2330(マイク分岐BOX)	6-4
取扱説明書の内容について	iii	7.保守について	7-1
無線LANについてのご注意	iv	1. 設定内容の保存	7-2
無線LANの設置場所について	iv	2. 保存された設定の書き込み(復元)	7-3
電波干渉についてのご注意	iv	3. 設定を出荷時の状態に戻すには	7-4
表記の意味について	iv	4. ファームウェアをバージョンアップする	7-6
無線LAN規格について	v	5. USBメモリーによる自動設定機能	7-9
無線LANのチャンネルについて	v	について	7-9
無線LANのDFS機能について	vi	6. USBメモリーから自動で設定を復元	7-13
本書の表記について	vi	するには	7-13
1.ご使用の前に	1-1	7. USBメモリーからファームウェアを	7-15
1. 電源を入れる	1-2	バージョンアップするには	7-15
2. 音量を調整する	1-4	8. ヒューズの交換について	7-17
3. 各部の名称	1-4	8.ご参考に	8-1
4. ロック機能について	1-11	1. 困ったときは	8-2
5. 緊急速報機能について	1-11	2. アフターサービスについて	8-4
2.基本操作	2-1	3. WEB画面の構成について	8-5
1. 交信のしかた	2-2	4. 定格について	8-11
2. アドレス帳の使いかた	2-4		
3. 履歴の使いかた	2-6		
3.応用操作	3-1		
1. メッセージ送信のしかた	3-2		
2. トークグループ呼び出しのしかた	3-8		
3. その他の機能について	3-11		
4.各種機能の設定(SETモード)	4-1		
1. 設定項目一覧	4-2		
2. SETモード(基本)に移行するには	4-4		
3. SETモード(詳細)に移行するには	4-4		
4. SETモードで設定を変更するには	4-5		

この章では、
本製品の基本的な使いかたや注意事項などについて説明しています。

1. 電源を入れる	1-2
2. 音量を調整する	1-4
3. 各部の名称	1-4
■ 無線機本体(前面部)	1-4
■ HM-204	1-4
■ HM-230	1-5
■ 無線機本体(後面部)	1-5
■ 表示部のアイコンについて	1-6
■ 操作キーについて	1-7
■ HM-230の操作キーについて	1-8
■ HM-230のオプションキーについて	1-9
■ HM-230のテンキーについて	1-10
4. ロック機能について	1-11
5. 緊急速報機能について	1-11

初期値について

お買い上げ時の設定により、本書に記載している初期値と異なる場合があります。
初期値については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

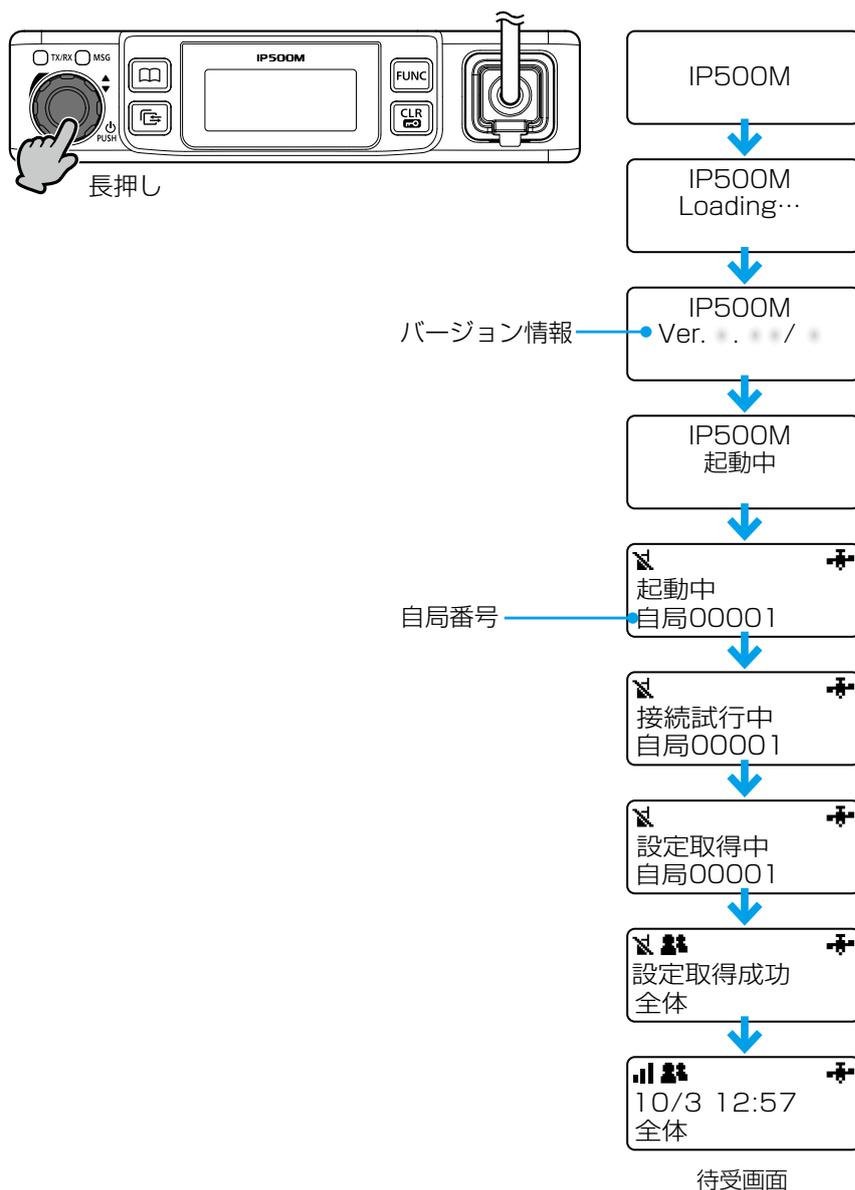
1 ご使用の前に

1. 電源を入れる

本製品を取り付けた車のエンジンをかける、またはツマミを長く(約1秒)押します。

※待受画面が表示されるまで約70秒かかりますのでお待ちください。

※サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合は📶点滅(圏外)、IP無線コントローラーに接続していない場合は📶点灯(未レジスト)が待受画面に表示されます。

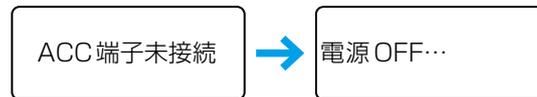


1 ご使用の前に

1. 電源を入れる(つづき)

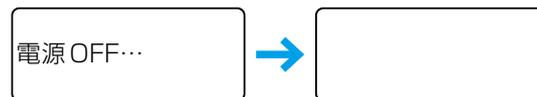
ACC端子接続確認について

- ◎ 初期値では、本製品のSETモードで[ACC端子接続確認]が「有効」に設定されています。ACCが接続されていない状態で本製品の電源を入れると、「ACC端子未接続」が表示され、警告音(ピッ、ピッ…)が鳴り、約1分経過すると電源が切れます。



- ※警告中にACC連動ケーブルを接続した場合は、「ACC端子接続 再起動します」が表示され、自動的に再起動します。
- ※設定情報更新のため、ACC接続警告中に再起動することがあります。
この場合、再度警告画面になるまでしばらくお待ちください。

- ◎ 自動車でご使用になる場合、鍵(エンジンスイッチ)の操作でシャットダウン処理するために、鍵の操作と連動する電源に本製品のACC連動ケーブルを接続してください。
ACC連動が正しく動作すると、鍵の操作と連動してシャットダウン処理されます。
※本製品のツマミを押して電源を切っている場合は、車のエンジンをかけても、本製品の電源は入りません。
- ◎ 卓上電源装置(別売品:PS-230A)をご使用になる場合、本製品のSETモードで[ACC端子接続確認]を「無効」に変更してください。
※電源を切るときは、必ず本製品のツマミを長く(約1秒)押し、「電源OFF…」の表示が消えたことを確認してから、卓上電源装置の電源を切ってください。



※「電源OFF…」の表示が消えるまでお待ちください。

- ※本製品の電源が入った状態で卓上電源装置の電源を切ると、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。
- ◎ ACC端子未接続の場合、停電など不用意に電源が遮断されたとき、復旧後、本製品は自動的に起動しません。
電源復旧を確認してから、ツマミを長く(約1秒)押し、本製品の電源を入れてください。
- ◎ 本製品の取り付け方法や動作確認については、弊社ホームページに掲載のIP500M取付ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

シャットダウン処理について

- 本製品は動作中、常時auの4G LTE(800MHz)網に接続されているため、電源を切るためにはシャットダウン処理が必要です。
- ※シャットダウン処理をせずに本製品の電源を切る*と、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。
- ★本製品の電源が入っている状態で、付属のDC電源ケーブルがはずれる、または卓上電源装置の電源を切ることを指します。

待受画面が表示されないときは

- 電源を入れたあと、接続試行中のままで、待受画面が表示されないときは、電源を入れなおす、または場所を移動すると、改善することがあります。
- ※ずっと繋がらない場合(特定の場所で、一度も繋がったことがない場合)は、サービスエリア外(電波が届いていない地域)であることが原因と考えられます。

1 ご使用の前に

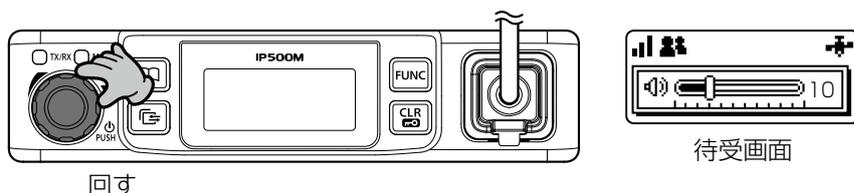
2. 音量を調整する

ツマミを回すと、音量が調整できます。

相手の音声聞きやすい音量レベルに調整してください。

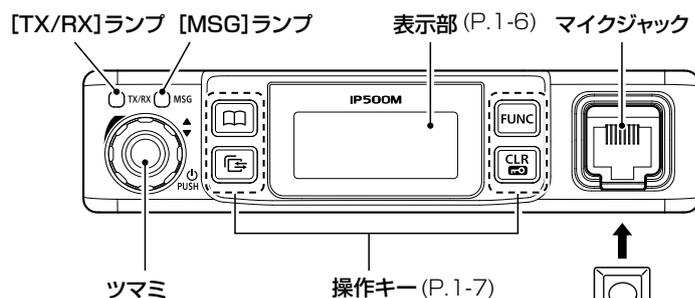
調整できる範囲は、「0～32」です。

※音量が最小のときは、操作音(ビープ音)や受信した音声聞こえません。

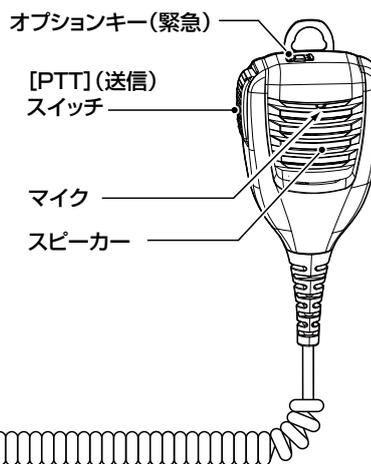


3. 各部の名称

■無線機本体(前面部)



■HM-204



ツマミの操作について

長押し	—	電源ON/OFF
回す	待受画面	音量調整
	各種画面	アドレス帳や履歴画面内などのカーソル移動

ランプの状態と動作について

TX/RX	赤点灯	送信中
	緑点灯	受信時
	橙点灯	送受信時
MSG	緑点灯	USBロード時
	橙点滅	DFS動作による無線動作待機中

※ [MSG]ランプが橙色で点灯中は、ファームウェアの重要部分を更新しています。

消灯するまで電源を切らずにしばらくお待ちください。(約10秒)

消灯後、本製品は自動で再起動します。

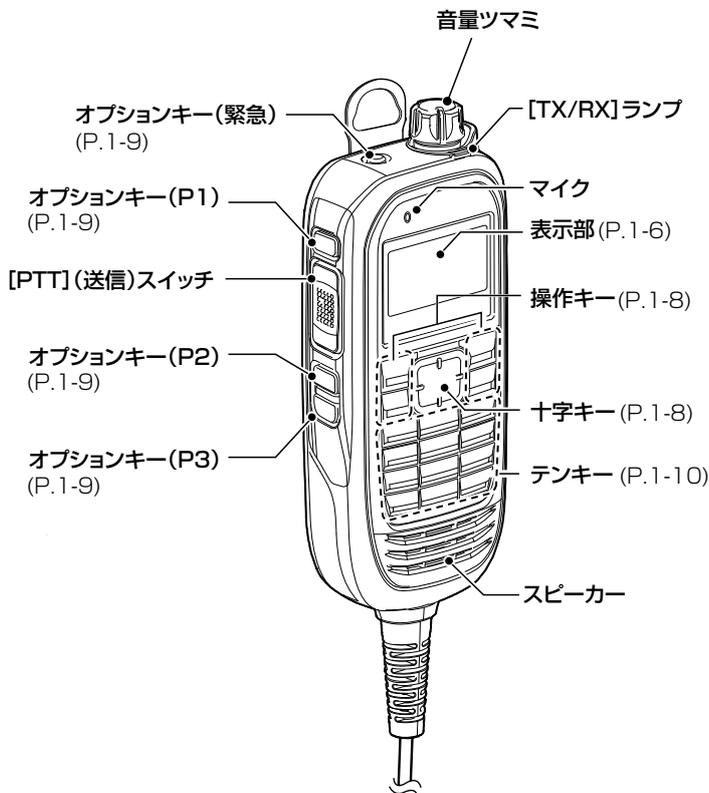
ご注意

- ◎ マイクロホンを接続するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- ◎ 誤動作の原因になりますので、無線機の電源を入れたままマイクロホンを取り付けたり、取りはずしたりしないでください。
- ◎ 故障の原因になりますので、前面部のマイクジャックにLANケーブルを接続しないでください。

1 ご使用の前に

3. 各部の名称(つづき)

■HM-230



ツマミの操作について

回す	待受画面	音量調整
----	------	------

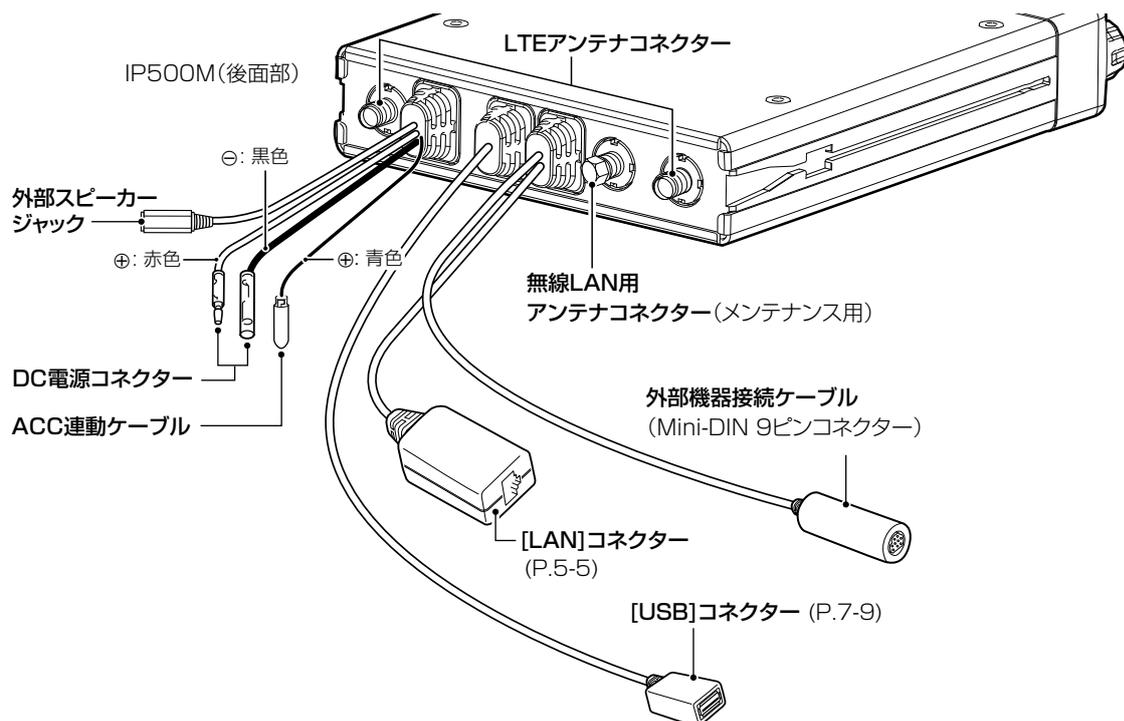
※アドレス帳や履歴画面内などのカーソル移動をするときは、HM-230の十字キーを操作してください。

※音量ツマミの操作中は、操作音が雑音として相手に伝わらないように、自動で送信する音声をミュートします。

ランプの状態と動作について

TX/RX	赤点灯	送信中
	緑点灯	受信中
	橙点灯	送受信中

■無線機本体(後面部)



1 ご使用の前に

3. 各部の名称(つづき)

■表示部のアイコンについて

★お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。



電波状態表示

電波の強度を3段階(目安)で表示します。

※サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合は、点滅(圏外)、IP無線コントローラーに接続していない場合は、点灯(未レジスト)が表示されます。



呼び出しモード表示

: 全体/グループ呼び出し

: トークグループ呼び出し*(P.3-8)

: 個別呼び出し

: 電話*

※呼び出しやメッセージを受信したとき、電話から着信したときは、アイコンが点滅します。



ポケットビープ機能表示(P.3-11)



Pベル機能表示(P.3-11)



ロック機能表示(P.1-11)



GPS表示

点滅: GPS測位中

(GPS情報が通知できていない状態)

点灯: GPS測位完了

(GPS情報が通知できている状態)

「F」が表示されたときは

本製品の表示部で「F」表示が点滅しているときは、新しいファームウェアをダウンロード中です。



◎ダウンロードは約10分かかります。

そのまま電源を切らず、電波状況のよい環境でお待ちください。

◎更新中の画面が表示されたら、自動的に再起動するまで、電源を切らずにそのままお待ちください。(約1分)

◎「F」表示の点灯がつづく場合は、ご都合のよいときに、電源を入れなおして再起動してください。

1 ご使用の前に

3. 各部の名称(つづき)

■無線機本体の操作キーについて

★1 お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

★2 トークグループは[アドレス帳]キー、または[FUNC]キーのどちらかでしか選択できません。

トークグループの詳しい操作については3-9ページ、3-10ページをご覧ください。

[アドレス帳]キー★1



アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。
キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ★2)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。



アドレス帳：個別

[FUNC]キー★1



送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループ★2を選択するときに操作します。



メッセージ選択画面

[履歴]キー★1



短押し

キーを押すごとに、履歴が切り替わります。

※表示される履歴は、送信、受信、メッセージ送信、メッセージ受信、電話発信、電話着信です。

長押し

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しするときに操作します。

※「緊急」と表示されるまで、キーを長く押します。(P.3-12)



受信履歴

[CLR/LOCK]キー



短押し

メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。

長押し

ロック機能をON/OFFします。
※[PTT](送信)スイッチとツマミは、ロック中でも使用できます。



キーロック時の待受画面

※本書中の画面は、設定によって、お使いになるものと多少異なる場合があります。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

1 ご使用の前に

3. 各部の名称(つづき)

■HM-230の操作キーについて

★1 お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

★2 トークグループは[アドレス帳]キー、または[FUNC]キーのどちらかでしか選択できません。

トークグループの詳しい操作については3-9ページ、3-10ページをご覧ください。

[アドレス帳]キー★1



アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。

キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ★2)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。



アドレス帳：個別

[履歴]キー★1



短押し

キーを押すごとに、履歴が切り替わります。

※表示される履歴は、送信、受信、メッセージ送信、メッセージ受信、電話発信、電話着信です。

長押し

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しするときに操作します。

※「緊急」と表示されるまで、キーを長く押します。(P.3-12)

十字キー(上下左右)



アドレス帳や履歴画面内などのスクロールや文字入力時のカーソル移動で使用します。

[FUNC]キー★1



◎送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループ★2を選択するときに操作します。

◎文字入力時、キーを押すごとに、入力モードが切り替わります。



メッセージ選択画面

[CLR/LOCK]キー



短押し

◎メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。

◎文字入力時、1文字消去します。

長押し

◎ロック機能をON/OFFします。

※[PTT](送信)スイッチとツマミは、ロック中でも使用できます。

◎文字入力時、すべて消去します。



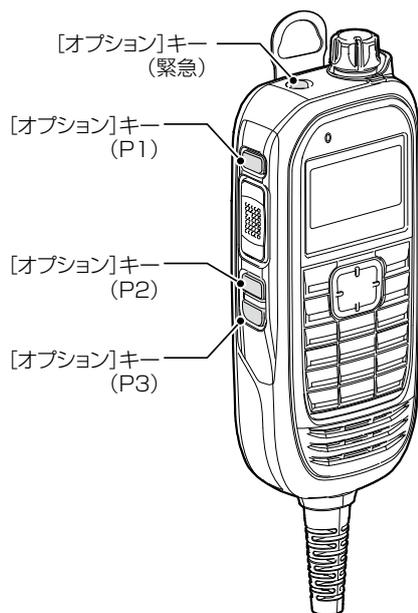
キーロック時の待受画面

1 ご使用の前に

3. 各部の名称(つづき)

■HM-230のオプションキーについて

よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するとき、または電話を切るときなどに使用するキーです。
※お買い上げの販売店で、[オプション]キー(P1～P3、緊急)に機能が設定されている場合に使用できます。



割り当てられる機能

メッセージ	[オプション]キーを押して、よく使うメッセージを選択したいとき
メッセージ作成	任意のメッセージを作成して送信したいとき ※[オプション]キーを押すと、メッセージ作成画面が表示されます。
ワンタッチ	[オプション]キーを押して、特定の呼出種別、または相手を選択したいとき
電話切断	[オプション]キーを押して、IP500Hから電話を切りたいとき ※電話と通話する場合は、別途IP500GやVE-PG3などが必要になります。 ※相手が応答する前、または通話中に[オプション]キーを押すと、IP500Mから電話を切れます。 ※IP500Mから電話を切れるのは、電話機からIP500Mを個別に呼び出したとき、またはIP500Mから電話機を呼び出したときだけです。
受信音声ミュート	受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいとき ※[オプション]キーを長く(約1秒)押しすごとに、ミュート機能をON/OFFできます。 ※[PTT](送信)スイッチを押しても、ミュート機能を解除できません。
テンキー呼出	テンキーを操作して、相手の呼出先番号を入力するとき ※[オプション]キーを押すごとに、呼出種別が切り替わります。
エマージェンシー	迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいとき ※「緊急」と表示されるまで、[オプション]キーを長く押し続けます。 ※下記の場合に、緊急呼び出しが解除されます。 ◎相手から応答があったとき ◎「緊急」の表示が消えるまで[オプション]キーを長く押し続けたとき ◎本製品の電源を切ったとき ◎あらかじめ設定されている自動解除時間が経過したとき

1 ご使用の前に

3. 各部の名称(つづき)

■HM-230のテンキーについて

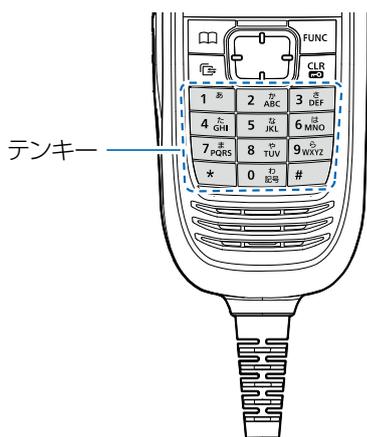
任意のメッセージ作成やアドレス帳を検索するときなどに使用するキーです。

※お買い上げの販売店で、テンキーに機能が設定されている場合に使用できます。

※ひらがな、カタカナ、記号、数字、英字が入力できます。(ひらがなは、メッセージ作成時のみ)

※1つのキーに複数の文字が割り当てられていますので、キーを繰り返し押し、目的の文字を表示します。

※濁点、半濁点の入力は、文字を入力したあとに「0」を数回押します。



割り当てられる機能

メッセージ作成	テンキーを操作して、任意のメッセージを作成して送信したいとき
テンキー呼出	テンキーを操作して、相手の呼出先番号を入力するとき ※アドレス帳に登録していない相手も呼び出せます。
アドレス帳検索	アドレス帳のヨミガナで相手を検索したいとき ※[アドレス帳]キーを押して、アドレス帳の検索画面が表示されたとき、テンキーを操作します。
電話帳選択	アドレス帳の登録番号で相手を選択したいとき ※登録番号を入力するとき、最後の桁を長く(約1秒)押し、呼出先が確定します。
ワンタッチ	テンキーを長く(約1秒)押し、特定の呼出種別、または相手を選択したいとき

入力モード キー	ひらがな かな	カタカナ カナ	英字 ABC	数字 123
1 あ	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	—	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 き DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 や TUV	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
9 ろ WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0 わ 記号	わをんー_、。	ワロンー_、。	-_...!?	0
*	*(全角)	*(全角)	*(半角)	*(半角)
#	#(全角)	#(全角)	#(半角)	#(半角)

※本書中の画面は、設定によって、お使いになるものと多少異なる場合があります。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

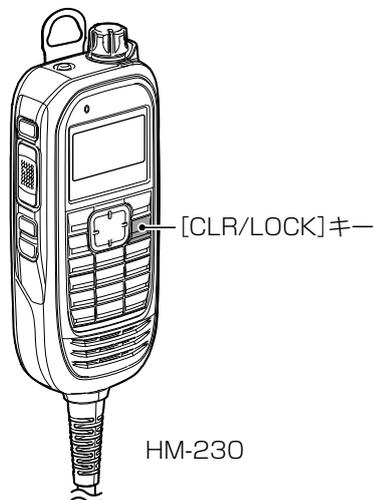
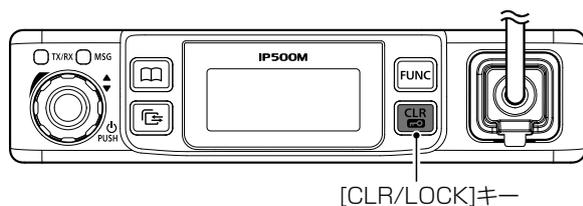
1 ご使用の前に

4. ロック機能について

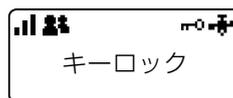
不用意に本製品のキーやスイッチに触れても、設定や表示が変わらないようにします。

[CLR/LOCK]キーを長く(約1秒)押します。

- ビープ音が「ピピッ」と鳴って、「」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
※[PTT](送信)スイッチとツマミは、ロック中でも使用できます。
※ロック中でも緊急呼び出し(P.3-12)を操作できます。



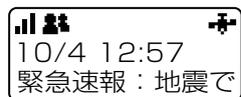
キーロック時の待受画面



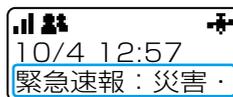
キー操作時

5. 緊急速報機能について

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、警告音(ピー、ピー…)と画面表示で通知する機能です。



地震通知例



災害通知例

通知内容がスクロール表示されます。

この章では、
本製品を無線機として利用するための基本操作を説明しています。

1. 交信のしかた	2-2
2. アドレス帳の使いかた	2-4
■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-204 接続時)	2-4
■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-230 接続時)	2-5
3. 履歴の使いかた	2-6
■ 履歴から通話相手を選択する(HM-204 接続時)	2-6
■ 履歴から通話相手を選択する(HM-230 接続時)	2-7
■ 履歴を消去するときは(HM-204 接続時)	2-8
■ 履歴を消去するときは(HM-230 接続時)	2-9

2 基本操作

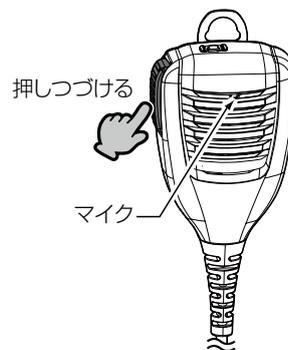
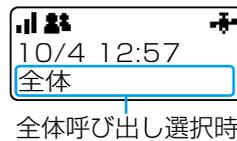
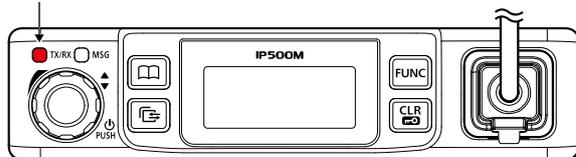
1. 交信のしかた

※本製品にHM-204を接続した場合を例に説明しています。
HM-230でも同様に操作できます。

1. [PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT](送信)スイッチを押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。

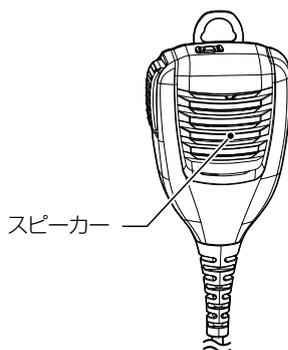
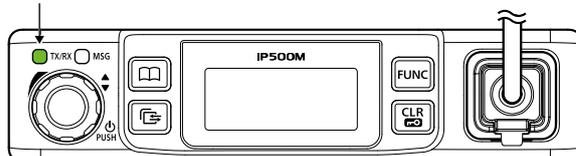
[TX/RX]ランプが
赤色で点灯



2. 相手局が送信すると、受信した音声が聞こえます。

- 受信中は、[TX/RX]ランプが緑色で点灯します。
- ※アイコン点滅時は、新規受信(着信)を示します。(下図参照)
- ※待ち受け状態のときは、[TX/RX]ランプが消灯しています。

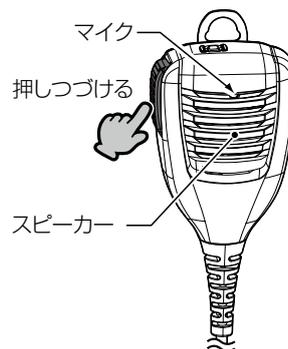
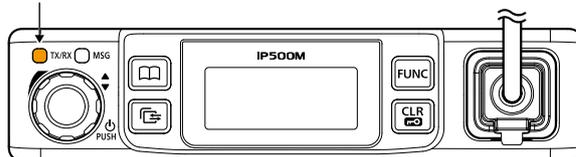
[TX/RX]ランプが
緑色で点灯



3. 相手が送信しているときでも、[PTT](送信)スイッチを押しながら、同時に通話できます。

- 送受信状態(複信通信時)のときは、[TX/RX]ランプが橙色で点灯します。

[TX/RX]ランプが
橙色で点灯



2 基本操作

1. 交信のしかた(つづき)

交互通話(単信通話)の場合

お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。

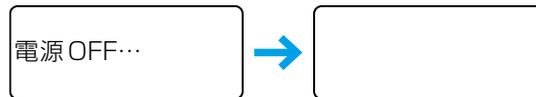
※相手の通話が終了してから、送信してください。

※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

電源を切るときは

本製品を取り付けた車のエンジンを切る、またはツマミを長く(約1秒)押します。

※「電源OFF…」の表示が消えるまでお待ちください。



※卓上電源装置(別売品:PS-230A)をご使用になる場合、電源を切るときは、本製品の電源が切れたことを確認してから、卓上電源装置の電源を切ってください。

本製品の電源が入った状態で卓上電源装置の電源を切ると、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。

マイクの使いかた

マイクと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。

マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

連続送信について

[PTT](送信)スイッチが押しつづけられる場合など、不用意な送信を防止するために、タイマーが設定されています。

連続送信が5分を超えると、自動的に送信を停止しますので、通話を再開するには再度[PTT](送信)スイッチを押してください。

操作時の確認音について

お買い上げの販売店、または本製品のSETモード(P.4-3)、WEB画面(P.5-56)やCS-IP500M(P.6-2)で設定されている場合、キーを押したり、ツマミを回したりしたときに確認音が鳴ります。

バックライトについて

お買い上げの販売店、または本製品のSETモード(P.4-3)、WEB画面(P.5-39)やCS-IP500M(P.6-2)の設定により、バックライトは下記のように動作します。

◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。

◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。

◎操作時点灯 : 新規着信時、または[PTT](送信)スイッチ以外を操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。(音量操作時を除く)

2 基本操作

2. アドレス帳の使いかた

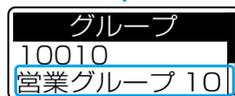
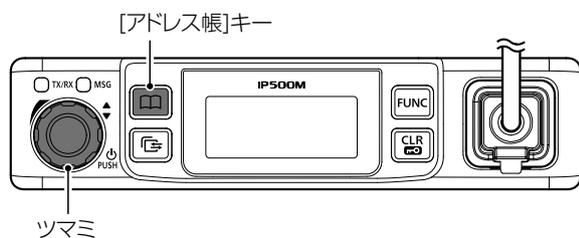
■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-204接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-40、P.5-68)やCS-IP500M(P.6-2)で、アドレス帳が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例:グループ)を選択します。

- キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。

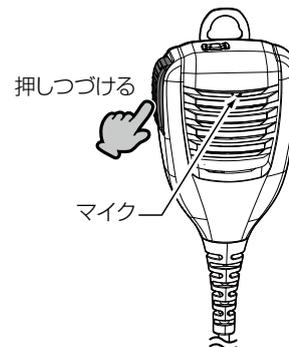
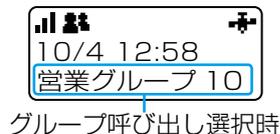
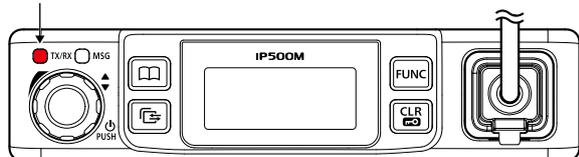
2. ツマミを回して、相手先(例:営業グループ10)を選択します。



3. [PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT](送信)スイッチを押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。

[TX/RX]ランプが赤色で点灯



全体/グループ呼び出しの場合

全体やグループ呼び出しの対象となる相手先の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

2 基本操作

2. アドレス帳の使いかた(つづき)

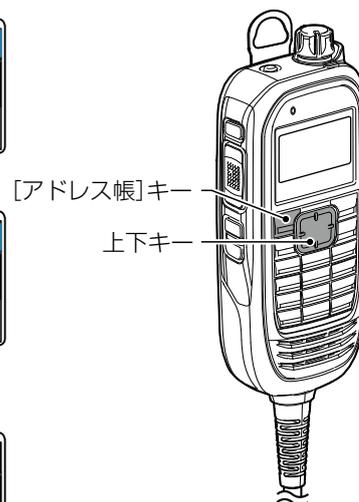
■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-40、P.5-68)やCS-IP500M(P.6-2)で、アドレス帳が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例:グループ)を選択します。

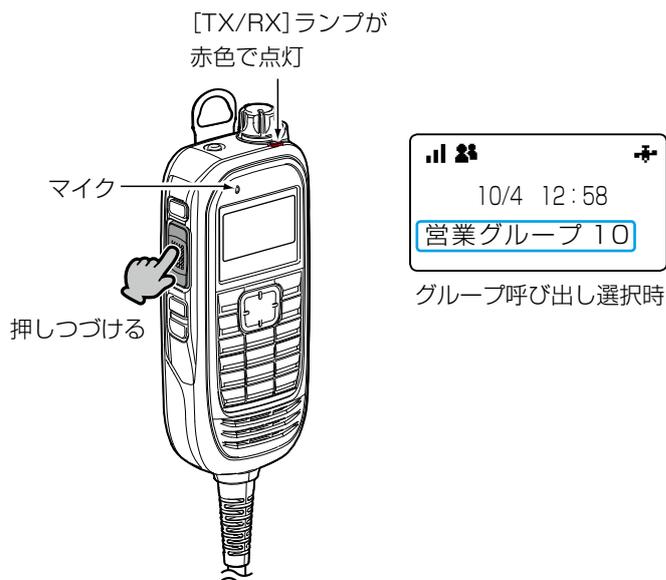
- キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。

2. 上下キーを押して、相手先(例:営業グループ10)を選択します。



3. [PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT](送信)スイッチを押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。



全体/グループ呼び出しの場合

全体やグループ呼び出しの対象となる相手先の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

2 基本操作

3. 履歴の使いかた

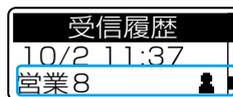
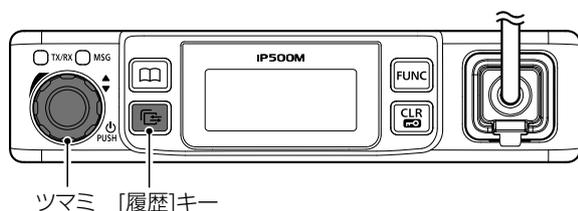
■ 履歴から通話相手を選択する(HM-204接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-64)やCS-IP500M(P.6-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [履歴]キーを押して、履歴(例:受信履歴)を選択します。

- キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。

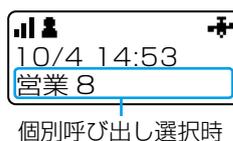
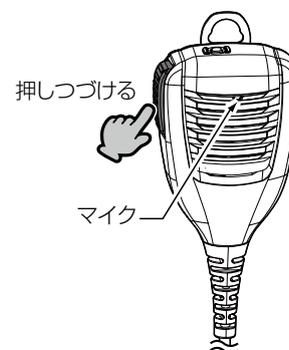
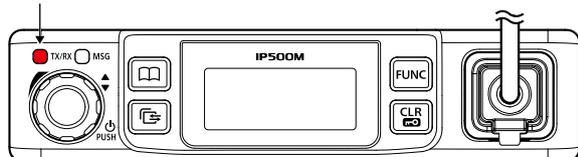
2. ツマミを回して、相手先(例:営業8)を選択します。



3. [PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT](送信)スイッチを押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。

[TX/RX]ランプが
赤色で点灯



履歴について

各履歴は10件まで記憶され、10件を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。

2 基本操作

3. 履歴の使いかた(つづき)

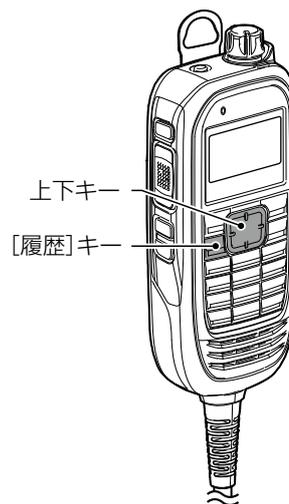
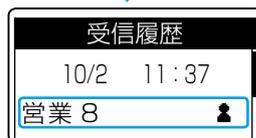
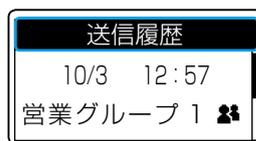
■ 履歴から通話相手を選択する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-64)やCS-IP500M(P.6-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [履歴]キーを押して、履歴(例:受信履歴)を選択します。

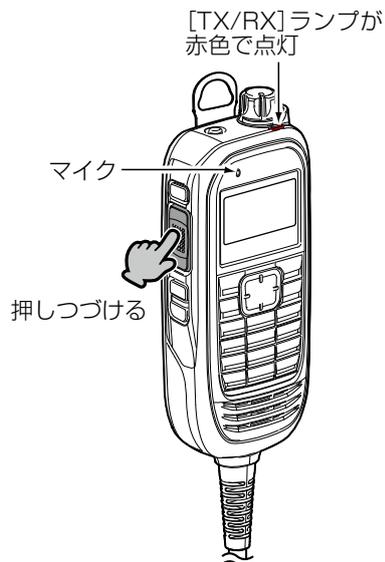
- キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。

2. 上下キーを押して、相手先(例:営業8)を選択します。



3. [PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT](送信)スイッチを押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。



個別呼び出し選択時

履歴について

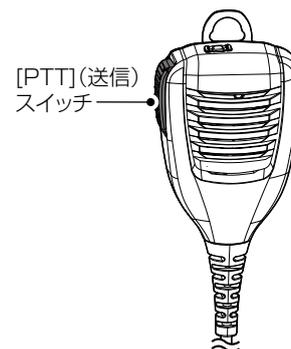
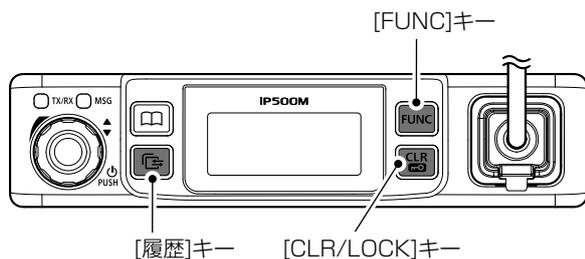
各履歴は10件まで記憶され、10件を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。

2 基本操作

3. 履歴の使いかた(つづき)

■ 履歴を消去するときは(HM-204接続時)

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約5秒)押します。
2. 「SET 履歴」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. ツマミを回して「CLR」を選択し、[履歴]キーを押します。
 - 「消去中」が表示されたあと、「---」表示に戻ると、履歴消去が完了です。
 - ※すべての履歴が消去されます。
4. SETモードを解除するときは、[CLR/LOCK]キー、または[PTT](送信)スイッチを押します。
 - 待受画面に戻ります。

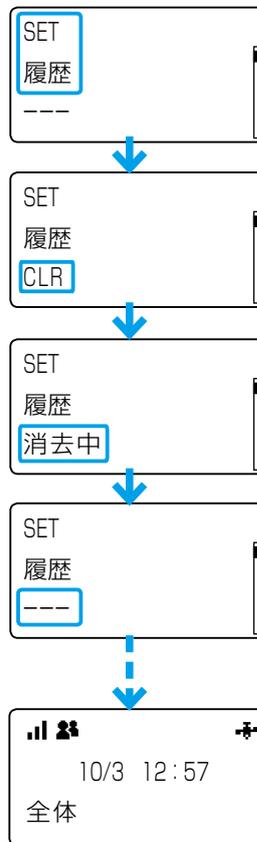
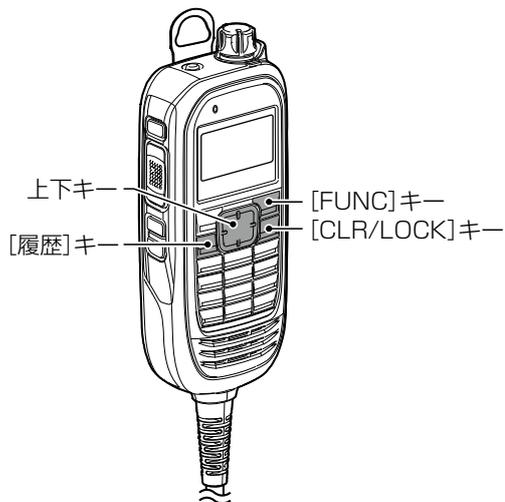


2 基本操作

3. 履歴の使いかた(つづき)

■ 履歴を消去するときは(HM-230接続時)

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約5秒)押します。
2. 「SET 履歴」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. 上下キーを押して「CLR」を選択し、[履歴]キーを押します。
 - 「消去中」が表示されたあと、「---」表示に戻ると、履歴消去が完了です。
 - ※すべての履歴が消去されます。
4. SETモードを解除するときは、[CLR/LOCK]キー、または[PTT](送信)スイッチを押します。
 - 待受画面に戻ります。



この章では、
メッセージなど、より便利に利用するための操作方法を説明しています。

1. メッセージ送信のしかた	3-2
■ メッセージを送信する (HM-204接続時)	3-2
■ メッセージを送信する (HM-230接続時)	3-3
■ メッセージを作成して送信する (HM-230接続時)	3-4
■ 受信したメッセージを確認する (HM-204接続時)	3-5
■ プレゼンスを送信する (HM-204接続時)	3-5
■ 受信したメッセージを確認する (HM-230接続時)	3-6
■ プレゼンスを送信する (HM-230接続時)	3-6
■ アドレス帳を検索する (HM-230接続時)	3-7
2. トークグループ呼び出しのしかた	3-8
■ トークグループ呼び出しについて	3-8
■ トークグループを [FUNC] キーで選択するときは (HM-204接続時)	3-9
■ トークグループを [アドレス帳] キーで選択するときは (HM-204接続時)	3-9
■ トークグループを [FUNC] キーで選択するときは (HM-230接続時)	3-10
■ トークグループを [アドレス帳] キーで選択するときは (HM-230接続時)	3-10
3. その他の機能について	3-11
■ ポケットビープ機能について	3-11
■ Pベル機能について	3-11
■ 緊急呼び出し機能 (エマージェンシー) について	3-12
■ Lone Worker機能について	3-13

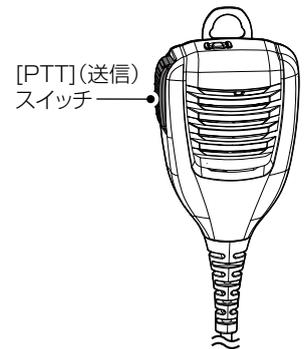
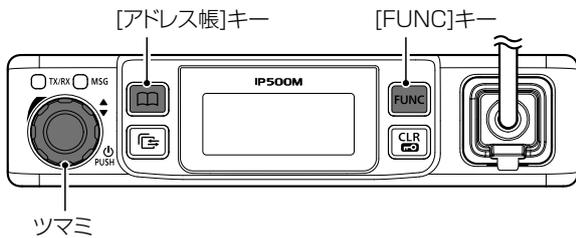
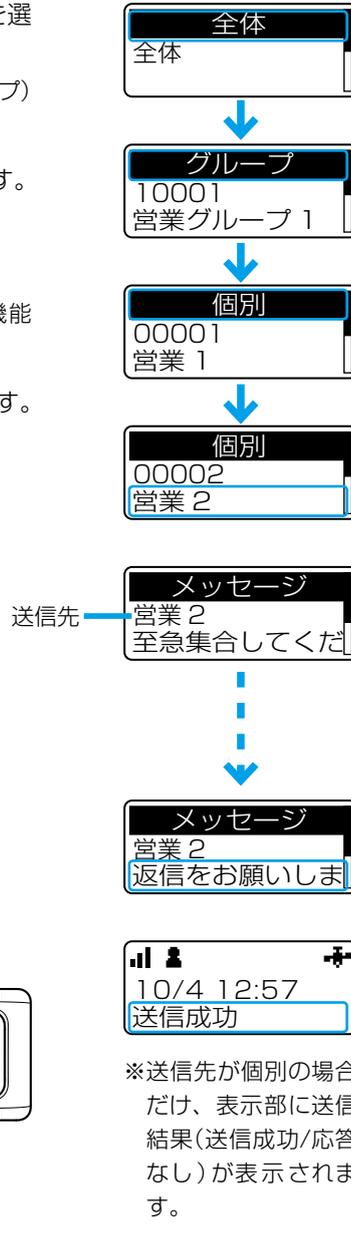
3 応用操作

1. メッセージ送信のしかた

■メッセージを送信する(HM-204接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-44、P.5-72)やCS-IP500M(P.6-2)で、送信するメッセージが登録され、メッセージ機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例：個別)を選択します。
 - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. ツマミを回して、送信先(例：営業2)を選択します。
※送信先は履歴からも選択できます。
3. [FUNC]キーを押して、メッセージを選択します。
 - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
4. ツマミを回して、送信するメッセージを選択します。
5. [PTT](送信)スイッチを押します。



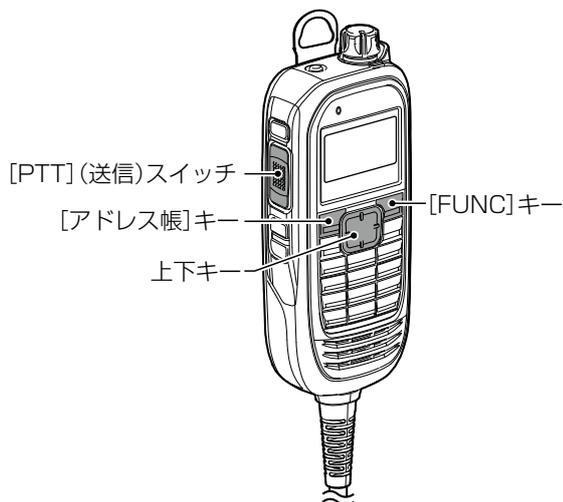
3 応用操作

1. メッセージ送信のしかた(つづき)

■メッセージを送信する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-44、P.5-72)やCS-IP500M(P.6-2)で、送信するメッセージが登録され、メッセージ機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例：個別)を選択します。
 - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. 上下キーを押して、送信先(例：営業2)を選択します。
※送信先は履歴からも選択できます。
3. [FUNC]キーを押して、メッセージを選択します。
 - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
 - [オプション]キーに「メッセージ」を設定している場合は、[オプション]キーを押して、メッセージを選択できます。(P.5-46)
4. 上下キーを押して、送信するメッセージを選択します。
5. [PTT](送信)スイッチを押します。



※送信先が個別の場合だけ、表示部に送信結果(送信成功/応答なし)が表示されます。

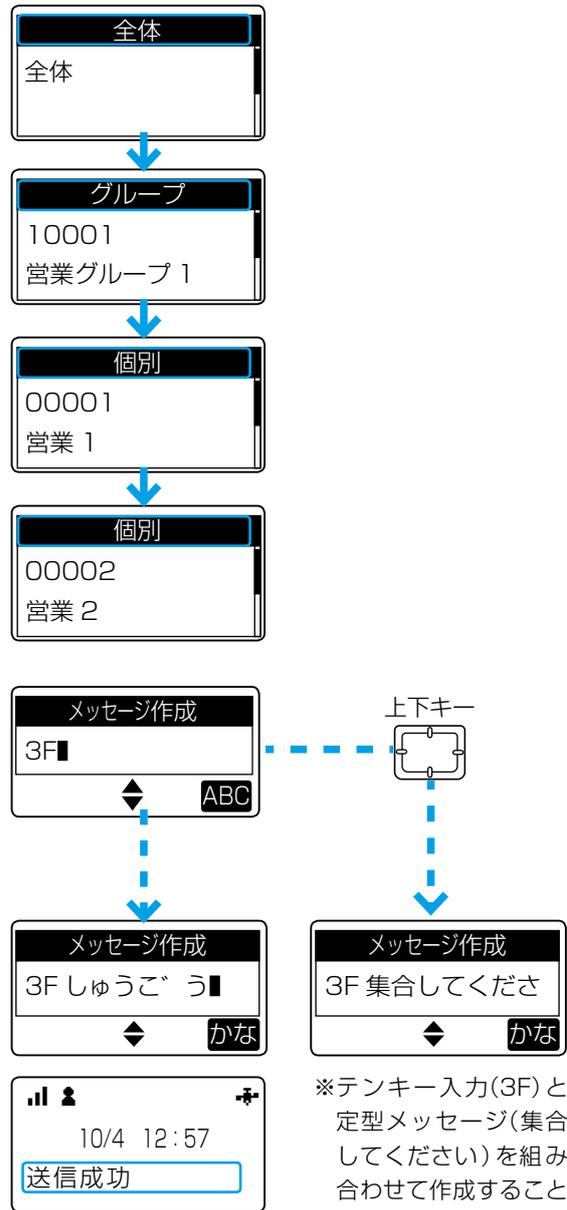
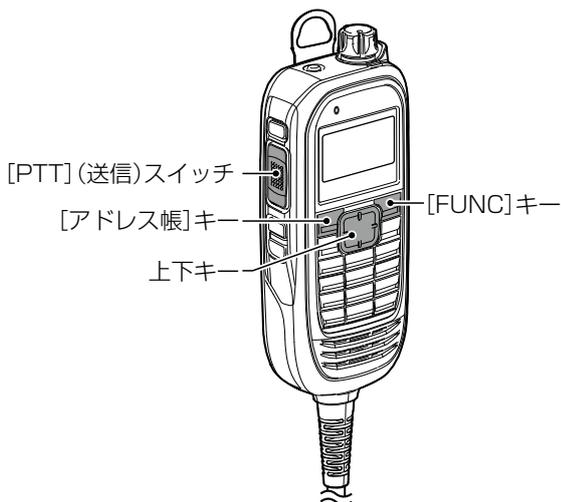
3 応用操作

1. メッセージ送信のしかた(つづき)

■メッセージを作成して送信する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-47)やCS-IP500M(P.6-2)で、[オプション]キーにメッセージ作成が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例：個別)を選択します。
 - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. 上下キーを押して、送信先(例：営業2)を選択します。
 - ※送信先は履歴からも選択できます。
3. 「メッセージ作成」を割り当てた[オプション]キー(P.5-47)を押し、テンキー操作でメッセージを作成します。
 - ※任意の文字を50文字以内で入力します。
 - [FUNC]キーを押すごとに、入力モードが切り替わります。(かな⇒カナ⇒ABC⇒123)
 - 左右キーを操作すると、カーソルが移動します。
 - 上下キーを操作すると、登録されている定型メッセージを選択できます。(P.5-72)
 - [CLR/LOCK]キーを短く押すと1文字消去し、長く(約1秒)押すとすべて消去します。
4. [PTT](送信)スイッチを押します。



※送信先が個別の場合だけ、表示部に送信結果(送信成功/応答なし)が表示されます。

※テンキー入力(3F)と定型メッセージ(集合してください)を組み合わせることも出来ます。

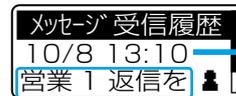
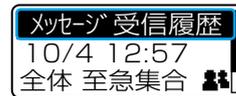
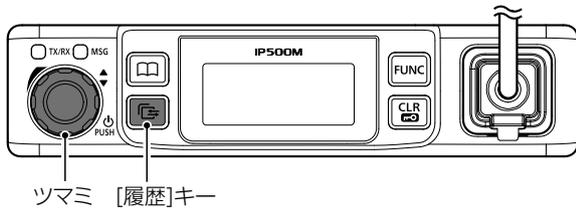
3 応用操作

1. メッセージ送信のしかた(つづき)

■ 受信したメッセージを確認する(HM-204接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-64)やCS-IP500M(P.6-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [履歴]キーを押して、メッセージ受信履歴を選択します。
 - キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。
2. ツマミを回して、確認するメッセージを選択します。
※メッセージを受信していないときは、メッセージ受信履歴は表示されません。



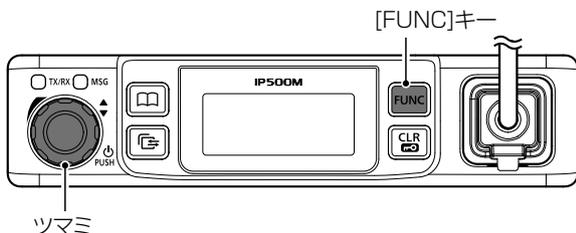
受信日時

スクロール表示
(送信元/メッセージの内容)

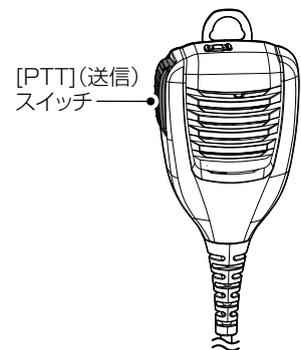
■ プレゼンスを送信する(HM-204接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-45、P.5-73)やCS-IP500M(P.6-2)で、送信するステータス(例:会議中/食事中)が登録され、プレゼンス機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [FUNC]キーを押して、プレゼンスを選択します。
 - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. ツマミを回して、送信するステータスを選択します。
3. [PTT](送信)スイッチを押します。



ステータス



送信したプレゼンス情報を閲覧するには

端末の位置情報とプレゼンス情報を確認できるソフトウェアとして、PM-IP500(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※別途、昭文社のスーパーマッフル・デジタル(地図ソフトウェア)が必要です。

※IP500Mの位置情報を表示できるのは、お買い上げ時にIP500MのGPS機能が有効に設定され、IP500G、またはIP500M側で情報を取得できる場合だけです。

※詳しくは、弊社ホームページ掲載のPM-IP500ご利用ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

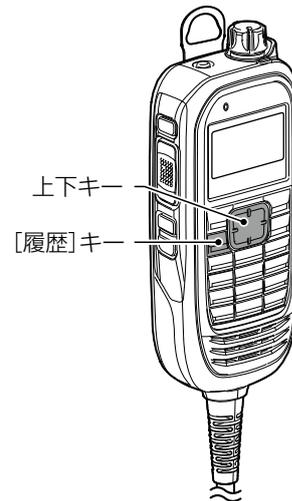
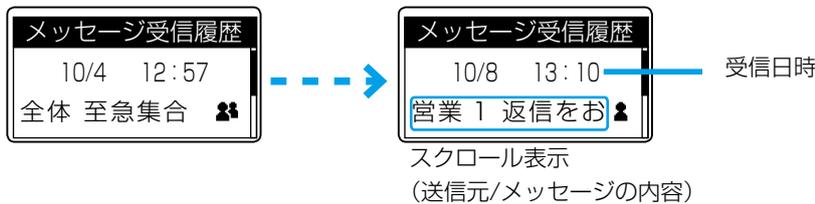
3 応用操作

1. メッセージ送信のしかた(つづき)

■ 受信したメッセージを確認する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-64)やCS-IP500M(P.6-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

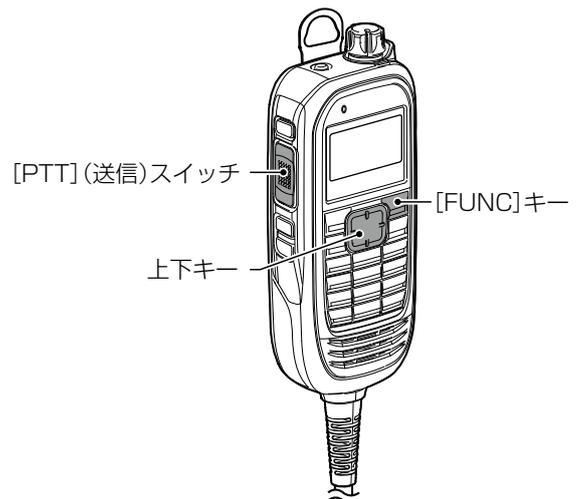
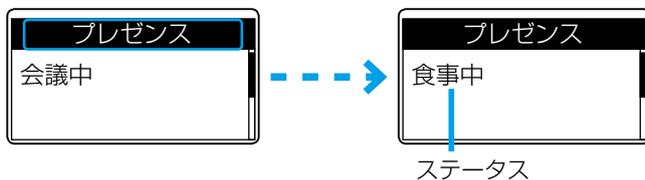
1. [履歴]キーを押して、メッセージ受信履歴を選択します。
 - キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。
2. 上下キーを押して、確認するメッセージを選択します。
 - ※メッセージを受信していないときは、メッセージ受信履歴は表示されません。



■ プレゼンスを送信する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-45、P.5-73)やCS-IP500M(P.6-2)で、送信するステータス(例:会議中/食事中)が登録され、プレゼンス機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [FUNC]キーを押して、プレゼンスを選択します。
 - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. 上下キーを押して、送信するステータスを選択します。
3. [PTT](送信)スイッチを押します。



送信したプレゼンス情報を閲覧するには

端末の位置情報とプレゼンス情報を確認できるソフトウェアとして、PM-IP500(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※別途、昭文社のスーパーマッフル・デジタル(地図ソフトウェア)が必要です。

※IP500Mの位置情報を表示できるのは、お買い上げ時にIP500MのGPS機能が有効に設定され、IP500G、またはIP500M側で情報を取得できる場合だけです。

※詳しくは、弊社ホームページ掲載のPM-IP500ご利用ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

3 応用操作

1. メッセージ送信のしかた(つづき)

■アドレス帳を検索する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-54)やCS-IP500M(P.6-2)で、アドレス帳検索機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、「アドレス帳検索」を表示します。

2. テンキーを操作して、アドレス帳のヨミガナを入力します。

※ヨミガナはすべて入力しなくても、検索できます。

- [FUNC]キーを押すごとに、カナ⇒ABC⇒123と入力モードが切り替わります。

番号	名前	ヨミガナ	呼出種別	呼出先番号
1	営業1	エイギョウ1	個別	00001

3. 上下キーを押すと、ヨミガナに一致した相手先が表示されます。

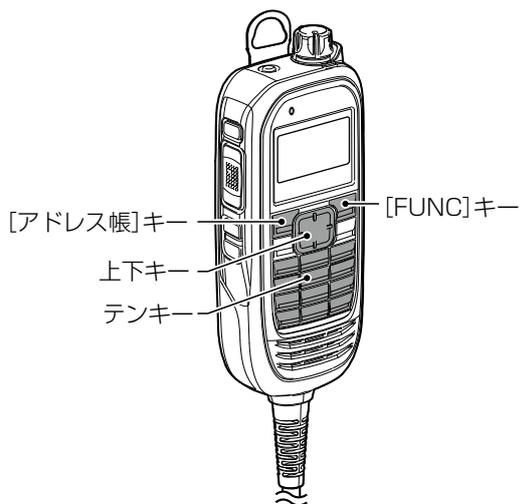
※「アドレス帳検索」でトークグループを呼び出した場合、一時的にしか呼び出せません。

トークグループに所属するには、3-9ページをご覧ください。

※ヨミガナの前方一致で検索した場合、最初に表示したアドレスしか呼び出しできません。

連続して上下キーを押すと、最初に表示したアドレスを先頭にアドレス番号順に表示します。

- 一致する「ヨミガナ」がない場合は、「ブツ」と鳴ります。



2. トークグループ呼び出しのしかた

■ トークグループ呼び出しについて

どのグループに所属するかを、端末側で選択できる機能です。

同じトークグループに所属するほかの端末とグループ呼び出しができます。

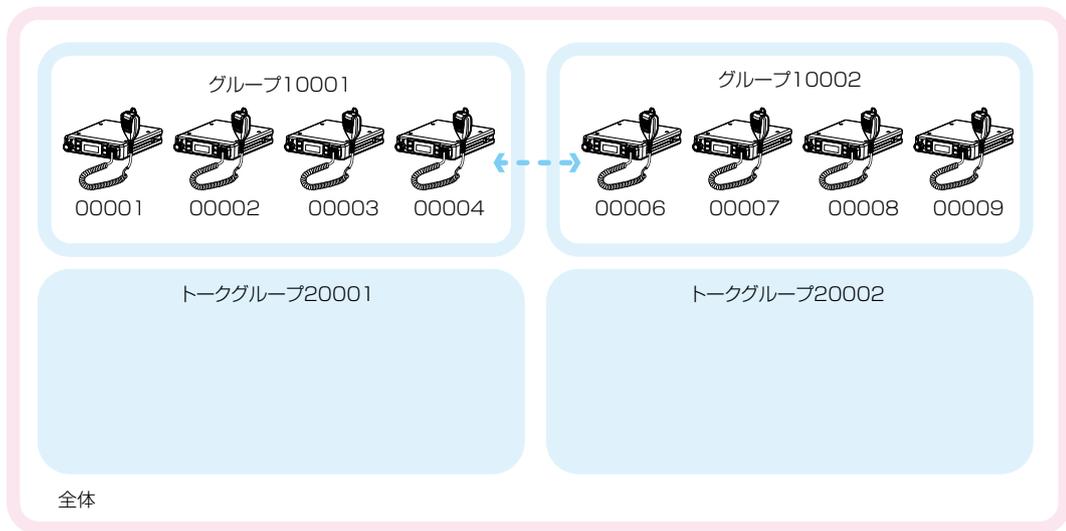
図のように、トークグループ(例：20001)を選択すると、その端末(例：00004)は通常のグループ(例：10001)からはずれます。

※お買い上げの販売店で、トークグループ番号とトークグループを選択するキーが設定されている場合に使用できます。

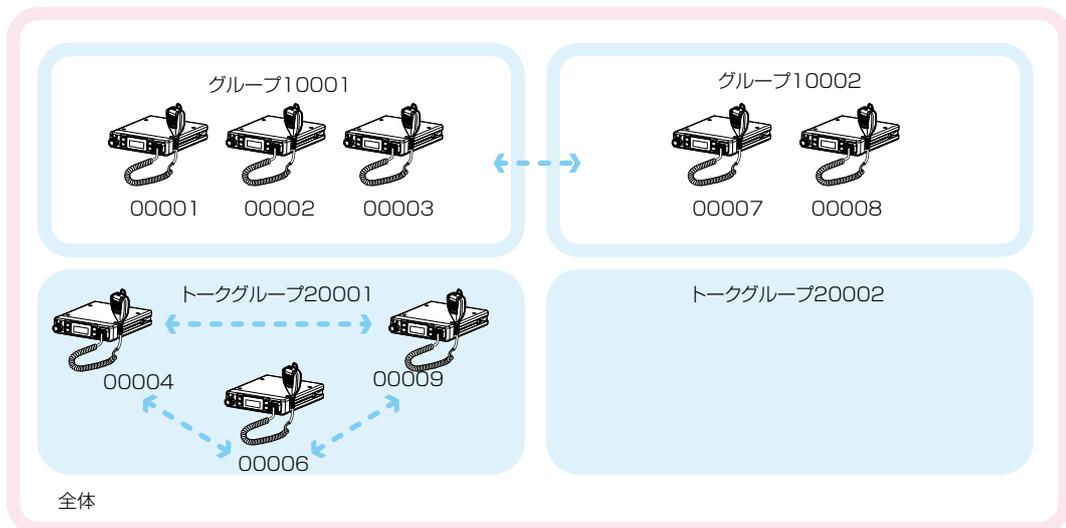
※トークグループの選択について詳しくは、3-9ページをご覧ください。

※通常のグループ呼び出し、全体呼び出しの対象にトークグループを含めるかどうかなど、お買い上げの販売店にご依頼ください。

トークグループOFF時



トークグループ選択時



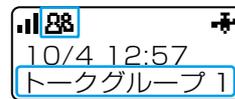
3 応用操作

2. トークグループ呼び出しのしかた(つづき)

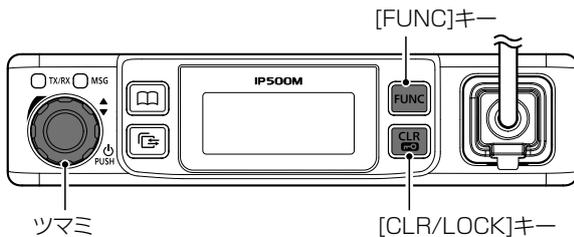
■ トークグループを[FUNC]キーで選択するときは(HM-204接続時)

※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

1. [FUNC]キーを押して、トークグループを選択します。
 - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. ツマミを回して、トークグループの番号を選択します。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
 - 同じトークグループ番号(例：20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。
 - ※トークグループ選択時、「」が点灯します。
 - 通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-4)
 - ※手順2でOFFを選択すると、トークグループが解除されます。



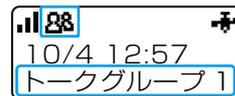
トークグループ
選択時の待受画面



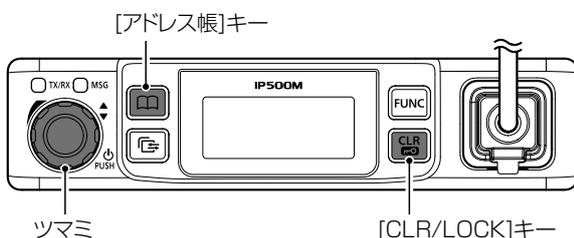
■ トークグループを[アドレス帳]キーで選択するときは(HM-204接続時)

※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、グループを選択します。
 - キーを押すごとに、アドレス帳検索*⇒全体⇒グループ⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
 - ★「アドレス帳検索」が有効のとき表示します。(P.5-54)
2. ツマミを回して、トークグループの番号を選択します。
 - グループ⇒トークグループの順番に表示します。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
 - 同じトークグループ番号(例：20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。
 - ※トークグループ選択時、「」が点灯します。
 - 通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-4)
 - ※手順2でグループを選択すると、トークグループが解除されます。



トークグループ
選択時の待受画面



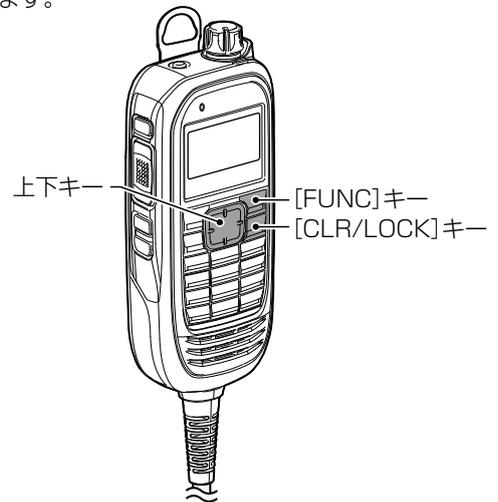
3 応用操作

2. トークグループ呼び出しのしかた(つづき)

■ トークグループを[FUNC]キーで選択するときは(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

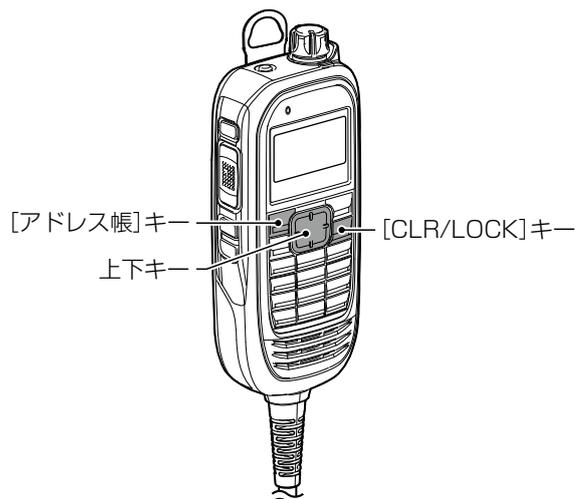
1. [FUNC]キーを押して、トークグループを選択します。
 - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. 上下キーを押して、トークグループの番号を選択します。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
 - 同じトークグループ番号(例：20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。
 - ※トークグループ選択時、「」が点灯します。
 - 通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-5)
 - ※手順2でOFFを選択すると、トークグループが解除されます。



■ トークグループを[アドレス帳]キーで選択するときは(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、グループを選択します。
 - キーを押すごとに、アドレス帳検索*⇒全体⇒グループ⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
 - ★[アドレス帳検索]が有効のとき表示します。(P.5-54)
2. 上下キーを押して、トークグループの番号を選択します。
 - グループ⇒トークグループの順番に表示します。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
 - 同じトークグループ番号(例：20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。
 - ※トークグループ選択時、「」が点灯します。
 - 通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-5)
 - ※手順2でグループを選択すると、トークグループが解除されます。



3 応用操作

3. その他の機能について

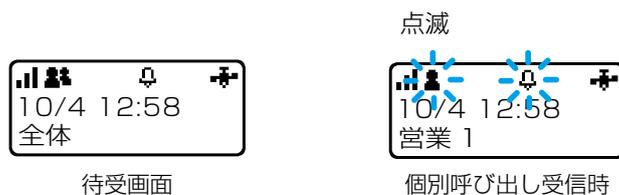
■ ポケットビープ機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせする機能です。

※お買い上げの販売店、または本製品のSETモード(P.4-2)、WEB画面(P.5-63)やCS-IP500M(P.6-2)で設定されている場合に使用できます。

受信通知音とポケットビープ機能が設定されている呼出種別があるときは、「」が点灯します。

その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせします。



■ Pベル機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音でお知らせする機能です。

応答するまで、相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

※[PTT](送信)スイッチを押して応答すると、音声ミュートを解除し、相手の音声が聞こえます。

※お買い上げの販売店、または本製品のSETモード(P.4-2)、WEB画面(P.5-63)やCS-IP500M(P.6-2)で設定されている場合に使用できます。

受信通知音とPベル機能が設定されている呼出種別があるときは、「」が点灯します。

その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音でお知らせします。



3 応用操作

3. その他の機能について(つづき)

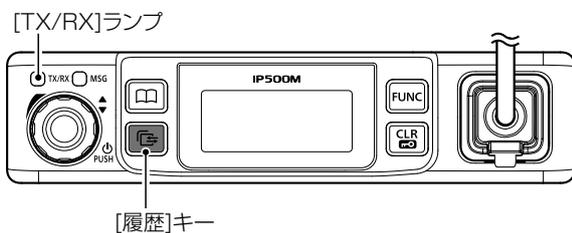
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)について

迅速な連絡が必要な場合など、あらかじめ設定されている相手に緊急呼び出しをする機能です。

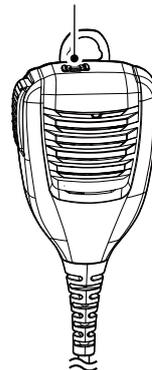
※お買い上げの販売店、または本製品のWEB画面(P.5-52、P.5-57)やCS-IP500M(P.6-2)で、緊急呼び出し機能が有効に設定されている場合に使用できます。

【緊急呼び出しをするときは】

1. 「緊急」と表示されるまで、[オプション]キーを長く押しします。
 - 「緊急」が表示され、警告音(ピロピロ…)が一定の間隔で鳴ります。
 - ※[履歴]キーに機能が設定されている場合も、[オプション]キーと同様に操作できます。
 - ※お買い上げの販売店で、サイレントモードに設定されている場合は、警告音や緊急表示は動作しません。
2. 「緊急」表示の状態、応答を待ちます。
 - 応答があると、警告音(ピロピロ…)が停止し、[TX/RX]ランプが緑色に点灯します。
 - 終話すると、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。
 - ※緊急呼び出しを解除するときは、「緊急」の表示が消えるまで[オプション]キーを長く押し、または本製品の電源を切ってください。



[オプション]キー(緊急)



HM-204

[TX/RX]ランプ

[オプション]キー(緊急)

[オプション]キー(P1)

[オプション]キー(P2)

[オプション]キー(P3)

[履歴]キー

HM-230



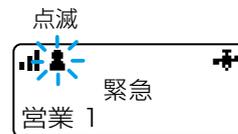
緊急呼び出し



緊急呼び出し
(サイレントモード)

【緊急呼び出しを受けるときは】

1. 「緊急」と呼び出し先が表示され、警告音(ピロピロ…)が一定の間隔で鳴ります。
 - ※お買い上げの販売店で、サイレントモードに設定されている場合は、警告音は動作しません。
2. [PTT] (送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、応答します。
 - 警告音(ピロピロ…)が停止します。
 - [PTT] (送信)スイッチを押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色に点灯します。
 - 終話すると、緊急呼び出しを受ける前の状態に戻ります。



緊急呼び出し

ご注意

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能は、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。

補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

緊急呼び出し機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

3 応用操作

3. その他の機能について(つづき)

■ Lone Worker機能について

本製品を一定時間操作しなかった場合、Lone Worker機能が動作します。

Lone Worker機能が動作すると、緊急呼び出し機能(P.3-12)が自動的に動作します。

警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。

※お買い上げの販売店で、Lone Worker機能が設定されている場合に使用できます。

ご注意

本製品に搭載されているLone Worker機能は、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。

補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

Lone Worker機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この章では、
本製品の各機能を変更できるSETモードについて説明しています。

1. 設定項目一覧	4-2
2. SETモード(基本)に移行するには	4-4
3. SETモード(詳細)に移行するには	4-4
4. SETモードで設定を変更するには	4-5

初期値について

お買い上げ時の設定により、本書に記載している初期値と異なる場合があります。
初期値については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

4 各種機能の設定(SETモード)

本製品の各機能を変更できるSETモードには、基本と詳細の2種類があります。

※表示される設定項目や初期値は、お買い上げ時の設定によって異なります。

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1. 設定項目一覧

下記の設定が変更できます。

■欄は、SETモード(基本)でも変更できる設定項目です。

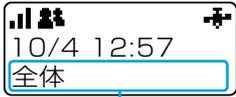
項目	内容	選択肢/設定範囲	初期値
履歴	受信や送信の履歴消去	---、CLR(消去)	---
リセット	初期化(初期値に戻す)	NO、YES	NO
FIRM UP	本製品のファームウェア更新	NO、YES	NO
接続通知	個別呼出に成功したときの通知音(ピピッ) ※「無効」にしている場合でも本製品の画面で結果を確認できます。	無効、有効	有効
失敗通知	個別呼出に失敗したときの通知音(プーッ) ※「無効」にしている場合でも本製品の画面で結果を確認できます。	無効、有効	有効
送信開始通知音(個別)	送信開始時の通知音	無効、通知音1～通知音8 ※数字が大きいほど、低い音になります。	通知音1(ピッ)
送信開始通知音(グループ)			
送信開始通知音(全体)			
送信開始通知音(電話)			
受信終了通知音(個別)	音声受信終了時の通知音	無効、通知音1～通知音8 ※数字が大きいほど、低い音になります。	通知音1(ピッ)
受信終了通知音(グループ)			
受信終了通知音(全体)			
受信終了通知音(電話)			
受信通知音(個別)	着信時、またはメッセージ受信時の通知音	無効、通知音1～通知音8 ※数字が大きいほど、低い音になります。	無効
受信通知音(グループ)			
受信通知音(全体)			
受信通知音(電話)			
受信通知音(メッセージ)			
受信通知方式(個別)	着信時の呼出方式	ポケットビープ、Pベル	Pベル
受信通知方式(グループ)			
受信通知方式(全体)			
受信通知方式(電話)			
受信通知回数(個別)	通知音の鳴動回数	連続、1、3、10、20(回)	3回
受信通知回数(グループ)			
受信通知回数(全体)			
受信通知回数(電話)			
受信通知回数(メッセージ)			
受信通知音量	着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量レベル	0～32	10
通信圏外通知音	圏外などで通信できなくなった、または圏内に戻り通信できる状態になったときの通知音(圏外時：ピピッ/圏内時：ポポッ)	無効、有効	無効

4 各種機能の設定(SETモード)

1. 設定項目一覧(つづき)

下記の設定が変更できます。

■欄は、SETモード(基本)でも変更できる設定項目です。

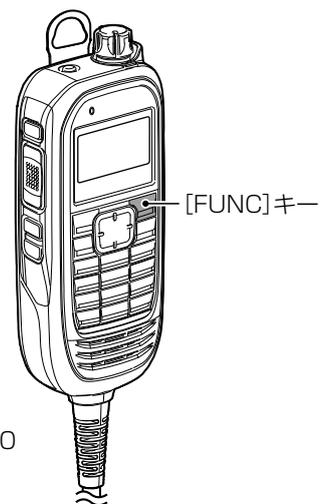
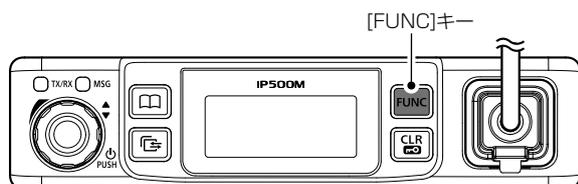
項目	内容	選択肢/設定範囲	初期値
エコーキャンセラー	エコーキャンセラー機能	無効、有効	有効
ノイズキャンセラー	ノイズキャンセラー機能	無効、有効	有効
バックライト	バックライト機能	常時点灯、常時消灯、操作時点灯	常時点灯
バックライト(テンキーマイク)	バックライト機能	常時点灯、常時消灯、操作時点灯	操作時点灯
コントラスト	画面表示の輝度設定	1(薄い)～16(濃い)	8
コントラスト(テンキーマイク)	画面表示の輝度設定	1(薄い)～16(濃い)	8
マイクゲイン	マイク感度	-12dB(低)～12dB(高) (3dB刻み)	0dB
通知音量	送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベル	0～32	10
キー操作音	キーやスイッチを操作したときの確認音	無効、有効	有効
キー操作音量	操作確認音の音量	0～32	10
ジッターバッファ	パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファ	ダイナミック、 40ミリ秒～480ミリ秒 (40ミリ秒刻み)	ダイナミック
待受画面での呼出	待受画面に、呼び出す相手局(呼出種別)を表示する設定	無効、有効	有効
相手局の表示切替	<p>送信や操作後など、待受画面に戻ったときに、表示する相手局(呼出種別)の設定</p>  <p>相手局(呼出種別)表示</p> <p>※「無効」にすると、呼出先設定としてお買い上げの販売店で設定された相手局(呼出種別)になります。</p>	<p>無効、送信操作(最後に送信した相手局)、送受信操作(最後に送信、または受信した相手局)、全操作(最後に送信、または受信した相手局か、アドレス帳/履歴で表示した相手局)</p>	無効
ACC端子接続確認	<p>電源が入ったときに、ACCと本製品が接続されているかどうか確認する機能</p> <p>※「有効」にすると、ACCが接続されていない状態で本製品の電源が入ると、「ACC端子未接続」が表示され、警告音(ピッ、ピッ…)が鳴り、約1分経過すると電源が切れます。</p> <p>※卓上電源装置(別売品：PS-230A)を接続する場合は、「無効」にしてください。</p>	無効、有効	有効
LTEユニットバージョン	通信ユニットのバージョン表示	—	—
ICCID	通信ユニットのICCID表示	—	—

4 各種機能の設定(SETモード)

2. SETモード(基本)に移行するには

SETモードを解除(P.4-5)するまで、送信や受信ができません。

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。

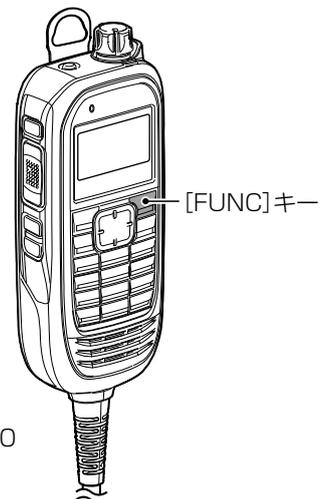
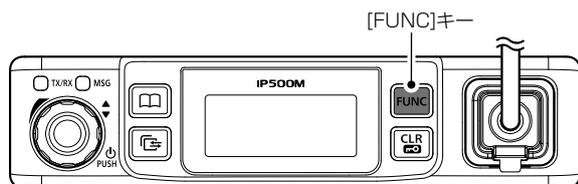
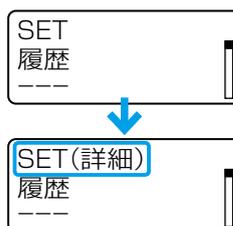


HM-230

3. SETモード(詳細)に移行するには

SETモードを解除(P.4-5)するまで、送信や受信ができません。

1. 上記の「2. SETモード(基本)に移行するには」を操作します。
2. SETモード(基本)の状態では、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
3. 「SET(詳細)」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。



HM-230

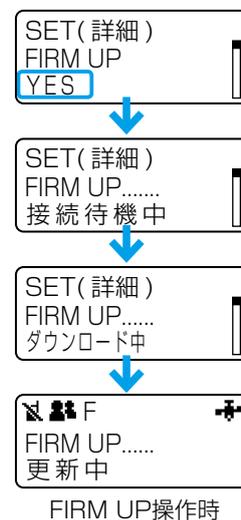
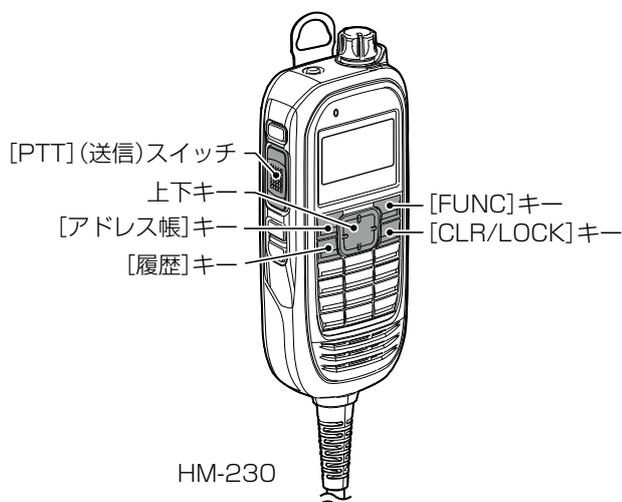
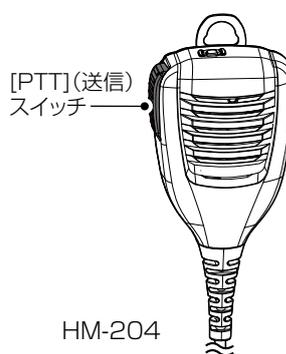
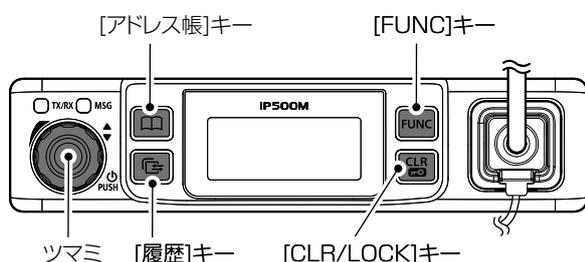
4 各種機能の設定(SETモード)

4. SETモードで設定を変更するには

SETモードに移行後、下記の手順で設定を変更できます。

1. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、項目を選択します。
2. ツマミを回し、設定内容を変更します。
 ※HM-230で操作するときは、上下キーを使用します。
 ※ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
3. [PTT](送信)スイッチ、または[CLR/LOCK]キーを押します。
 - SETモードが解除されます。
 - 下記については、[履歴]キーで操作します。
 - リセット(初期化)*、
 - FIRM UP (本製品のファームウェア更新)*、
 - 履歴削除

★リセットやFIRM UPを操作したときは、実行後、本製品が再起動します。
 ※ファームウェアの更新は、約10分かかります。



この章では、
WEB画面の各メニューで表示される設定画面について説明します。

1. 設定のしかた	5-3
■ 設定に使うパソコンについて	5-3
■ 設定用のパソコンに固定IPアドレスを設定する	5-4
■ 設定に使うパソコンを接続する	5-5
■ WEB画面にアクセスするには	5-6
■ 本体IPアドレスを変更するときは	5-7
2. 設定画面の名称と機能について	5-8
3. 「TOP」メニュー	5-9
■ 製品情報	5-9
■ ネットワーク情報	5-9
■ LTE情報	5-10
■ 無線機情報	5-10
4. 「情報表示」メニュー	5-11
■ SYSLOG	5-11
■ アクセスポイント情報	5-12
■ 仮想AP一覧	5-12
■ 端末情報	5-13
■ 通信端末詳細情報	5-13
■ メモリー使用率	5-14
■ トラフィック統計	5-15
5. 「ネットワーク設定」メニュー	5-17
■ 本体名称	5-17
■ VLAN設定	5-17
■ IPアドレス設定	5-18
■ DHCPサーバー設定	5-20
■ 静的DHCPサーバー設定	5-22
■ 静的DHCPサーバー設定一覧	5-22
6. 「無線LAN設定」メニュー	5-23
■ 無線LAN設定	5-23
■ 仮想AP設定	5-26
■ 暗号化設定	5-29
■ MACアドレスフィルタリング設定	5-34
■ 端末MACアドレスリスト	5-36
■ MACアドレスフィルタリング設定一覧	5-37
■ 無線通信状態	5-38

(次ページにつづく)

初期値について

お買い上げ時の設定により、本書に記載している初期値と異なる場合があります。

初期値については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※「無線機設定」メニューと「管理」メニューは、お買い上げ時の設定により使用できない場合があります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

下記は、前ページからの「つづき」です。

7.「無線機設定」メニュー	5-39
■ 無線機基本設定	5-39
■ 無線機詳細設定	5-62
■ アドレス帳設定の保存と書き込み	5-66
■ アドレス帳設定	5-68
■ アドレス帳設定一覧	5-69
■ メッセージ設定の保存と書き込み	5-70
■ メッセージ設定	5-72
■ プレゼンス設定	5-73
8.「無線機情報通知設定」メニュー	5-74
■ 無線機情報フィルタリング設定	5-74
■ フィルタリングリスト設定	5-75
■ フィルタリングリスト一括設定	5-76
9.「管理」メニュー	5-77
■ 管理者パスワードの変更	5-77
■ USB設定	5-78
■ 時刻設定	5-79
■ SYSLOG設定	5-80
■ SNMP設定	5-81
■ PINGテスト	5-82
■ 経路テスト	5-83
■ 再起動	5-84
■ 設定の保存	5-85
■ 設定の復元	5-86
■ 設定内容一覧	5-87
■ 初期化	5-88
■ ファームウェア情報	5-89
■ オンライン更新	5-90
■ 手動更新	5-91
■ LTEモジュール情報	5-92

初期値について

お買い上げ時の設定により、本書に記載している初期値と異なる場合があります。

初期値については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※「無線機設定」メニューと「管理」メニューは、お買い上げ時の設定により使用できない場合があります。

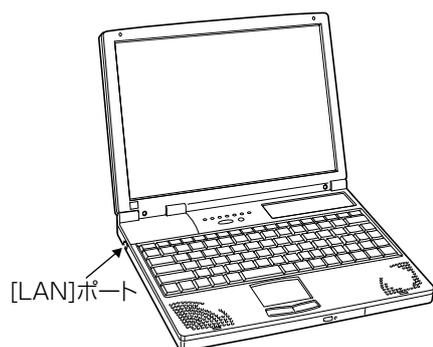
5 各種機能の設定(WEB画面)

1. 設定のしかた

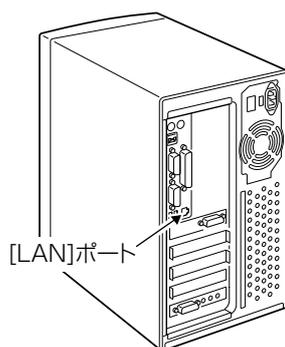
■設定に使うパソコンについて

WEB画面から設定する場合は、LANケーブルを接続できるパソコンをご用意ください。

ノートブック型パソコン



デスクトップ型パソコン



※[LAN]ポートの位置は、ご使用のパソコンによって異なりますので、LANケーブルを接続するときは、パソコンの取扱説明書などでご確認ください。

※すでに有線LANでご使用のパソコンを本製品の設定に使用する場合は、そのパソコンを既存の有線LANから切りはなしてください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

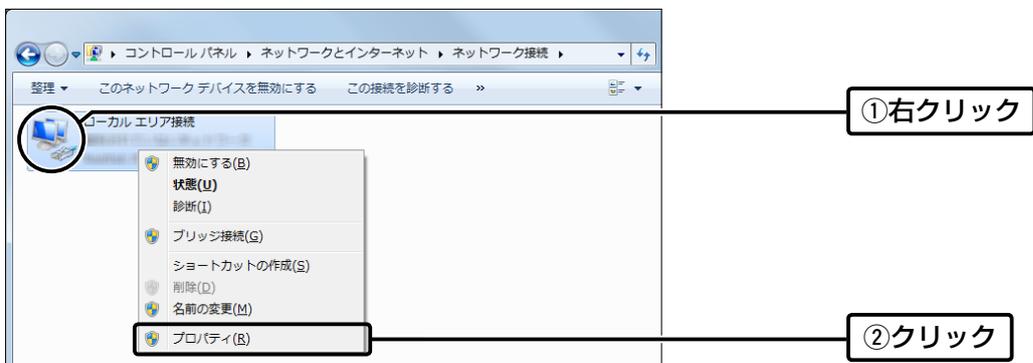
1. 設定のしかた(つづき)

■設定用のパソコンに固定IPアドレスを設定する

設定で使用するパソコンに固定IPアドレス(例：192.168.0.100)を割り当てる手順について、Windows 7を例に説明します。

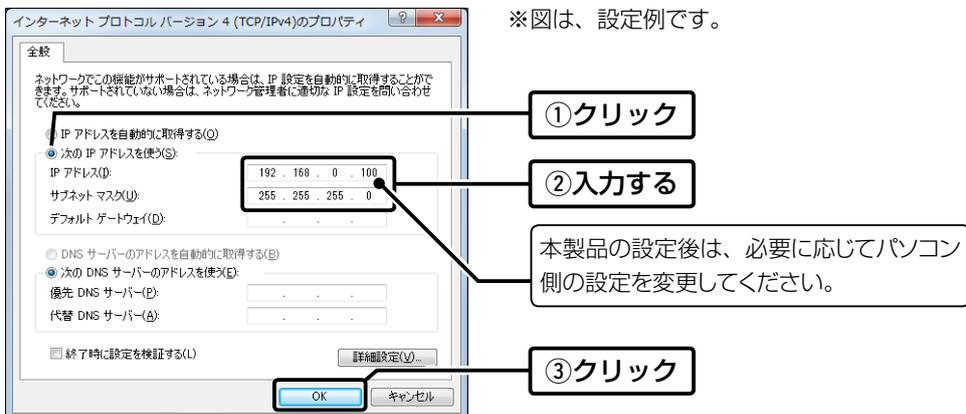
初期値では、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」に設定されています。

- 1 マウスを<スタート>(ロゴボタン)→[コントロールパネル]の順に操作します。
- 2 コントロールパネルで、[ネットワークとインターネット]をクリックし、表示された画面で[ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 3 タスク欄の[アダプターの設定の変更]をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続]を右クリックし、表示されたメニューで、[プロパティ(R)]をクリックします。



- 5 [ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、<続行(C)>をクリックします。
- 6 [ローカル エリア接続のプロパティ]画面で、[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選択し、<プロパティ(R)>をクリックします。
[インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ]画面(別画面)を表示します。

- 7 [次のIPアドレスを使う(S)]をクリックし、[IPアドレス(I)](例：192.168.0.100)と[サブネットマスク(U)](例：255.255.255.0)を入力して、<OK>をクリックします。



- 8 <閉じる>をクリックします。

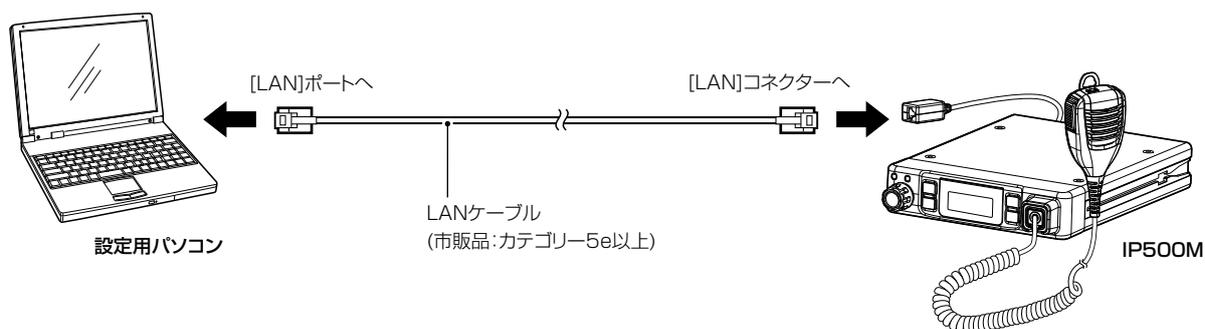
5 各種機能の設定(WEB画面)

1. 設定のしかた(つづき)

■設定に使うパソコンを接続する

接続後、本製品とパソコンの電源を入れます。

※初期値の状態で接続するときは、本製品に接続するパソコンを既存のネットワークから切りはなしてください。



ご注意

本製品の[LAN]コネクタにLANケーブルを接続するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。

※接続するLANケーブルによっては、ブーツが干渉して「カチッ」と音が鳴らず、接触不良になることがあります。

LANケーブルのブーツをはずしてから接続してください。

※故障の原因になりますので、[LAN]コネクタにマイクロホンは接続しないでください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

1. 設定のしかた(つづき)

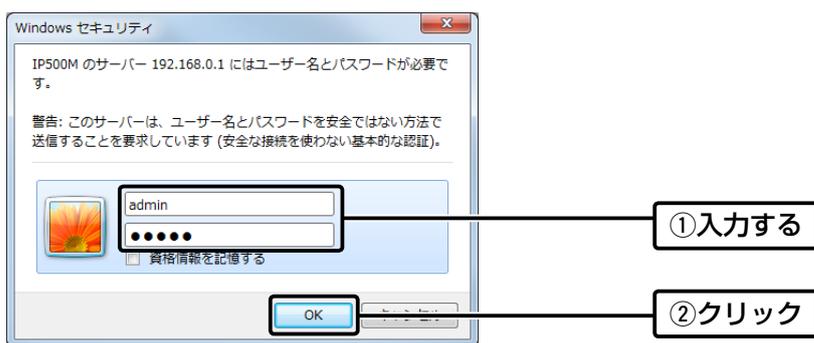
■WEB画面にアクセスするには

本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、本製品のWEB画面にアクセスする手順について説明します。

- 1 WWWブラウザを起動します。
- 2 本製品に設定されたIPアドレスをWWWブラウザのアドレスバーに入力します。
初期値では、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」に設定されています。



- 3 [Enter]キーを押します。
[ユーザー名]と[パスワード]を求める画面が表示されます。
- 4 [ユーザー名]欄に「admin」(変更不可)、[パスワード]欄に「admin」(初期値)を入力し、〈OK〉をクリックすると、WEB画面が表示されます。



WWWブラウザについて

Microsoft® Internet Explorer® 11で動作確認しています。

WEB画面が正しく表示できるように、WWWブラウザのJavaScript®機能、およびCookieは有効にしてください。

※Microsoft® Internet Explorer® 8以前をご使用の場合は、正しく表示できないことがあります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

1. 設定のしかた(つづき)

ネットワーク設定 > LAN側IP

■本体IPアドレスを変更するときは

本製品のIPアドレスを変更するときは、既存のネットワークと重複しないように設定します。

- 1 「ネットワーク設定」メニュー、「本体IPアドレス」の順にクリックします。
- 2 「本体IPアドレス」画面で、「IPアドレス設定」項目の設定を変更し、「登録」をクリックします。

本体名称

本体名称:

VLAN設定

Management ID: VLAN IDを付けない場合は0を入力

IPアドレス設定

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

プライマリDNSサーバー:

セカンダリDNSサーバー:

①入力する

②クリック

- 3 「再起動」をクリックします。

再起動が必要な項目が変更されています。

本体名称

クリック

※表示される画面にしたがって、本製品を再起動します。

- 4 再起動完了後、「Back」と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックします。
[ユーザー名]と[パスワード]を求める画面が表示されます。

※IPアドレスの「ネットワーク部(例：192.168.0)」を変更したときは、設定に使用するパソコンの「ネットワーク部」についても本製品と同じに変更します。

IPアドレスの割り当てかた

IPアドレスは、「ネットワーク部」と「ホスト部」の2つの要素から成り立っています。

出荷時の本製品のIPアドレス「192.168.0.1」(クラスC)を例とすると、最初の「192.168.0」までが「ネットワーク部」で、残りの「1」を「ホスト部」といいます。

「ネットワーク部」が同じIPアドレスを持つネットワーク機器(パソコンなど)は、同じネットワーク上にあると認識されます。さらに「ホスト部」によって同じネットワーク上にある各ネットワーク機器を識別しています。

以上のことから、IPアドレスを割り当てるときは、次のことに注意してください。

- 同じネットワークに含めたいネットワーク機器に対しては、「ネットワーク部」をすべて同じにする
- 同じネットワーク上の機器に対して、「ホスト部」を重複させない
- ネットワークアドレス(ホスト部の先頭、および「0」)を割り当てない
- ブロードキャストアドレス(ホスト部の末尾、および「255」)を割り当てない

5 各種機能の設定(WEB画面)

2. 設定画面の名称と機能について

本製品の設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。



ホームページのリンク

インターネットに接続できる環境で、アイコンをクリックすると、弊社のホームページを閲覧できます。

設定画面選択メニュー

各設定画面を用途別に、メニューとしてまとめています。先頭に▼があるメニュー名をクリックすることにより、そのメニューにある設定画面へのリンクを開け閉めできます。※「TOP」をクリックすると、すべての設定画面へのリンクを開け閉めできます。

設定画面表示エリア

設定画面選択メニューで選択されたタイトルの画面を表示します。

※上図は、「ネットワーク設定」メニューの「本体IPアドレス」をクリックしたときに表示される画面です。

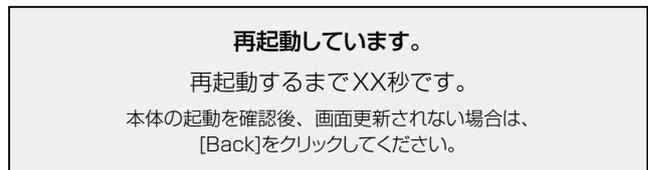
設定ボタン

設定した内容の登録や取り消しをします。

※「登録」をクリックして、「再起動が必要な項目が変更されています。」と表示される場合は、「再起動」をクリックします。

表示された画面にしたがって操作します。

再起動中は、下図を表示します。



※再起動後に、設定した内容が有効となります。

※再起動が完了するまで、[Back]と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックしても、設定画面に戻りません。

しばらくしてから再度操作してください。

※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

3.「TOP」メニュー

TOP

■製品情報

ファームウェアのバージョン情報、本製品の本体MACアドレス(LAN/無線)を表示します。

製品情報	
本体名称	IP500M
IPL	Rev. []
バージョン	Ver. [] Copyright [] Icom Inc.
LAN MACアドレス	[]
無線 MACアドレス	[]
内蔵ファームウェアバージョン(HM-230)	Ver. []

※MACアドレスは、本製品のようなネットワーク機器がそれぞれ独自に持っている機器固有の番号で、12桁(0090C7××××××)で表示されています。

TOP

■ネットワーク情報

LAN側のIPアドレスなど、ネットワーク情報を表示します。

ネットワーク情報	
LAN IPアドレス	192.168.0.1
DHCPサーバー	無効

5 各種機能の設定(WEB画面)

3.「TOP」メニュー(つづき)

TOP

■LTE情報

本製品の電波状態やIP無線コントローラーとの接続状況などを表示します。

LTE情報	
① ICCID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
② バージョン	Ver. XXXXX
③ 電波強度	中
④ 接続状態	接続中

- ① ICCID 通信ユニットのICCIDを表示します。
- ② バージョン 通信ユニットのバージョン情報を表示します。
- ③ 電波強度 電波の強度(目安)について、「圏外」、「弱」、「中」、「強」で表示します。
- ④ 接続状態 LTEの接続状態について、「初期化处理中」、「初期化处理失敗」、「接続試行中」、「接続中」、「未接続」を表示します。

TOP

■無線機情報

本製品の個別番号を表示します。

無線機情報	
個別番号	00014

5 各種機能の設定(WEB画面)

4.「情報表示」メニュー

情報表示 > SYSLOG

■SYSLOG

本製品のログ情報を表示します。

※「管理」メニューの「SYSLOG」画面(P.5-80)で「有効」に設定し、この画面でチェックマークを入れたレベルのログ情報だけが表示されます。

SYSLOG

現在時刻: ████████ 15:20 (起動時間: 0 days 04:15:30)

① 表示するレベル: DEBUG INFO NOTICE

② 再読込 ③ クリア

日付・時間	レベル	内容
03/03 11:06:18	INFO	[LTE]: Synchronize system time to THR MAR 03 11:06:18
03/03 11:05:36	NOTICE	Copyright ████████ Icom Inc.
03/03 11:05:36	NOTICE	IP500M Ver. ██████

④ 保存

※上図のログ情報は表示例です。

- ① **表示するレベル** ログ情報の各レベルについて、表示/非表示を選択します。
非表示に設定するには、非表示にするレベルのチェックボックスのチェックマーク[✓]をはずして、〈再読込〉(②)をクリックします。
(初期値: DEBUG INFO NOTICE)
※チェックボックスの状態は、保存されません。
WEB画面へのアクセスごとに、元の状態に戻ります。
※表示・非表示の設定は保存されませんので、次回WEB画面にアクセスしたときは、再度、非表示にするレベルのチェックマーク[✓]をはずしてください。
- ② **〈再読込〉** [表示するレベル](①)欄でチェックマーク[✓]のあるレベルについてのSYSLOG情報を最新の状態にするボタンです。
※512件のログ情報を記憶できます。
512件を超えると、古いログ情報から削除されます。
- ③ **〈クリア〉** ログ情報を削除するボタンです。
※電源を切る、または設定の変更や初期化に伴う再起動でも、それまでのログ情報は削除されます。
- ④ **〈保存〉** 本製品の内部に蓄積され、[表示するレベル](①)欄で選択したレベルの最新ログ情報を保存するボタンです。
※クリックして、表示された画面にしたがって操作すると、ログ情報をテキスト形式(拡張子: txt)で保存できます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

4.「情報表示」メニュー(つづき)

情報表示 > 無線設定情報一覧 > 無線LAN

■ アクセスポイント情報

無線LANユニット有効時、無線LANで使用するチャンネルや帯域幅、本製品の稼働時間などを表示します。
※電源を切る、または設定の変更や初期化に伴う再起動で、それまでの稼働時間は初期化されます。

アクセスポイント情報

使用中チャンネル: 1 CH (2412 MHz) 20 MHz帯域幅
現在時刻: 2014/07/25 15:00:00
稼働時間: 0 days 00:07:18

情報表示 > 無線設定情報一覧 > 無線LAN

■ 仮想AP一覧

無線LANユニット有効時、仮想APごとに設定状況を一覧で表示します。
※使用していない仮想APの一覧は、[インターフェース]欄以外が空白になります。

仮想AP一覧

インターフェース	ath0
SSID	WIRELESSLAN-0
VLAN ID	0
ANY接続拒否	無効
暗号化	WPA2-PSK (AES)
MACアドレスフィルタリング	無効
インターフェース	ath1
SSID	
VLAN ID	
ANY接続拒否	
暗号化	
MACアドレスフィルタリング	
インターフェース	ath2
SSID	
VLAN ID	
ANY接続拒否	
暗号化	
MACアドレスフィルタリング	
インターフェース	ath3
SSID	
VLAN ID	
ANY接続拒否	
暗号化	
MACアドレスフィルタリング	

5 各種機能の設定(WEB画面)

4.「情報表示」メニュー(つづき)

情報表示 > 無線設定情報一覧 > 端末情報

■ 端末情報

本製品の仮想APと通信する無線LAN端末があるとき、その無線LAN端末との通信情報を表示します。

端末情報			
現在時刻:	09:42 (稼働時間: 0 days 00:07:49)	<input type="button" value="最新状態に更新"/>	
所属AP	MACアドレス	通信モード	<input type="button" value="詳細"/>
ath0	XXXXXXXXXX:XXXXXXXXXX	802.11ng	

※「最新状態に更新」をクリックすると、表示内容を最新の状態にします。

※「詳細」をクリックすると、通信中の無線LAN端末について別画面(下図)で表示します。

情報表示 > 無線設定情報一覧 > 端末情報 > 通信端末詳細情報

■ 通信端末詳細情報

無線LAN端末と通信中、「端末情報」画面の「端末情報」項目に表示された「詳細」をクリックすると表示されます。

通信端末詳細情報	
通信状況:	通信中
MACアドレス:	XXXXXXXXXX:XXXXXXXXXX
通信モード:	802.11ng
SSID:	WIRELESSLAN-0
暗号化:	WPA2-PSK (AES)
チャンネル:	1CH (2412MHz)
信号レベル:	 22
速度:	送信 - / 受信 72.2Mbps
WMM:	有効
接続時間:	0 days 00:04:05

※[信号レベル]欄に、無線LAN端末から受信した電波信号の強さを、メーターと数値で表示します。

表示	[赤]	[黄]	[緑]	[青]
レベル	0~4	5~14	15~29	30以上

安定した通信の目安は、「緑(15)」以上のレベルです。(単位はありません)

ただし、信号レベルが高くて、同じ周波数帯域を使用する無線LAN機器が近くで稼働している場合や無線LAN機器の稼働状況などにより、通信が安定しないことがあります。

したがって、あくまでも通信の目安としてご利用ください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

4.「情報表示」メニュー(つづき)

情報表示 > 統計情報

■メモリー使用率

本製品のメモリー使用率について、統計グラフを表示します。

※[メモリー使用率]項目の各設定内容は、WEB画面へのアクセスごとに、初期値に戻ります。

メモリー使用率

① 表示間隔:

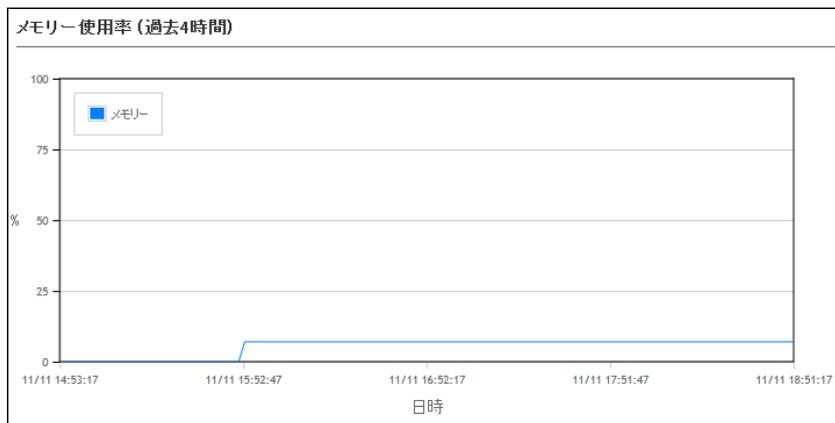
② 自動リロード: 無効 有効

③ 表示

① 表示間隔 グラフに表示するサンプリング間隔を、「2分」、「1時間」から選択します。
(初期値：2分)

② 自動リロード 定期的にグラフを再描画するかどうかを設定します。 (初期値：有効)
※再描画する間隔は、[表示間隔]①欄で設定した時間になります。

③ <表示> クリックすると、メモリー使用率グラフを別画面で表示します。
メモリー使用率グラフについて



※上図は、表示例です。

※横軸は日時、縦軸はメモリー使用率を表示します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

4.「情報表示」メニュー(つづき)

情報表示 > 統計情報

■トラフィック統計

本製品のインターフェースごとに、トラフィックの統計グラフを表示します。

※[トラフィック統計]項目の各設定内容は、WEB画面へのアクセスごとに、初期値に戻ります。

トラフィック統計

① 表示するインターフェース: mirror0 (LAN)
 PPPoE (LTE)

② 表示間隔: 2分

③ 自動リロード: 無効 有効

④ 一括ウィンドウ表示: 無効 有効

⑤ 表示

- ① 表示するインターフェース …… インターフェースの各グラフについて、表示/非表示を選択します。
表示に設定するときは、インターフェースのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(初期値: mirror0(LAN) PPPoE(LTE))
※[無線UNIT]欄を「有効」に設定したときは、使用する無線LANの仮想AP (ath0～ath3)が表示されます。(P.5-23, P.5-26)
- ② 表示間隔 …………… グラフに表示するサンプリング間隔を、「2分」、「1時間」から選択します。
(初期値: 2分)
- ③ 自動リロード …………… 定期的にグラフを再描画するかどうかを設定します。(初期値: 有効)
※再描画する間隔は、[表示間隔]②欄で設定した時間になります。
- ④ 一括ウィンドウ表示 …………… 選択したインターフェースのグラフについて、表示方法を設定します。
(初期値: 有効)
- ◎有効
選択したすべてのインターフェースを1つの画面内に並べて表示します。
- ◎無効
インターフェースごとに、別画面でグラフを表示します。
※ご使用の環境によっては、ポップアップに対する警告が表示されることがあります。
この場合、WWWブラウザの設定でポップアップ表示の許可が必要です。

5 各種機能の設定(WEB画面)

4.「情報表示」メニュー(つづき)

情報表示 > 統計情報

■ トラフィック統計(つづき)

トラフィック統計

① 表示するインターフェース: mirror0 (LAN) PPP0 (LTE)

② 表示間隔:

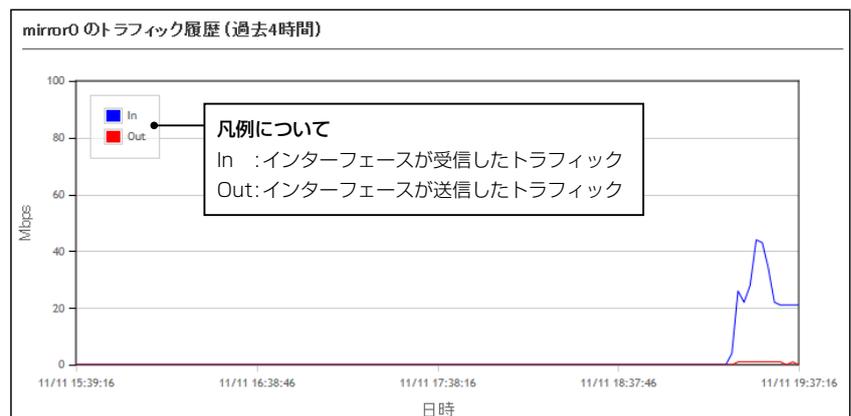
③ 自動リロード: 無効 有効

④ 一括ウィンドウ表示: 無効 有効

⑤ 表示

⑤ <表示> クリックすると、トラフィック統計グラフを別画面で表示します。

トラフィック統計グラフについて



※上図は、表示例です。

※横軸は日時、縦軸はトラフィックの状態を表示します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

5.「ネットワーク設定」メニュー

ネットワーク設定 > 本体IPアドレス

■本体名称

本製品の名称を設定します。

本体名称	
本体名称:	<input type="text" value="IP500M"/>

本体名称……………

「Telnet」で本製品に接続したとき、ここで設定した本体名称を表示します。
(初期値：IP500M)

※半角英数字(a～z、A～Z、0～9、-)を、任意の31文字以内で設定します。

なお、半角英数字以外の文字は、使用しないでください。

※「- (ハイフン)」を本体名称の先頭、または末尾に使用すると、登録できません。

ネットワーク設定 > 本体IPアドレス

■VLAN設定

VLAN機能についての設定です。

VLAN設定	
マネージメントID:	<input type="text" value="0"/> VLAN IDを付けない場合は0を入力

マネージメントID……………

本製品に設定された同じID番号を持つネットワーク上の機器からのアクセスだけを許可できます。
(初期値：0)

設定できる範囲は、「0～4094」です。

※VLAN IDを使用しないネットワークから本製品にアクセスするときは、「0」を設定します。

※不用意に設定すると、本製品のWEB画面にアクセスできなくなりますのでご注意ください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

5.「ネットワーク設定」メニュー(つづき)

ネットワーク設定 > 本体IPアドレス

■ IPアドレス設定

本製品のIPアドレスを設定します。

IPアドレス設定	
① IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
② サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
③ デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
④ プライマリDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑤ セカンダリDNSサーバー:	<input type="text"/>
<input type="button" value="⑥ 登録"/> <input type="button" value="⑦ 取消"/>	

- ① IPアドレス 本製品のIPアドレスを入力します。(初期値：192.168.0.1)
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。
※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合は、[DHCPサーバー設定]項目の[割り当て開始IPアドレス]欄についてもネットワーク部を同じに設定してください。(P.5-20)
- ② サブネットマスク 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。(初期値：255.255.255.0)
※本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。
- 例：「255.255.255.248」に設定する場合**
同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲は、「192.168.0.0～192.168.0.7」になります。
この場合、端末に割り当てできるIPアドレスの範囲は、「192.168.0.2～192.168.0.6」です。
なお、端末に割り当てできないIPアドレスは次のようになります。
「192.168.0.0」：ネットワークアドレス
「192.168.0.1」：本製品のIPアドレス
「192.168.0.7」：ブロードキャストアドレス
- ③ デフォルトゲートウェイ 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品と同じIPアドレスは登録できません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

5.「ネットワーク設定」メニュー

ネットワーク設定 > 本体IPアドレス

■ IPアドレス設定(つづき)

IPアドレス設定

① IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
② サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
③ デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
④ プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑤ セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>

⑥ ⑦

- ④ **プライマリーDNSサーバー** …… 本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※使い分けたいアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力してください。
- ⑤ **セカンダリーDNSサーバー** …… [プライマリーDNSサーバー](④)欄と同様に、本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※必要に応じて、使い分けたいDNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ⑥ **〈登録〉** …………… [本体IPアドレス]画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑦ **〈取消〉** …………… [本体IPアドレス]画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

5.「ネットワーク設定」メニュー(つづき)

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■DHCPサーバー設定

本製品のDHCPサーバー機能を設定します。

DHCPサーバー設定

① DHCPサーバー:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
② 割り当て開始IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.10"/>
③ 割り当て個数:	<input type="text" value="128"/> 個
④ サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
⑤ リース期間:	<input type="text" value="72"/> 時間
⑥ ドメイン名:	<input type="text"/>
⑦ デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
⑧ プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑨ セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑩ プライマリーWINSサーバー:	<input type="text"/>
⑪ セカンダリーWINSサーバー:	<input type="text"/>

- ① DHCPサーバー 本製品のDHCPサーバー機能を設定します。 (初期値：無効)
「有効」に設定すると、[DHCPサーバー設定]項目の②～⑪に設定された内容にしたがって、DHCPサーバーとして動作します。
- ② 割り当て開始IPアドレス 本製品に接続する端末へ、IPアドレスを自動で割り当てるときの開始アドレスを設定します。 (初期値：192.168.0.10)
- ③ 割り当て個数 本製品が自動割り当てできるIPアドレスの個数を設定します。 (初期値：128)
[割り当て開始IPアドレス](②)欄に設定されたIPアドレスから連続で自動割り当てできるIPアドレスの最大個数は、「0～128」(個)までです。
※128個を超える分については設定できませんので、手動でクライアントに割り当ててください。
※「0」を設定したときは、自動割り当てをしません。
- ④ サブネットマスク [割り当て開始IPアドレス](②)欄に設定されたIPアドレスに対するサブネットマスクです。 (初期値：255.255.255.0)
- ⑤ リース期間 DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの有効期間を時間で指定します。設定できる範囲は、「1～9999」(時間)です。 (初期値：72)
- ⑥ ドメイン名 指定のドメイン名を設定する必要があるときは、DHCPサーバーが端末に通知するネットワークのドメイン名を127文字(半角英数字)以内で入力します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

5.「ネットワーク設定」メニュー

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ DHCPサーバー設定(つづき)

DHCPサーバー設定

① DHCPサーバー:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
② 割り当て開始IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.10"/>
③ 割り当て個数:	<input type="text" value="128"/> 個
④ サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
⑤ リース期間:	<input type="text" value="72"/> 時間
⑥ ドメイン名:	<input type="text"/>
⑦ デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
⑧ プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑨ セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑩ プライマリーWINSサーバー:	<input type="text"/>
⑪ セカンダリーWINSサーバー:	<input type="text"/>

- ⑦ デフォルトゲートウェイ …………… 本製品のDHCPサーバー機能を使用するときに、[割り当て開始IPアドレス] (②) 欄のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。
- ⑧ プライマリーDNSサーバー …………… DNSサーバーを利用する場合は、DNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力します。
- ⑨ セカンダリーDNSサーバー …………… [プライマリーDNSサーバー] (⑧) 欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。
- ⑩ プライマリーWINS
サーバー …………… WINSサーバーを利用する場合は、WINSサーバーアドレスを入力します。WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力します。
- ⑪ セカンダリーWINS
サーバー …………… [プライマリーWINSサーバー] (⑩) 欄と同様、WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。
- ⑫ <登録> …………… [DHCPサーバー設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑬ <取消> …………… [DHCPサーバー設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

5.「ネットワーク設定」メニュー(つづき)

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■静的DHCPサーバー設定

固定IPアドレスを特定の端末に割り当てる設定です。

静的DHCPサーバー設定		
MACアドレス	IPアドレス	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

静的DHCPサーバー設定 ……………

端末のMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを登録します。

※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合に有効です。(P.5-20)

※入力後は、〈追加〉をクリックしてください。

※最大32個の組み合わせまで登録できます。

※DHCPサーバー機能により自動で割り当てられるIPアドレスの範囲外でIPアドレスを設定してください。

例：[DHCPサーバー設定]項目(P.5-20)で、[開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄が初期値の場合は、192.168.0.138以降のIPアドレスを設定してください。

※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■静的DHCPサーバー設定一覧

[静的DHCPサーバー設定]項目で登録した内容を表示します。

静的DHCPサーバー設定一覧		
MACアドレス	IPアドレス	
00-90-C7- <input type="text"/>	192.168.0.100	<input type="button" value="削除"/>

※画面の値は、登録例です。

〈削除〉……………

登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > 無線LAN

■無線LAN設定

本製品に内蔵された無線LANユニットに対する設定です。

無線LAN設定

① 無線UNIT: 無効 有効

② 帯域幅: 20 MHz ▼

③ チャンネル: 001 CH (2412 MHz) ▼

④ パワーレベル: 高 ▼

⑤ DTIM間隔: 1

⑥ プロテクション: 無効 有効

⑦ 登録 ⑧ 取消

- ① 無線UNIT…………… 無線LAN機能の使用を設定します。 (初期値：無効)
「有効」に設定すると、本製品の無線LAN機能を使用できます。
- ② 帯域幅…………… 本製品の無線LAN機能で使用する周波数帯域幅を設定します。
(初期値：20MHz)
※無線LAN通信で40MHz帯域幅をご使用になる場合、周囲の電波環境を事前に確認して、ほかの無線局に電波干渉を与えないようにしてください。
※万一、本製品から、ほかの無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、[帯域幅]欄を「20MHz」でご使用ください。
※帯域幅について詳しくは、vページをご覧ください。
- ③ チャンネル…………… 本製品の無線LAN機能で使用するチャンネルを設定します。
(初期値：001CH (2412MHz))
※2.4GHz帯使用時の電波干渉については、8-3ページをご覧ください。
※本製品の5GHz帯無線LANは、屋内使用に限定されています。
屋外では使用しないでください。
※5.3/5.6GHz帯のチャンネル選択時のDFS機能については、viページをご覧ください。
※DFS機能によりレーダー波を検出した場合、通話を継続するため、5.2GHz帯(屋内限定使用)のチャンネルに変更されることがあります。
5.6GHz帯の場合でも、屋外では使用しないでください。
※自動車内は屋外となりますので、5GHz帯を使用できません。
自動車内で無線LAN機能を利用する場合は、2.4GHz帯を使用してください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > 無線LAN

■無線LAN設定(つづき)

無線LAN設定

① 無線UNIT: 無効 有効

② 帯域幅: 20 MHz ▾

③ チャンネル: 001 CH (2412 MHz) ▾

④ パワーレベル: 高 ▾

⑤ DTIM間隔: 1

⑥ プロテクション: 無効 有効

⑦ 登録 ⑧ 取消

④ パワーレベル

本製品に内蔵する無線LANカードの送信出力を、高/中/低/最低(4段階)の中から選択します。
(初期値：高)

本製品の最大伝送距離は、パワーレベルが「高」の場合です。

パワーレベルを低くすると、伝送距離も短くなります。

パワーレベルを低くする目的について

◎本製品から送信される電波が広範囲に届くのを軽減したいとき

◎通信エリアを制限してセキュリティーを高めたいとき

◎比較的狭いエリアに複数台の無線アクセスポイントが設置された環境で、近くの無線LAN機器との電波干渉をなくして、通信速度の低下などを軽減したいとき無線通信機能の使用を設定します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > 無線LAN

■無線LAN設定(つづき)

無線LAN設定

① 無線UNIT: 無効 有効

② 帯域幅: 20 MHz ▾

③ チャンネル: 001 CH (2412 MHz) ▾

④ パワーレベル: 高 ▾

⑤ DTIM間隔: 1

⑥ プロテクション: 無効 有効

⑦ 登録

⑧ 取消

- ⑤ DTIM間隔..... DTIM(Delivery Traffic Indication Message)をビーコンに挿入する間隔を設定します。(初期値：1)
設定できる範囲は、「1～50」です。
DTIMとは、パワーセーブしている端末に対して、ブロードキャスト・マルチキャストパケット配送を伝えるメッセージのことです。
※設定を変更すると、正常に通信できないことがありますので、特に必要がない場合は、初期値でご使用ください。
- ⑥ プロテクション 異なる無線LAN規格の混在による電波干渉をなくして、無線LANの通信速度低下を軽減したいとき有効な設定です。(初期値：有効)
※「有効」に設定すると、通信速度の低下を防止するのに効果があります。
- ⑦ <登録> 「無線LAN」画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑧ <取消> 「無線LAN」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > 仮想AP

■ 仮想AP設定

本製品1台で複数の仮想無線アクセスポイントとして使用するための設定です。

仮想AP設定	
① インターフェース:	ath0 ▼
② 仮想AP:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
③ SSID:	WIRELESSLAN-0
④ VLAN ID:	0
⑤ ANY接続拒否:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
⑥ 接続端末制限:	63

- ① インターフェース …………… 設定する仮想APを選択します。(初期値: ath0)
仮想APごとに、[仮想AP設定]項目(②～⑥)と[暗号化設定]項目の設定内容を変更できます。
※「ath1～ath3」を使用するときは、[仮想AP](②)欄を「有効」にしてください。
※仮想APごとの設定状況は、「情報表示」メニューの「無線設定情報一覧 無線LAN」にある「仮想AP一覧」(ath0～ath3)に表示します。(P.5-12)
※ご使用のWWWブラウザでJavaScript[®]が「無効」に設定されていると、仮想APを選択したとき、[仮想AP設定]項目と[暗号化設定]項目の設定内容が更新されません。
更新されないときは、ご使用のWWWブラウザでJavaScript[®]の設定が「有効」に設定されていることを確認してください。
- ② 仮想AP …………… [インターフェース](①)欄で選択した仮想APの使用について設定します。(初期値: 有効(ath0)、無効(ath1～ath3))
※「ath0」は「無効」にできません。
※通信速度低下を防止するため、使用する無線インターフェースだけを「有効」に設定してください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > 仮想AP

■ 仮想AP設定(つづき)

仮想AP設定	
① インターフェース:	ath0 ▼
② 仮想AP:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
③ SSID:	WIRELESSLAN-0
④ VLAN ID:	0
⑤ ANY接続拒否:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
⑥ 接続端末制限:	63

③ SSID

[インターフェース] (①) 欄で選択した仮想APの使用について設定します。
大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力しま
す。

(初期値: WIRELESSLAN-0(ath0)
WIRELESSLAN-1(ath1)
WIRELESSLAN-2(ath2)
WIRELESSLAN-3(ath3))

※SSIDは、無線ネットワークのグループ分けをするために使用します。

SSIDの異なる無線LAN端末とは接続できません。

※無線アクセスポイントが無線伝送エリア内に複数存在しているような場
合、個々のネットワークグループをSSID(無線ネットワーク名)で識別で
きます。

※複数の仮想APを使用する場合、同じSSIDを設定できません。

※SSIDとESSIDは、同じ意味で使用しています。

本製品以外の機器では、ESSIDと表記されている場合があります。

④ VLAN ID

[インターフェース] (①) 欄で選択した仮想APが所属する無線グループのID
番号を設定します。 (初期値: 0)

設定できる範囲は、「0~4094」です。

※[VLAN ID]を付けないときは、「0」に設定します。

※異なるID番号のネットワークとは通信できません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > 仮想AP

■ 仮想AP設定(つづき)

仮想AP設定	
① インターフェース:	ath0 ▼
② 仮想AP:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
③ SSID:	WIRELESSLAN-0
④ VLAN ID:	0
⑤ ANY接続拒否:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
⑥ 接続端末制限:	63

- ⑤ ANY接続拒否 [インターフェース] (①) 欄で選択した仮想APと「ANY」モード(アクセスポイント自動検索接続機能)で通信する無線LAN端末からの検索や接続の拒否についての設定します。(初期値: 無効)
※一部の無線LAN端末と接続できないことや動作が不安定になることがありますので、特に必要がない場合は、初期値で使用されることをおすすめします。
- ⑥ 接続端末制限 [インターフェース] (①) 欄で選択した仮想APに同時接続可能な無線LAN端末の台数を設定します。(初期値: 63)
設定できる範囲は、「1~128」です。
接続できる台数を制限すると、接続が集中するのを防止(本製品の負荷を分散)できますので、接続集中による通信速度低下を防止できます。
※仮想APごとに最大128台まで設定できますが、実際に通信できるのは、全仮想APの合計(無線ユニット全体)で最大128台までになります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > 仮想AP

■ 暗号化設定

無線LANの通信データを保護するために暗号化を設定します。

※選択する設定内容(①、②)に応じて、下記以外の設定(③～⑦)を表示します。(P.5-31～P.5-33)

暗号化設定	
① ネットワーク認証:	オープンシステム/共有キー ▼
② 暗号化方式:	なし ▼

- ① ネットワーク認証 無線LAN端末からのアクセスに対する認証方式を選択します。
(初期値：オープンシステム/共有キー)
※異なる認証方式の相手とは互換性がないため、通信をする相手間で
同じ設定にしてください。

認証方式について

◎オープンシステム/共有キー

「WEP RC4」暗号化方式によるアクセスに対して、認証方式(オープンシステム/共有キー)を自動認識します。

◎オープンシステム

「WEP RC4」暗号化方式によるアクセスに対して、暗号鍵(キー)の認証をしません。

◎共有キー

「WEP RC4」暗号化方式によるアクセスに対して、本製品と同じ暗号鍵(キー)かどうかを認証します。

◎WPA-PSK(Pre-Shared Key)

共有鍵(キー)で認証します。

RADIUSサーバーを利用しない簡易的な「TKIP/AES」暗号化の認証方式で、通信相手と共通の鍵を持っているかどうかの認証をします。

◎WPA-PSK/WPA2-PSK

ネットワーク認証(WPA-PSK/WPA2-PSK)を自動認識します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > 仮想AP

■ 暗号化設定(つづき)

※選択する設定内容(①、②)に応じて、下記以外の設定(③～⑥)を表示します。(P.5-31～P.5-33)

暗号化設定	
① ネットワーク認証:	オープンシステム/共有キー ▼
② 暗号化方式:	なし ▼

- ② 暗号化方式 無線伝送データを暗号化する方式を選択します。(初期値：なし)
対応する暗号化方式は、[WEP RC4]/[TKIP]/[AES]です。
異なる暗号化方式とは互換性がないので、暗号化方式とビット数は、通信をする相手間で同じ設定にしてください。
※[IEEE802.11n]規格での通信は、暗号化方式を「なし」、または「AES」に設定している場合に有効です。

暗号化方式について

◎なし

データを暗号化しないで通信します。

※[ネットワーク認証](①)欄で、「オープンシステム/共有キー」、または「オープンシステム」を選択したとき使用できます。

※暗号化を設定されることをおすすめします。

◎WEP RC4

暗号鍵(キー)が一致した場合に、接続できる暗号化方式です。

※暗号鍵(キー)の長さは、64(40)/128(104)/152(128)ビットの中から選択できます。

※[ネットワーク認証](①)欄で、「オープンシステム/共有キー」、または「オープンシステム」、「共有キー」を選択したとき使用できます。

◎TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)

暗号鍵(キー)を一定間隔で自動更新しますので、「WEP RC4」より強力です。

※[ネットワーク認証](①)欄で、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択したとき使用できます。

◎AES(Advanced Encryption Standard)

暗号化の強化、および暗号鍵(キー)を一定間隔で自動更新しますので、「TKIP」より強力な暗号化方式です。

※[ネットワーク認証](①)欄で、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択したとき使用できます。

◎TKIP/AES

無線アクセスポイントの暗号化方式(TKIP/AES)を自動認識します。

※「AES」が認識されたときだけ、[IEEE802.11n]規格で通信できます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > 仮想AP

■ 暗号化設定(つづき)

※選択する設定内容(①、②)に応じて、下記以外の設定(⑤、⑥)を表示します。(P.5-33)

暗号化設定	
① ネットワーク認証:	オープンシステム/共有キー ▼
② 暗号化方式:	WEP RC4 128 (104) ▼
③ キージェネレーター:	<input type="text"/>
④ WEPキー:	00000000000000000000000000000000 半角英数で13文字、もしくは16進数で26桁を入力

③ キージェネレーター ……………

[暗号化方式](②)欄(P.5-30)で「WEP RC4」の暗号化方式を選択したとき、暗号化および復号に使用する16進数の暗号鍵(キー)を生成するための文字列を設定します。(初期値：空白(なし))

次の順番に操作すると、設定できます。

1. [ネットワーク認証](①)欄で、「オープンシステム/共有キー」、または「オープンシステム」、「共有キー」を選択します。
2. [暗号化方式](②)欄で、「WEP RC4 64(40)」、「WEP RC4 128(104)」、「WEP RC4 152(128)」を選択します。
 - [キージェネレーター]欄と[WEPキー](④)欄(P.5-32)が表示されます。
3. 大文字/小文字の区別に注意して、文字列を[キージェネレーター]欄に31文字以内(任意の半角英数字/記号)で入力します。
 - 入力した文字列より生成された16進数の暗号鍵(キー)が[WEPキー](④)欄に表示されます。

※暗号鍵(キー)を直接入力する場合は、キージェネレーターに文字列が残っていると、[WEPキー](④)欄に直接入力できませんので、削除してください。

※入力する文字列は、通信する相手(弊社製機器)側のキージェネレーターと同じ文字列を設定してください。

他社製の機器とは互換性がないので、ご注意ください。

※キージェネレーターから生成された暗号鍵(キー)が通信相手間で異なる場合、暗号化されたデータを復号できません。

※[WEPキー](④)欄に表示される暗号鍵(キー)の桁数、および文字数は、[暗号化方式](②)欄の設定によって異なります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > 仮想AP

■ 暗号化設定(つづき)

※選択する設定内容(①、②)に応じて、下記以外の設定(⑤、⑥)を表示します。(P.5-33)

暗号化設定	
① ネットワーク認証:	オープンシステム/共有キー ▼
② 暗号化方式:	WEP RC4 64 (40) ▼
③ キージェネレーター:	<input type="text"/>
④ WEPキー:	<input type="text" value="0000000000"/> <small>半角英数字で5文字、もしくは16進数で10桁を入力</small>

④ WEPキー

[キージェネレーター](③)欄を使用しないで、暗号鍵(キー)を直接設定するときに入力します。

※16進数で設定するときは、「0～9」、および「a～f(またはA～F)」の半角文字を入力してください。

※ASCII文字で設定するときは、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字を入力してください。

※入力する暗号鍵(キー)の桁数は、[暗号化方式](②)欄を設定したとき表示される桁数(10桁の表示例: 0000000000)と同じに設定してください。ASCII文字で入力する場合は、16進数の半分(例: 5文字)で入力してください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > 仮想AP

■ 暗号化設定(つづき)

※選択する設定内容(①、②)に応じて、下記以外の設定(③、④)を表示します。(P.5-31～P.5-32)

暗号化設定

① ネットワーク認証:	WPA2-PSK
② 暗号化方式:	AES
⑤ PSK (Pre-Shared Key):	00000000
⑥ WPAキー更新間隔:	120 分

⑦ 登録 ⑧ 取消

- ⑤ PSK (Pre-Shared Key) …………… 共通鍵(キー)を半角英数字で入力します。
※[ネットワーク認証](①)欄で、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/WPA2-PSK」を選択したとき、設定できます。
※同じ暗号化方式を使用する無線LAN端末と、同じ共有鍵(キー)を設定してください。
※16進数で設定するときは、64桁を入力してください。
※ASCII文字で設定するときは、大文字/小文字の区別に注意して、8～63文字を入力してください。
- ⑥ WPAキー更新間隔 …………… [ネットワーク認証](①)欄で、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/WPA2-PSK」を選択したとき、暗号鍵(キー)の更新間隔を分で設定します。
設定できる範囲は、「0～1440」(分)です。 (初期値：120)
※「0」を設定すると、更新しません。
- ⑦ <登録> …………… 「仮想AP」画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑧ <取消> …………… 「仮想AP」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > MACアドレスフィルタリング

■ MACアドレスフィルタリング設定

仮想APに接続できる無線LAN端末を制限する設定です。

※仮想APごとに、最大36台分のMACアドレスを登録できます。

MACアドレスフィルタリング設定

① インターフェース: ath0 ▼

② MACアドレスフィルタリング: 無効 有効

③ フィルタリングポリシー: 許可リスト 拒否リスト

④ 登録 ⑤ 取消

- ① **インターフェース** …………… 設定する仮想APを選択します。 (初期値: ath0)
仮想APごとに、本製品への接続を許可する、または拒否する無線LAN端末を登録できます。
※ご使用のWWWブラウザでJavaScript®が「無効」に設定されていると、仮想APを選択したとき[MACアドレスフィルタリング設定]項目と[MACアドレスフィルタリング設定一覧]項目に登録された内容が更新されません。
更新されないときは、ご使用のWWWブラウザでJavaScript®の設定が「有効」に設定されていることを確認してください。
- ② **MACアドレスフィルタリング** …… [インターフェース]①欄で選択した仮想APについて、MACアドレスフィルタリング機能の使用を設定します。 (初期値: 無効)
※「有効」に設定すると、[フィルタリングポリシー]③欄の設定、および[MACアドレスフィルタリング設定一覧]項目に登録された内容が有効になります。
※使用するときには、「仮想AP」画面で該当する仮想APを選択し、[仮想AP]欄を「有効」に設定しておきます。
- ③ **フィルタリングポリシー** ……… [MACアドレスフィルタリング設定一覧]項目に登録された無線LAN端末との無線通信を許可するか拒否するかを設定します。 (初期値: 許可リスト)
- 許可リスト** : MACアドレスが登録された無線LAN端末だけが、本製品と無線通信できます。
※通信を拒否する対象は、MACアドレスを登録していないすべての無線LAN端末です。
- 拒否リスト** : MACアドレスが登録された無線LAN端末だけが、本製品と無線通信できません。
※通信を許可する対象は、MACアドレスを登録していないすべての無線LAN端末です。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー

無線設定 > MACアドレスフィルタリング

■ MACアドレスフィルタリング設定(つづき)

MACアドレスフィルタリング設定

① インターフェース: ath0 ▼

② MACアドレスフィルタリング: 無効 有効

③ フィルタリングポリシー: 許可リスト 拒否リスト

④ 登録 ⑤ 取消

- ④ <登録> 「MACアドレスフィルタリング設定」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ <取消> 「MACアドレスフィルタリング設定」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > MACアドレスフィルタリング

■ 端末MACアドレスリスト

各仮想APについて、MACアドレスフィルタリングの対象となる無線LAN端末のMACアドレスを登録します。

端末MACアドレスリスト	
MACアドレス:	<input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>

MACアドレス

MACアドレスフィルタリングの対象となる無線LAN端末のMACアドレスを入力します。

入力後は、〈追加〉をクリックすると、[MACアドレスフィルタリング設定一覧]項目に表示します。

※対象となる無線LAN端末のMACアドレスが[MACアドレスフィルタリング設定一覧]項目から登録できないときに使用します。

※1つの仮想APにつき、最大36台分のMACアドレスを登録できます。

※入力は半角英数字で12桁(16進数)を入力します。

※2つの入力例は、同じMACアドレスになります。

(入力例：00-90-c7-00-00-10、0090c7000010)

※[MACアドレスフィルタリング設定]項目の[インターフェース]欄で選択した仮想APについて、MACアドレスフィルタリングが有効なとき、[MACアドレスフィルタリング設定一覧]項目に登録された無線LAN端末との通信を[フィルタリングポリシー]欄の設定にしたがって制御します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > MACアドレスフィルタリング

■ MACアドレスフィルタリング設定一覧

各仮想APについて、MACアドレスフィルタリングの対象となる無線LAN端末の登録と通信状態を表示する画面です。

[フィルタリングポリシー]を「許可リスト」で使用した場合

1 登録済みの端末	2 受信中の端末	3 通信状況	4
		通信不許可	追加
		通信中	削除
00-90-07-00-00-10		登録済	削除

[フィルタリングポリシー]を「拒否リスト」で使用した場合

1 登録済みの端末	2 受信中の端末	3 通信状況	4
		通信中	追加
		通信不許可	削除
00-90-07-00-00-10		登録済	削除

- 1 登録済み端末 登録されている無線LAN端末のMACアドレスを表示します。
- 2 受信中の端末 本製品の無線伝送領域内で通信している無線LAN端末のMACアドレスを表示します。
- 3 通信状況 本製品との無線通信状況を表示します。
通信中 : 本製品と無線通信中のとき、〈通信中〉とボタンで表示します。
※〈通信中〉をクリックすると、無線通信状態(別画面)を表示します。
通信不許可 : 本製品により無線通信が拒否されているときの表示です。
登録済 : MACアドレスが登録済みで、無線通信をしていないときの表示です。
- 4 〈追加〉／〈削除〉 表示されている無線LAN端末のMACアドレスをリストに追加、またはリストから削除するボタンです。

5 各種機能の設定(WEB画面)

6.「無線LAN設定」メニュー(つづき)

無線設定 > MACアドレスフィルタリング

■無線通信状態

無線LAN端末との通信状況をモニターします。

※[MACアドレスフィルタリング設定一覧]項目に<通信中>が表示されている場合に確認できる画面です。

無線通信状態	
① 通信状況:	通信中
② MACアドレス:	XXXXXXXXXX
③ SSID:	WIRELESSLAN-0
④ 暗号化:	なし
⑤ チャンネル:	1 CH (2412 MHz)
⑥ 信号レベル:	 20
⑦ 速度:	送信 - / 受信 13 Mbps

① 通信状況 「未接続」、「通信中」、「認証中」、「認証失敗」など、接続状況を表示します。
※「通信不可」を表示する場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

② MACアドレス 無線LAN端末のMACアドレスを表示します。

③ SSID 無線LAN端末のSSIDを表示します。

④ 暗号化 無線LAN端末との通信に使用している認証モード、暗号化方式を表示します。

⑤ チャンネル 無線LAN端末との通信に使用しているチャンネルを表示します。

⑥ 信号レベル 無線LAN端末から受信した電波信号の強さを、メーターと数値で表示します。

表示	[赤]	[黄]	[緑]	[青]
レベル	0~4	5~14	15~29	30以上

安定した通信の目安は、「緑(15)」以上のレベルです。(単位はありません)
ただし、信号レベルが高くても、同じ周波数帯域を使用する無線LAN端末が近くで稼働している場合や無線アクセスポイントの稼働状況などにより、通信が安定しないことがあります。
したがって、あくまでも通信の目安としてご利用ください。

⑦ 速度 本製品の通信速度を理論値(Mbps)で表示します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定

IP500Mの設定内容を編集するときに使用します。

無線機基本設定

表示部(共通)
① 表示項目: 時計 名前

表示部(本体)
② バックライト: 常時点灯
③ コントラスト: 8

表示部(テンキーマイク)
② バックライト: 常時点灯
③ コントラスト: 8

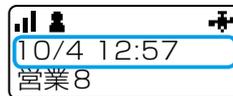
送信動作
④ 送信禁止: 無効 有効

呼出先指定
⑤ 待受画面での呼出: 無効 有効※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
⑥ アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体
⑦ 呼出種別: 全体
⑧ 起動時のトークグループ指定: 無効 有効 アドレス帳番号: 8(TG-01)

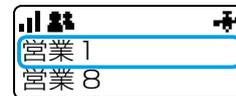
受信通知

※画面の値は、設定例です。

- ① 表示項目 IP500Mの待受画面に時計を表示するか、自局に登録された名前を表示するかを選択します。(初期値：時計)



時計選択時



名前選択時

※無線機本体に表示できる文字数は、入力した文字の幅によって異なります。(全角8文字程度)

テンキー付きマイクロホン★に表示できるのは、最大で半角18文字(全角9文字)です。

- ② バックライト IP500M本体、テンキー付きマイクロホン★のバックライト機能を設定します。(初期値：常時点灯(本体)

: 操作時点灯(テンキーマイク))

◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。

◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。

◎操作時点灯: 新規着信時、または[PTT](送信)スイッチ以外を操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづく、自動的に消灯します。(音量操作時を除く)

- ③ コントラスト IP500M本体、テンキー付きマイクロホン★の画面表示について、濃度を設定します。(初期値：8(本体)

: 8(テンキーマイク))

設定できる範囲は、1(薄い)～16(濃い)です。

★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

表示部(共通)
① 表示項目: 時計 名前

表示部(本体)
② バックライト: 常時点灯 ▼
③ コントラスト: 8 ▼

表示部(テンキーマイク)
② バックライト: 常時点灯 ▼
③ コントラスト: 8 ▼

送信動作
④ 送信禁止: 無効 有効

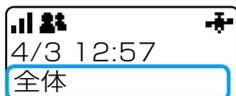
呼出先指定
⑤ 待受画面での呼出: 無効 有効※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
⑥ アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体 ▼
⑦ 呼出種別: 全体 ▼
⑧ 起動時のトークグループ指定: 無効 有効 アドレス帳番号: 8(TG-01) ▼

受信通知

※画面の値は、設定例です。

- ④ **送信禁止** 送信を禁止して、受信専用としてIP500Mを使用するときを設定します。(初期値: 無効)
- ⑤ **待受画面での呼出** IP500Mが待受画面のときに、呼び出す相手局(呼出種別)を表示するかしないかを設定します。(初期値: 有効)
◎**有効** : 待受画面に、相手局(呼出種別)を表示します。
※「無線機設定」メニュー→「無線機詳細」画面にある相手局の表示切替は、「無効」になります。
◎**無効** : 待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
※キー操作による相手局(呼出種別)選択時は表示されます。
- ⑥ **アドレス帳からの呼出** IP500Mでアドレス帳を使用するかどうか設定します。(初期値: 無効)
◎**有効**: IP500Mの[アドレス帳]キーを押すごとに、呼出種別が切り替わります。

アドレス帳からの呼出:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効	アドレス帳先頭番号: 全体 ▼
全体呼出の表示:	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効	



相手局(呼出種別)表示

[アドレス帳先頭番号]欄で、はじめに表示する相手局(呼出種別)を「全体」、または「アドレス帳」の番号(1~500)で指定します。
※[待受画面での呼出](⑤)欄が「有効」の場合は、待受画面に相手局として表示されます。
※[アドレス帳]画面で登録されたアドレス帳を使用します。
※[全体呼出の表示]欄で「無効」を設定するとアドレス帳から全体呼び出しが選択できなくなります。
◎**無効**: [アドレス帳]キーを押しても、呼出種別は[呼出種別](⑦)欄で設定された内容のままです。
※「無効」の場合でも、着信時にアドレス帳に登録されている名前がIP500Mの画面に表示されます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■ 無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

表示部(共通)
① 表示項目: 時計 名前

表示部(本体)
② バックライト: 常時点灯 ▼
③ コントラスト: 8 ▼

表示部(テンキーマイク)
② バックライト: 常時点灯 ▼
③ コントラスト: 8 ▼

送信動作
④ 送信禁止: 無効 有効

呼出先指定
⑤ 待受画面での呼出: 無効 有効※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
⑥ アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体 ▼
⑦ 呼出種別: 全体 ▼
⑧ 起動時のトークグループ指定: 無効 有効 アドレス帳番号: 8(TG-01) ▼

受信通知

※画面の値は、設定例です。

- ⑦ 呼出種別 [アドレス帳からの呼出] (⑥) 欄を「無効」にした場合、IP500Mから呼び出す特定の相手局(呼出種別)を指定します。(初期値: 全体)
※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号を5桁の数字で入力します。
※[アドレス帳からの呼出] (⑥) 欄を「有効」にした場合は、[全体呼出の表示]欄に切り替わります。([アドレス帳からの呼出] (⑥) 欄を参照)
- ⑧ 起動時のトークグループ指定 ... 指定したトークグループを選択した状態で起動します。(初期値: 無効)
◎有効: 「アドレス帳番号」で指定したトークグループを選択した状態で起動します。
◎無効: トークグループを指定しないで起動します。
※[アドレス帳からの呼出] (⑥) 欄を「無効」にした場合は、この欄の設定は反映されません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

9 通知音量: 10 ▼

通知音(受信通知を除く)

10 通知音量: 10 ▼

機能設定

11 通信方式: 単信通信 複信通信

12 優先呼出: 無効 有効

13 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▼

14 プレゼンス: 無効 有効

キー割当

15 オプションキー(P1): 無効 ▼

オプションキー(P2): 無効 ▼

オプションキー(P3): 無効 ▼

オプションキー(緊急): 無効 ▼

16 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

- 9 通知音量** 着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「32」です。 (初期値：10)
※「0」を設定した場合は、IP500M側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「無線機詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した内容で、着信時やメッセージ受信時に通知音が鳴ります。
- 10 通知音量 (受信通知を除く)** 送信時や接続時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「32」です。 (初期値：10)
※「0」を設定した場合は、IP500M側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「無線機詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時に通知音が鳴ります。
- 11 通信方式** IP500Mで使用する通信方式を設定します。 (初期値：複信通信)
- ◎**単信通信**
送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。
 - ◎**複信通信**
複信は同時に通話できる方式です。



5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■ 無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

9 通知音量:

通知音(受信通知を除く)

10 通知音量:

機能設定

11 通信方式: 単信通信 複信通信

12 優先呼出: 無効 有効

13 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号:

14 プレゼンス: 無効 有効

キー割当

15 オプションキー(P1):

オプションキー(P2):

オプションキー(P3):

オプションキー(緊急):

16 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

- 12 優先呼出 IP500Mに優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。
(初期値：無効)

呼出種別ごとの優先度は、下記のようになります。

優先度	優先順位*	呼出種別	優先呼出
高 ↓ 低	固定	電話通信	—
	固定	緊急呼び出し(優先)	有効
	固定	緊急呼び出し	無効
	可変	全体呼出(優先)	有効
	可変	個別呼出(優先)	有効
	可変	グループ呼出(優先)	有効
	可変	全体呼出	無効
	可変	個別呼出	無効
	可変	グループ呼出	無効

★「可変」は、お買い上げの販売店での設定によって異なります。

※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番となります。

※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

9 通知音量:

通知音(受信通知を除く)

10 通知音量:

機能設定

11 通信方式: 単信通信 複信通信

12 優先呼出: 無効 有効

13 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号:

14 プレゼンス: 無効 有効

キー割当

15 オプションキー(P1):

オプションキー(P2):

オプションキー(P3):

オプションキー(緊急):

16 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

- 13 メッセージ** IP500Mでメッセージを送信するときに設定します。(初期値：無効)
 「有効」を設定すると、[FUNC]キーを押してメッセージを選択できます。
 ※IP500Mから送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「無線機設定」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。
 ※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。
 ※環境依存文字を入力しないでください。
 環境依存文字を使用すると、正常に表示されません。
 ※はじめに表示するメッセージを、[メッセージ先頭番号]欄で指定します。

メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号:



5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

9 通知音量: 10 ▼

通知音(受信通知を除く)

10 通知音量: 10 ▼

機能設定

11 通信方式: 単信通信 複信通信

12 優先呼出: 無効 有効

13 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▼

14 プレゼンス: 無効 有効

キー割当

15 オプションキー(P1): 無効 ▼

オプションキー(P2): 無効 ▼

オプションキー(P3): 無効 ▼

オプションキー(緊急): 無効 ▼

16 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

- 14 プレゼンス IP500Mからステータス情報(例：会議中)を送信するときに設定します。
(初期値：無効)
- ※IP500Mから送信する半角32(全角16)文字以内のステータス情報は、「無線機設定」メニューの「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。
- ※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。
- ※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、正常に表示されません。
- ※「無効」を設定しているときは、[FUNC]キーを押してもプレゼンスを選択できません。
- ※IP500Mから送信されたステータス情報は、PM-IP500(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)で確認できます。
ステータス情報を表示できるのは、お買い上げ時に、IP500MのGPS機能が有効に設定され、IP500G、またはIP500M側で情報を取得できる場合だけです。



ステータス情報の選択
(送信側)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

⑨ 通知音量:

通知音(受信通知を除く)

⑩ 通知音量:

機能設定

⑪ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑫ 優先呼出: 無効 有効

⑬ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号:

⑭ プレゼンス: 無効 有効

キー割当

⑮ オプションキー(P1):

オプションキー(P2):

オプションキー(P3):

オプションキー(緊急):

⑯ 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

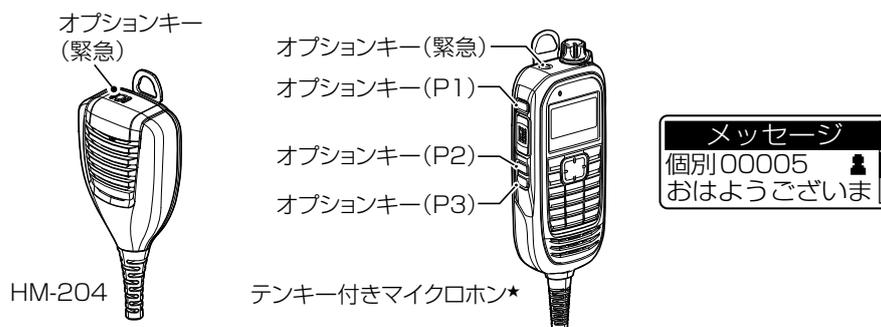
- ⑮ **オプションキー** マイクロホンの[オプション]キーに、よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択する、または電話を切るなどの機能を割り当てるときに設定します。
- ※「無効」を設定しているときは、待受画面で[オプション]キーを押しても何も動作しません。 (初期値：無効)

◎メッセージ

[オプション]キーを押すだけで、よく使うメッセージを選択したいときに設定します。

[メッセージ番号]欄には、「メッセージ」画面で登録した内容を指定します。

オプションキー(P1):	<input type="text" value="メッセージ"/>
メッセージ番号:	<input type="text" value="1(おはようございます)"/>



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

9 通知音量: 10 ▾

通知音(受信通知を除く)

10 通知音量: 10 ▾

機能設定

11 通信方式: 単信通信 複信通信

12 優先呼出: 無効 有効

13 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▾

14 プレゼンス: 無効 有効

キー割当

15 オプションキー(P1): 無効 ▾

オプションキー(P2): 無効 ▾

オプションキー(P3): 無効 ▾

オプションキー(緊急): 無効 ▾

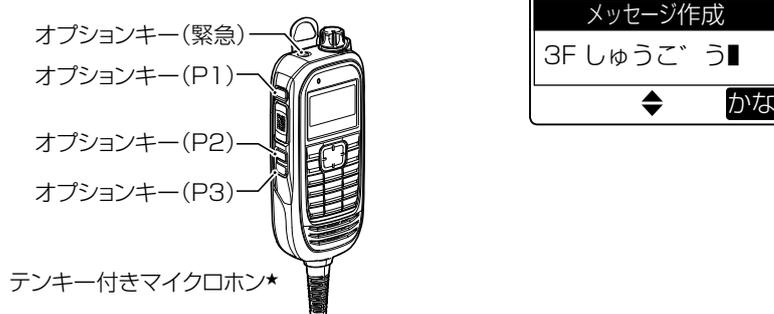
16 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

15 オプションキー(つづき) …… ●メッセージ作成

テンキーから文字を入力して、メッセージを送りたいときに設定します。
※上下キーを押すことで、定型文を選択することもできます。(P.5-72)
※任意の文字を50文字以内で入力します。



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

⑨ 通知音量:

通知音(受信通知を除く)

⑩ 通知音量:

機能設定

⑪ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑫ 優先呼出: 無効 有効

⑬ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号:

⑭ プレゼンス: 無効 有効

キー割当

⑮ オプションキー(P1):

オプションキー(P2):

オプションキー(P3):

オプションキー(緊急):

⑯ 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

⑮ オプションキー(つづき) …… ◎ワンタッチ

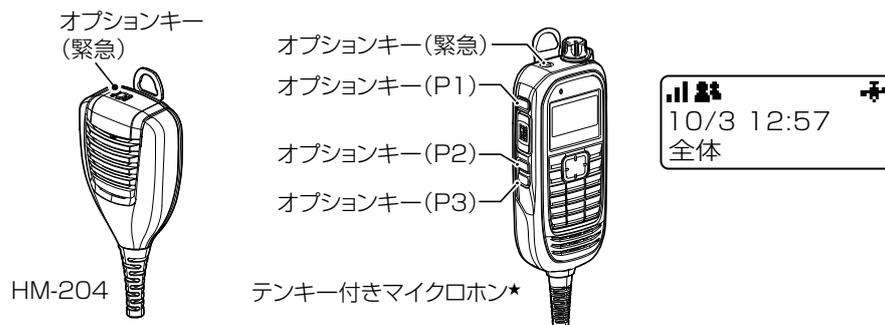
[オプション]キーを押すだけで、特定の呼出種別、または相手を選択したいときに設定します。

呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」、「電話」から指定します。

※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号を5桁の数字で入力します。

※「電話」を選択したときは、[呼出先番号]欄に相手先の電話番号を31桁以内の数字/記号(#、*)で入力します。

オプションキー(P2):	<input type="text" value="ワンタッチ"/>
呼出種別:	<input type="text" value="全体"/>



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

⑨ 通知音量: 10 ▼

通知音(受信通知を除く)

⑩ 通知音量: 10 ▼

機能設定

⑪ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑫ 優先呼出: 無効 有効

⑬ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▼

⑭ プレゼンス: 無効 有効

キー割当

⑮ オプションキー(P1): 無効 ▼

オプションキー(P2): 無効 ▼

オプションキー(P3): 無効 ▼

オプションキー(緊急): 無効 ▼

⑯ 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

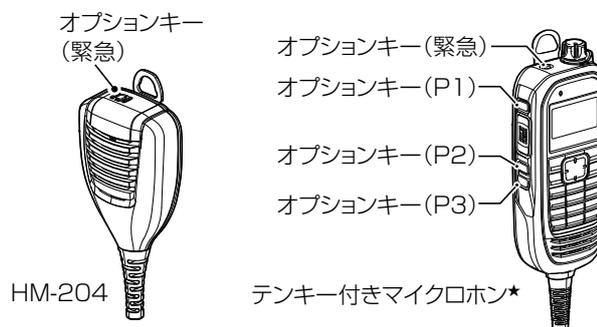
⑮ オプションキー(つづき) ………

◎電話切断

[オプション]キーを押して、IP500Mから電話を切りたいときに設定します。相手が応答する前、または通話中に[オプション]キーを押すと、IP500Mから電話を切れます。

※[通話中の電話切断](⑯)欄を「有効」にして、[オプション]キーに、ほかの機能を割り当てることもできます。

※IP500Mから電話を切れるのは、電話機からIP500Mを個別に呼び出したとき、またはIP500Mから電話機を呼び出したときだけです。



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

9 通知音量: 10 ▼

通知音(受信通知を除く)

10 通知音量: 10 ▼

機能設定

11 通信方式: 単信通信 複信通信

12 優先呼出: 無効 有効

13 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▼

14 プレゼンス: 無効 有効

キー割当

15 オプションキー(P1): 無効 ▼

オプションキー(P2): 無効 ▼

オプションキー(P3): 無効 ▼

オプションキー(緊急): 無効 ▼

16 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

15 オプションキー(つづき) ………

◎受信音声ミュート

受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいときに設定します。

※[オプション]キーを長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。

※[PTT](送信)スイッチを押しても、ミュート機能を解除できます。

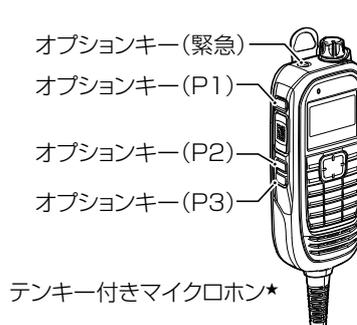
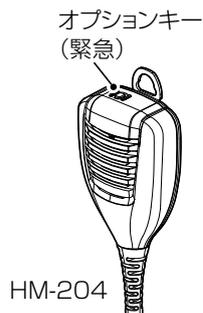
ただし、[通話中の電話切断](16)欄を「有効」にしている場合、電話通話中は切断動作になります。

※[受信音声ミュート自動解除]欄を「有効」にした場合は、設定時間が経過すると、自動的にミュート機能が解除されます。(初期値: 無効)

「有効」にして使用するときは、ミュート機能が解除されるまでの時間を「10~600」(秒)の範囲で設定します。(初期値: 60)

オプションキー(緊急): 受信音声ミュート ▼

受信音声ミュート自動解除: 無効 有効 時間: 60 秒



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

⑨ 通知音量: 10 ▼

通知音(受信通知を除く)

⑩ 通知音量: 10 ▼

機能設定

⑪ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑫ 優先呼出: 無効 有効

⑬ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▼

⑭ プレゼンス: 無効 有効

キー割当

⑮ オプションキー(P1): 無効 ▼

オプションキー(P2): 無効 ▼

オプションキー(P3): 無効 ▼

オプションキー(緊急): 無効 ▼

⑯ 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

⑮ オプションキー(つづき) ………

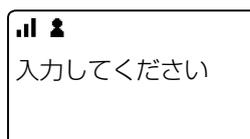
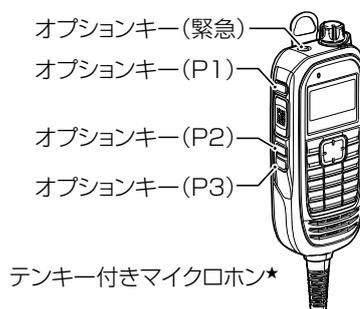
◎テンキー呼出

テンキーを操作して、相手の呼出先番号を入力するときに設定します。

※[オプション]キー押すごとに、個別⇒電話⇒グループと呼出種別が切り替わります。

※[テンキー呼出] (⑰)欄が「無効」のときは、この欄を設定しても動作しません。

※[テンキー呼出] (⑰)欄で開始呼出種別を変更できます。



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

受信通知

9 通知音量: 10 ▾

通知音(受信通知を除く)

10 通知音量: 10 ▾

機能設定

11 通信方式: 単信通信 複信通信

12 優先呼出: 無効 有効

13 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▾

14 プレゼンス: 無効 有効

キー割当

15 オプションキー(P1): 無効 ▾

オプションキー(P2): 無効 ▾

オプションキー(P3): 無効 ▾

オプションキー(緊急): 無効 ▾

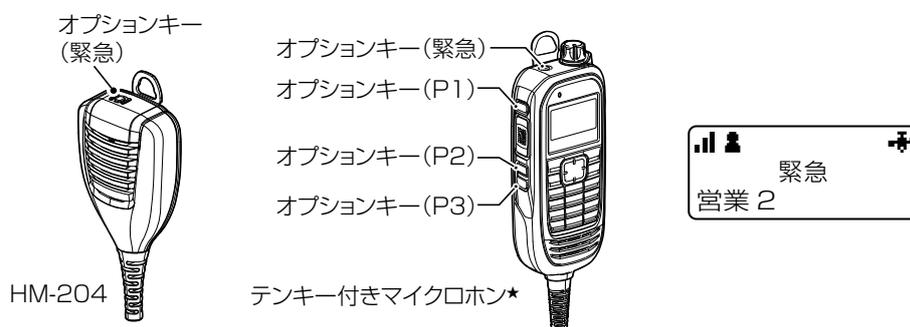
16 通話中の電話切断: 無効 有効

テンキー設定

※画面の値は、設定例です。

15 オプションキー(つづき) …………… ◎エマージェンシー

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに設定します。
※「緊急」と表示されるまで、[オプション]キーを長く押しと、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。
相手から応答があったとき、または[オプション]キーを長く押したときに、緊急呼び出しが解除されます。



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定	
受信通知	
⑨ 通知音量:	10 ▼
通知音(受信通知を除く)	
⑩ 通知音量:	10 ▼
機能設定	
⑪ 通信方式:	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
⑫ 優先呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
⑬ メッセージ:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 メッセージ先頭番号: 1(おはようございます) ▼
⑭ プレゼンス:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
キー割当	
⑮ オプションキー(P1):	無効 ▼
オプションキー(P2):	無効 ▼
オプションキー(P3):	無効 ▼
オプションキー(緊急):	無効 ▼
⑯ 通話中の電話切断:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
テンキー設定	

※画面の値は、設定例です。

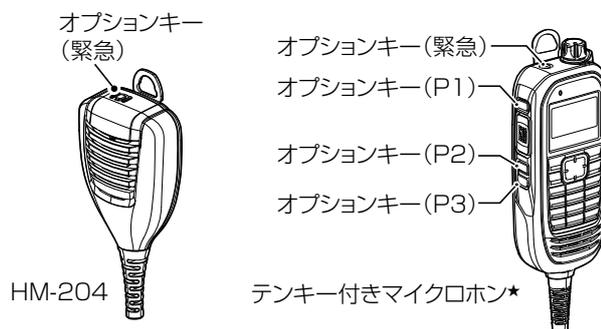
⑯ 通話中の電話切断 …………… [オプション]キーを押して、IP500Mから電話を切りたいときに設定します。

(初期値：有効)

相手が応答する前、または通話中に[オプション]キーを押すと、IP500Mから電話を切れます。

※[オプションキー](⑭)欄を「電話切断」にした場合は、表示されない項目です。

※IP500Mから電話を切れるのは、電話機からIP500Mを個別に呼び出したとき、またはIP500Mから電話機を呼び出したときだけです。



★お使いになる製品によっては、テンキー付きマイクロホン(HM-230)が付属しています。(※別売品としてもご用意しています。)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

テンキー設定

17 テンキー呼出: 無効 有効 開始呼出種別: 個別

18 テンキー発信規制: 無効 有効

19 オプション機能: 無効

20 アドレス帳検索: 無効 有効

接続確認

21 接続確認: 無効 有効

キー操作音

22 キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

23 マイクゲイン: 0 dB

24 ノイズキャンセラー: 無効 有効

25 エコーキャンセラー: 無効 有効

※画面の値は、設定例です。

17 **テンキー呼出** テンキーを操作して、相手の呼出先番号を入力するときに設定します。
(初期値：有効)

※アドレス帳に登録していない相手も呼び出せます。

18 **テンキー発信規制** アドレス帳に登録が無い相手局への発信を規制します。(初期値：無効)
※[テンキー呼出](17)欄が無効の場合は、表示されません。

19 **オプション機能** テンキーを長く(約1秒)押したときの動作を設定します。(初期値：無効)
※[テンキー呼出](17)欄が無効の場合は、表示されません。

◎無効

テンキーを長く押しても動作しません。

◎ワンタッチ

呼び出したい番号を各キーに指定します。

テンキー:	ワンタッチ		
テンキー(1):	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	呼出種別: 個別	呼出先番号: 00001
テンキー(2):	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	呼出種別: 個別	呼出先番号: 00002
テンキー(3):	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	呼出種別: 個別	呼出先番号: 00003
テンキー(*):	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	呼出種別: 個別	呼出先番号: 00001
テンキー(#):	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	呼出種別: 個別	呼出先番号: 00001

◎電話帳選択

「アドレス帳」の番号(1～500)を呼び出します。(P.5-68、P.5-69)

※番号が2桁以上の場合、一の位を長く押しください。

(例：15)

「1」を短く押す⇒「5」を長く押す

20 **アドレス帳検索** アドレス帳に登録されている相手を検索したいときに設定します。
(初期値：無効)

※[アドレス帳]キーを押して、アドレス帳の検索画面が表示されたとき、テンキーを操作します。

※[アドレス帳設定]項目の[ヨミガナ]欄に登録した文字を検索します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

テンキー設定

17 テンキー呼出: 無効 有効 開始呼出種別: 個別

18 テンキー発信規制: 無効 有効

19 オプション機能: 無効

20 アドレス帳検索: 無効 有効

接続確認

21 接続確認: 無効 有効

キー操作音

22 キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

23 マイクゲイン: 0 dB

24 ノイズキャンセラー: 無効 有効

25 エコーキャンセラー: 無効 有効

※画面の値は、設定例です。

- 21 接続確認 IP500Mから個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。 (初期値：有効)
「有効」に設定すると、個別呼び出しをしたIP500Mの表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。



※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。
※「無線機詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

- 22 キー操作音 IP500Mのキーを押したり、ツマミを回したりしたときの確認音を設定します。 (初期値：有効)
◎無効：確認音が鳴りません。
◎有効：確認音が鳴ります。
「有効」にして使用するときは、確認音の音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。 (初期値：10)
※「0」を設定した場合は、IP500M側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

- 23 マイクゲイン マイク感度を設定します。 (初期値：0)
設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音が少ない場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■ 無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

テンキー設定

17 テンキー呼出: 無効 有効 開始呼出種別: 個別 ▼

18 テンキー発信規制: 無効 有効

19 オプション機能: 無効 ▼

20 アドレス帳検索: 無効 有効

接続確認

21 接続確認: 無効 有効

キー操作音

22 キー操作音: 無効 有効 音量: 10 ▼

マイク

23 マイクゲイン: 0 ▼ dB

24 ノイズキャンセラー: 無効 有効

25 エコーキャンセラー: 無効 有効

※画面の値は、設定例です。

- 24 **ノイズキャンセラー** ノイズキャンセラー機能を設定します。 (初期値：有効)
◎無効：ノイズキャンセラー機能が動作しません。
◎有効：ノイズキャンセラー機能が動作して、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
- 25 **エコーキャンセラー** エコーキャンセラー機能を設定します。 (初期値：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

エマージェンシー設定

26 エマージェンシー: 無効 有効

27 履歴ボタンの割当: 無効 有効

28 動作判定時間: 秒

29 解除判定時間: 無効 有効 秒

30 警告音: 無効 有効 音量: ▼

31 呼出種別: ▼

32 応答後の解除: 無効 有効

33 自動解除: 無効 有効 時間: 秒

※画面の値は、設定例です。

- 26 エマージェンシー** …………… 迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに使用する機能です。
(初期値：無効)
※「緊急」と表示されるまで、[オプション]キーを長く(5秒以上★)押しと、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。
相手から応答があったとき、または[オプション]キーを長く(5秒以上★)押ししたときに、緊急呼び出しが解除されます。
★緊急呼び出しの動作までの時間は[動作判定時間](28)欄、解除までの時間は[解除時間判定](29)欄で変更できます。
- 27 履歴ボタンの割当** …………… [履歴]キーを長く押しして、緊急呼び出しをするときに設定します。
(初期値：無効)
- 28 動作判定時間** …………… [オプション]キー、または[履歴]キーを長く押しして、緊急呼び出しが動作するまでの時間を設定します。
(初期値：5)
- 29 解除判定時間** …………… [オプション]キー、または[履歴]キーを長く押しして、緊急呼び出しを解除するまでの時間を設定します。
(初期値：無効)
- 30 警告音** …………… 「有効」に設定すると、緊急呼び出し状態で警告音(ピロピロ…)が鳴動します。
音量を、「0～32」の範囲で設定します。
(初期値：有効)
※「無効」に設定するとサイレントモードになり、画面の「緊急」を非表示のまま緊急呼び出しが動作します。(P.3-12)

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

エマージェンシー設定

26 エマージェンシー: 無効 有効

27 履歴ボタンの割当: 無効 有効

28 動作判定時間: 5 秒

29 解除判定時間: 無効 有効 5 秒

30 警告音: 無効 有効 音量: 32

31 呼出種別: 全体

32 応答後の解除: 無効 有効

33 自動解除: 無効 有効 時間: 60 秒

※画面の値は、設定例です。

- 31 呼出種別 緊急呼び出しを通知する相手を選択します。 (初期値：全体)
- 32 応答後の解除 緊急呼び出しを受信した相手が応答した場合、緊急呼び出しを解除するかを設定します。 (初期値：有効)
- 33 自動解除 緊急呼び出しが動作してから一定時間経過すると、緊急呼び出しが解除されます。 (初期値：無効)
[1～255]秒の範囲で設定します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

エマージェンシー着信設定

34 警告音: 無効 有効 音量: 32

Lone Worker設定

35 Lone Worker: 無効 有効

36 Lone Worker監視タイマー: 60 分

37 Lone Worker警告タイマー: 60 秒

38 PTT遅延タイマー: 無効 有効 1 x100ミリ秒

※画面の値は、設定例です。

- 34 警告音** 緊急呼び出しを受信すると、警告音(ピロピロ…)が鳴動します。
音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。(初期値：有効)
- 35 Lone Worker** 一定時間、無線機の操作がない場合、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。(初期値：無効)
※警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。
- 36 Lone Worker監視タイマー** 一定時間、無線機の操作がないと認識するまでの時間を設定します。(初期値：60)
※設定できる範囲は、「1～255」分です。
※無線機の操作がないと認識されると、ピープ音(ピッ)が1回鳴って、[Lone Worker警告タイマー](37)が動作します。
※無線機を操作すると、Lone Worker監視タイマーがリセットされます。
- 37 Lone Worker警告タイマー** [Lone Worker監視タイマー](36)欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。(初期値：60)
Lone Worker警告タイマーで設定した時間が経過しても無線機の操作がないときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
※設定できる範囲は、「1～255」秒です。
※緊急呼び出し機能が動作するまでに、無線機を操作すると、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。
- 38 PTT遅延タイマー** Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーが動作中に、[PTT](送信)スイッチを押しつづけたとき、送信されるまでの時間を設定します。(初期値：10)
※時間を長く設定することで、[PTT](送信)スイッチを押しても、送信されることなく、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットできます。
※設定できる範囲は、「1～255」x100ミリ秒です。
※[PTT](送信)スイッチを設定した時間以上押しつづけると、送信状態になります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

V/RoIP設定
39 ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

セキュリティ設定
40 アクセスパスワード:

SETモード
41 RESET: 基本モード 詳細モード

アクセス制限設定
42 クローンTCP/IP接続: 無効 有効

43 登録 44 取消

※画面の値は、設定例です。

- 39 ジッターバッファ種別 …………… IP500Mが音声を受信したときに、パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。(初期値：ダイナミック)

◎スタティック

音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。

設定できる範囲は、「40」(ミリ秒)～「480」(ミリ秒)です。

設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声途切れやすくなります。

ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック
ジッターバッファサイズ: 40 ▼ ミリ秒

◎ダイナミック

音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。

- 40 アクセスパスワード …………… CS-IP500M*から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。

★CS-IP500Mは、IP500Mをパソコンから設定できるソフトウェアです。弊社ホームページからダウンロードできます。

- 41 RESET …………… 初期値に戻す[リセット]項目を、IP500MのSETモード(詳細)に表示させるかどうかを選択します。

非表示に設定するときは、チェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]をはずします。(初期値：□ 基本モード 詳細モード)

※非表示固定のため、基本モードは選択できません。

※SETモードについて詳しくは、4章をご覧ください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機基本

■ 無線機基本設定(つづき)

無線機基本設定

V/RoIP設定
39 ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

セキュリティ設定
40 アクセスパスワード:

SETモード
41 RESET: 基本モード 詳細モード

アクセス制限設定
42 クローンTCP/IP接続: 無効 有効

43 44

※画面の値は、設定例です。

- 42 **クローンTCP/IP接続** …………… CS-IP500M★を利用して、IP500MをTCP/IP接続でクローニングしたいときに設定します。
(初期値：無効)
★CS-IP500Mは、IP500Mをパソコンから設定できるソフトウェアです。
弊社ホームページからダウンロードできます。
- 43 **〈登録〉** …………… 「無線機基本」画面で設定した内容を登録するボタンです。
- 44 **〈取消〉** …………… 「無線機基本」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー(つづき) お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機詳細

■無線機詳細設定

呼出種別ごとの通知音や終話判定を設定します。

※画面の値は、設定例です。

- ① **送信開始通知音** 呼出種別ごとに、送信開始時の通知音を「無効」、「通知音1」～「通知音8」から設定します。
(初期値：通知音1)
- ② **接続通知** 個別呼び出しに成功したことをお知らせする通知音(ピピッ)を設定します。
(初期値：有効)
※「無線機設定」メニューの「無線機基本」画面の[接続確認]項目が「無効」の場合は動作しません。
※「無効」にしている場合でも、IP500Mの画面で結果を確認できます。
- ③ **失敗通知** 個別呼び出しに失敗したことをお知らせする通知音(ブーッ)を設定します。
(初期値：有効)
※「無線機設定」メニューの「無線機基本」画面の[接続確認]項目が「無効」の場合は動作しません。
※「無効」にしている場合でも、IP500Mの画面で結果を確認できます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機詳細

■無線機詳細設定(つづき)

無線機詳細設定

送信開始通知音

個別呼出: [通知音1] ▼

グループ呼出: [通知音1] ▼

全体呼出: [通知音1] ▼

電話通信: [通知音1] ▼

接続通知音

2 接続通知: 無効 有効

3 失敗通知: 無効 有効

受信通知音

個別呼出: [無効] ▼

グループ呼出: [無効] ▼

全体呼出: [無効] ▼

電話通信: [無効] ▼

メッセージ受信: [無効] ▼

受信終了通知音

呼出方式: [Pベル] ▼

呼出回数: [3] ▼

※画面の値は、設定例です。

4 受信通知音 呼出種別ごとに、着信時または受信時の通知音を「無効」、「通知音1」～「通知音8」から設定します。
(初期値：無効)

5 呼出方式 着信時の呼出方式を、「ポケットビープ」、「Pベル」から設定します。
(初期値：Pベル)

※[受信通知音](4)欄が「無効」の場合は、設定できません。

※メッセージ受信の場合は、呼出方式の設定はありません。

○ポケットビープ(P.3-11)

着信時、通知音とアイコンの点滅でお知らせする機能です。

◎Pベル(P.3-11)

着信時、通知音でお知らせする機能です。

応答するまで、相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

※マイクロホンの[PTT](送信)スイッチを押して応答すると、音声ミュートを解除し、相手の音声が聞こえます。



6 呼出回数 呼出種別ごとに、[受信通知音](4)欄で選択した通知音の鳴動回数を設定します。
(初期値：3)
呼出回数は、「連続」、「1」、「3」、「10」、「20」(回)から選択します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機詳細

■無線機詳細設定(つづき)

※画面の値は、設定例です。

- 7 受信終了通知音** 呼出種別ごとに、音声受信終了時の通知音を「無効」、「通知音1」～「通知音8」から設定します。(初期値：通知音1)
※受信が終了するごとに設定した通知音が鳴ります。
- 8 通信圏外通知** 圏外などで通信できなくなった、または圏内に戻り通信できる状態になったときに鳴る通知音(圏外時：ピピッ/圏内時：ポポッ)を設定します。(初期値：無効)
○無効：圏外時や圏内復帰時に通知音は鳴りません。
○有効：圏外時や圏内復帰時に通知音が鳴ります。
- 9 相手局の表示切替** 送信や操作後など、IP500Mが待受画面に戻ったときに、表示する相手局(呼出種別)を設定します。(初期値：無効)
○無効：「無線機設定」メニューの「無線機基本」画面(呼出先指定)で設定した相手局、または呼出種別を表示します。
○送信操作：最後に送信した相手局を表示します。
○送受信操作：最後に送信、または受信した相手局を表示します。
○全操作：最後に送信、または受信した相手局か、アドレス帳/履歴で表示した相手局を表示します。
-
- 相手局(呼出種別)表示
- 10 履歴表示** 履歴の表示を設定します。(初期値：有効)
○無効：[履歴]キーを押しても履歴を表示しません。
○有効：[履歴]キーを押すと履歴を表示します。
- 11 トークグループ選択** トークグループの選択方法設定します。(P.3-9) (初期値：FUNC)
○FUNCキー：[FUNC]キーを操作してトークグループを選択します。
○アドレス帳キー：[アドレス帳]キーを操作してトークグループを選択します。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > 無線機詳細

■無線機詳細設定(つづき)

無線機詳細設定

受信終了通知音

個別呼出: 7 通知音1

グループ呼出: 通知音1

全体呼出: 通知音1

電話通信: 通知音1

通信圏外通知

8 通信圏外通知音: 無効 有効

端末表示

9 相手局の表示切替: 無効

10 履歴表示: 無効 有効

11 トークグループ選択: FUNC アドレス帳

終話判定

12 終話判定時間: 無効 有効 5 秒

13 終話判定時間(電話通信): 15 秒

14 終話判定時間内の新規着信拒否: 無効 有効

15 登録 16 取消

※画面の値は、設定例です。

- 12 終話判定時間** 通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでの時間を「1」～「30」(秒)で設定します。(初期値: 有効(5秒))
※「無効」設定した場合は、「送信/受信」ランプの消灯と同時に待ち受け状態(待受画面)に戻ります。
- 13 終話判定時間(電話通信)** 電話通信で通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでの時間を「0」～「600」(秒)で設定します。(初期値: 15)
※「0」を設定した場合は、終話判定しません。
通話中に[オプション]キーを押して切断する、または相手が切断するまで通話状態となります。
- 14 終話判定時間内の新規着信拒否** 通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでに着信があった場合、優先度に応じて着信を受けるか拒否するか(有効/無効)を設定します。(初期値: 有効)
 有効(拒否する)
現在の通話よりも高い優先度の着信は受け付けるが、それ以下、または同等の優先度の着信は受け付けません。
終話判定時間が経過したあとに受け付けます。
 無効(拒否しない)
新規着信を受け付けます。
- 15 <登録>** 「無線機詳細」画面で設定した内容を登録するボタンです。
- 16 <取消>** 「無線機詳細」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー(つづき) お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > アドレス帳

■アドレス帳設定の保存と書き込み

アドレス帳をファイルに保存したり、保存したファイルの本製品に書き込んだりします。

アドレス帳設定の保存と書き込み	
① 保存したファイルを書き込む:	<input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="書き込み"/> CSV形式のファイルが書き込みできます。 ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。
② ファイルに保存する:	<input type="button" value="保存"/> id_list001.csvで保存されます。

① 保存したファイルを書き込む

[ファイルに保存する] (②) 欄の操作で保存したアドレス帳ファイル(拡張子: csv)の内容を本製品に書き込むとき使用します。
ファイルの保存先を指定するため、〈参照...〉をクリックします。
表示された画面で目的のファイルを選択して、〈開く(O)〉をクリックします。
テキストボックスに保存先を指定後、〈書き込み〉をクリックすると、[アドレス帳設定一覧]項目にその内容を書き込みます。
※書き込む前の内容は、消去されますのでご注意ください。
※「管理」メニューの「設定の保存」画面で保存された設定ファイルを書き込むと、上書きされますのでご注意ください。
※[ファイルに保存する] (②) 欄の操作で保存した状態のファイル、および5-67ページの書式で編集したファイル以外のインポートは、保証対象外になります。

② ファイルに保存する

[アドレス帳設定一覧]項目に表示された内容をアドレス帳ファイルとして、パソコンに保存します。
〈保存〉をクリックして、表示された画面の〈保存(S)〉をクリックすると、アドレス帳ファイル(拡張子: csv)として保存できます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > アドレス帳

■ アドレス帳設定の保存と書き込み(つづき)

アドレス帳ファイルのインポートについて

保存した状態のファイル(P.5-66)、および下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

「アドレス帳ファイル」(拡張子: csv)の書式

	A	B	C	D	E	F	G
1	#	IP500M	アドレス帳設定	設定保存ファイル			
2	#	Firm Ver. 2.02					
3	#	File Ver. 1.0					
4	#グループ名						
5	#番号	名前	呼出種別(indi=個別、group=グループ、tel=電話)	呼出先番号(個別、グループ)	呼出先番号(電話)	トークグループ	ヨミガナ
6	1	500H-001	indi		1		0 5H001
7	2	500H-002	indi		2		0 5H002
8	3	500H-003	indi		3		0 5H003
9	4	500M-011	indi		11		0 5M011
10	5	500H/501Hグループ	group	1001			0 ゲ 5H
11	6	500Mグループ	group	1002			0 ゲ 5M
12	7	グループALL	group	19999			0 ゲ ALL
13	8	TG-01	group	2001			1 TG01
14	9	TG-02	group	2002			1 TG02
15	10	TG-03	group	2003			1 TG03
16	11	TG-04	group	2004			1 TG04
17	12	TG-05	group	2005			1 TG05

A列：グループ名

：番号

B列：名前

半角31(全角15)文字以内

1～500 ※重複しない番号を入力

半角32(全角16)文字以内

※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。

※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、正常に表示されません。

C列：呼出種別

個別：indi、グループ：group、電話：tel

D列：呼出先番号(個別、グループ)

半角数字5桁

E列：呼出先番号(電話)

半角数字/記号(#、*)31桁以内

F列：トークグループ

無効：0、有効：1

G列：ヨミガナ

半角32文字以内

※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。

※半角カタカナ、半角数字、半角英字が入力できます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー(つづき) お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > アドレス帳

■アドレス帳設定

個別にアドレス帳に登録したいときに使用します。

アドレス帳設定

① 番号:	<input type="text" value="13"/>
② 名前:	<input type="text"/>
③ ヨミガナ	<input type="text"/>
④ 呼出種別:	<input type="text" value="個別"/>
⑤ 呼出先番号:	<input type="text" value="00001"/>

- ① 番号 アドレス帳に通話相手を登録するために、「1」～「500」の番号を選択します。最大500件まで登録できます。
- ② 名前 任意の名称を、半角32(全角16)文字以内で入力します。
※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、正常に表示されません。
※無線機本体に表示できる文字数は、入力した文字の幅によって異なります。(全角8文字程度)
HM-230に表示できるのは、最大で半角18文字(全角9文字)です。
表示できる文字数を超えた場合は、名前をスクロールします。
- ③ ヨミガナ 任意のヨミガナを、半角32文字以内で入力します。
※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。
※半角カタカナ、半角数字、半角英字が入力できます。
※全角で入力した場合、自動的に半角になります。
ひらがなを入力した場合、自動的に半角カタカナになります。
- ④ 呼出種別 通話相手の種別を、「個別」、「グループ」、「トークグループ」、「電話」から選択します。
- ⑤ 呼出先番号 個別番号、グループやトークグループの番号を5桁の数字で入力します。
※[呼出種別] (④) 欄で「電話」を選択したときは、相手先の電話番号を31桁以内の数字/記号(#、*)で入力します。
- ⑥ <登録> [アドレス帳設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[アドレス帳設定一覧]項目に表示されます。
- ⑦ <取消> [アドレス帳設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー(つづき) お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > アドレス帳

■アドレス帳設定一覧

[アドレス帳設定]項目で登録した内容を表示します。

番号	名前	ヨミガナ	呼出種別	呼出先番号	①	②
1	500H-001	5H001	個別	00001	編集	削除
2	500H-002	5H002	個別	00002	編集	削除
3	500H-003	5H003	個別	00003	編集	削除
4	500M-011	5M011	個別	00011	編集	削除
5	500H/501Hグループ	グ5H	グループ	01001	編集	削除
6	500Mグループ	グ5M	グループ	01002	編集	削除
7	グループALL	グALL	グループ	19999	編集	削除
8	TG-01	TG01	トークグループ	02001	編集	削除
9	TG-02	TG02	トークグループ	02002	編集	削除
10	TG-03	TG03	トークグループ	02003	編集	削除
11	TG-04	TG04	トークグループ	02004	編集	削除
12	TG-05	TG05	トークグループ	02005	編集	削除

③ 全削除

※画面の値は、設定例です。

- ①〈編集〉 クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[アドレス帳設定]項目に表示されます。
- ②〈削除〉 クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③〈全削除〉 クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー(つづき) お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > メッセージ

■メッセージ設定の保存と書き込み

メッセージをファイルに保存したり、保存したファイルの本製品に書き込んだりします。

メッセージ設定の保存と書き込み

	<input type="text"/>	<input type="button" value="参照..."/>	<input type="button" value="書き込み"/>
① 保存したファイルを書き込む:	CSV形式のファイルが書き込みできます。 ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。		
② ファイルに保存する:	<input type="button" value="保存"/>	msg_list001.csvで保存されます。	

① 保存したファイルを書き込む

[ファイルに保存する](②)欄の操作で保存したメッセージファイル(拡張子: csv)の内容を本製品に書き込むとき使用します。
ファイルの保存先を指定するため、〈参照...〉をクリックします。
表示された画面で目的のファイルを選択して、〈開く(O)〉をクリックします。
テキストボックスに保存先を指定後、〈書き込み〉をクリックすると、[アドレス帳設定一覧]項目にその内容を書き込みます。
※書き込む前の内容は、消去されますのでご注意ください。
※「管理」メニューの「設定の保存」画面で保存された設定ファイルを書き込むと、上書きされますのでご注意ください。
※[ファイルに保存する](②)欄の操作で保存した状態のファイル、および5-71ページの書式で編集したファイル以外のインポートは、保証対象外になります。

② ファイルに保存する

[メッセージ設定]項目に表示された内容をメッセージファイルとして、パソコンに保存します。
〈保存〉をクリックして、表示された画面の〈保存(S)〉をクリックすると、メッセージファイル(拡張子: csv)として保存できます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー

お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > メッセージ

■メッセージ設定の保存と書き込み(つづき)

メッセージファイルのインポートについて

保存した状態のファイル(P.5-70)、および下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

「メッセージファイル」(拡張子: csv)の書式

	A	B	C	D	E	F
1	#	IP500M	メッセージ設定	設定保存ファイル		
2	#	Firm Ver. 1.00				
3	#	File Ver. 1.00				
4	#グループ名					
5	#番号	定型文メッセージ				
6	1	おはようございます				
7	2	お戻りください				
8	3	電話がありました				
9	4	会議中です				
10						

A列 : グループ名

半角31(全角15)文字以内

: 番号

1~10 ※重複しない番号を入力

B列 : 定型文メッセージ

半角32(全角16)文字以内

※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。

※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、正常に表示されません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー(つづき) お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > メッセージ

■メッセージ設定

IP500Mが送信するメッセージを登録します。

IP500Mから送信できる定型メッセージは半角32(全角16)文字以内です。

※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。

※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、正常に表示されません。

※最大10件まで登録できます。

メッセージ設定	
番号	定型文メッセージ
1	おはようございます
2	お戻りください
3	電話がありました
4	会議中です
5	
6	
7	
8	
9	
10	

① 登録 ② 取消

※画面の値は、入力例です。

- ① <登録> [メッセージ設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ② <取消> [メッセージ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

7.「無線機設定」メニュー(つづき) お買い上げ時の設定により、「無線機設定」メニューは使用できない場合があります。

無線機設定 > プレゼンス

■ プレゼンス設定

IP500Mが送信するステータス情報を登録します。

IP500Mから送信できるステータス情報は半角32(全角16)文字以内です。

※IP500MがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字です。

※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、正常に表示されません。

※最大10件まで登録できます。

プレゼンス設定		
1 <input checked="" type="checkbox"/> すべて	ステータス番号	ステータス名
<input checked="" type="checkbox"/>	1	在席中
<input checked="" type="checkbox"/>	2	電話中
<input checked="" type="checkbox"/>	3	会議中
<input checked="" type="checkbox"/>	4	離席
<input checked="" type="checkbox"/>	5	来客対応
<input checked="" type="checkbox"/>	6	外出
<input checked="" type="checkbox"/>	7	出張
<input checked="" type="checkbox"/>	8	休憩中
<input checked="" type="checkbox"/>	9	帰宅
<input checked="" type="checkbox"/>	10	

2 3

※画面の値は、入力例です。

- 1 **選択ボックス** 登録された内容を無線機に表示するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[ステータス名]欄に入力していても、ボックスにチェックマークを入れない場合は、無線機に表示しません。
[ステータス名]欄が空白の場合でも、ボックスにチェックマークを入れると、[ステータス番号]を表示します。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- 2 **〈登録〉** [プレゼンス設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- 3 **〈取消〉** [プレゼンス設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

8.「無線機情報通知設定」メニュー

無線機情報通知設定 > 無線機情報フィルタリング

■無線機情報フィルタリング設定

送出する無線機の情報を制限する設定です。

無線機情報フィルタリング設定

① 無線機情報フィルタリング: 無効 有効

② フィルタリングポリシー: 許可リスト 拒否リスト

③ 登録 ④ 取消

- ① 無線機情報フィルタリング …… 条件に応じて、LAN側へ送出する無線機情報(位置情報、プレゼンス)をフィルタリングする設定です。 (初期値：無効)
- ② フィルタリングポリシー …… [フィルタリング設定]項目に登録された個別番号の無線機情報の送出を許可するか拒否するかを設定します。 (初期値：許可リスト)
- ◎許可リスト：個別番号が登録された無線機の無線機情報を送出します。
※個別番号を登録していない無線機の無線機情報は送出しません。
- ◎拒否リスト：個別番号が登録された無線機の無線機情報を送出しません。
※個別番号を登録していない無線機の無線機情報は送出しません。
- ③ <登録> …… [無線機情報フィルタリング設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ <取消> …… [無線機情報フィルタリング設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

8.「無線機情報通知設定」メニュー(つづき)

無線機情報通知設定 > 無線機情報フィルタリング

■フィルタリングリスト一括設定

フィルタリングリスト一括設定	
個別番号:	<input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/> ※指定した範囲の連番を個別番号として登録します。

個別番号.....

連番で一括に登録したい個別番号の範囲を入力します。

〈追加〉

クリックすると、テキストボックスに入力した範囲(例:00004~00010)の個別番号が登録されます。

※入力した範囲で、すでに登録された個別番号がある場合は、「登録済みの設定があります。設定してもよろしいですか?(登録済みの番号が表示)」が表示されます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 管理者

■管理者パスワードの変更

本製品のWEB画面にアクセスするためのパスワードを変更します。

管理者パスワードの変更

① 管理者ID:	admin
② 現在のパスワード:	<input type="password"/>
③ 新しいパスワード:	<input type="password"/>
④ 新しいパスワード再入力:	<input type="password"/>

- ① **管理者ID** 本製品のWEB画面へのアクセスを許可する管理者IDを表示します。
※本製品のWEB画面にアクセスすると、ユーザー名として入力を求められますので、本製品の管理者ID (admin)を入力します。
※本製品の[管理者ID]は、変更できません。
- ② **現在のパスワード** 新しいパスワードに変更するとき、現在のパスワードを大文字/小文字の区別に注意して入力します。(初期値：admin)
※入力中の文字は、すべて* (アスタリスク)、または• (黒丸)で表示します。
- ③ **新しいパスワード** 新しいパスワードを入力します。
大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号(半角31文字以内)で入力します。
※新しいパスワードを登録後は、設定内容がマスクされ、すぐにパスワードの入力を求める画面を表示しますので、そこに新しいパスワードを入力します。
- ④ **新しいパスワード再入力** 確認のために、新しいパスワードを再入力します。
- ⑤ **〈登録〉** [管理者パスワードの変更]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑥ **〈取消〉** [管理者パスワードの変更]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにし、さらに定期的にパスワードを変更されることをおすすめします。

ご注意

管理者パスワードを忘れた場合、WEB画面を確認するには、工場出荷時(初期値)の状態に戻す必要があります。

※初期化するときは、7-4ページの内容にしたがって、本製品をリセットしてください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 管理ツール

■USB設定

市販のUSBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込んだときの動作を設定します。

※説明には、[USBメモリー](①)欄で「有効」を選択したときの画面を使用しています。

USB設定

① USBメモリー: 無効 有効

② USBアクセス許可: ファームウェアの更新
 設定の保存/復元

③ 登録 ④ 取消

- ① USBメモリー 市販のUSBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込んだときの動作について設定します。
(初期値：無効)
※「無効」に設定されていると、本製品のファームウェアファイルや設定ファイルなどを保存したUSBメモリーを差し込んだ状態で、本製品の電源を入れても、ファイルを読み込みません。
- ② USBアクセス許可 本製品に接続されたUSBメモリーから読み込むファイルを選択します。
(初期値： ファームウェアの更新
 設定の保存/復元)
※チェックマークをはずすと、ファイルを保存したUSBメモリーを差し込んだ状態で、本製品の電源を接続しても、該当ファイルを読み込みません。
◎ファームウェアの更新(P.7-15)
本製品のファームウェアファイル(拡張子：dat)を保存したUSBメモリーを差し込むと、ファームウェアをバージョンアップします。
◎設定の保存/復元(P.7-13)
本製品の設定ファイルをUSBメモリーに保存後、設定が異なる本製品にUSBメモリーを差し込んで、自動で設定を復元します。
- ③ <登録> 「管理ツール」画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ <取消> 「管理ツール」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 時計

■時刻設定

本製品の内部時計を手動で設定します。

時刻設定	
① 本体の現在時刻:	2016年 05月 12日 11時 57分
② 設定する時刻:	2016年 05月 12日 11時 57分 ③ 設定

- ① **本体の現在時刻** 本製品に設定されている時刻を表示します。
※日時を問い合わせているときは、メッセージが表示されます。
- ② **設定する時刻** 本製品のWEB画面にアクセスしたときの時刻を表示します。
※お使いのWWWブラウザで表示画面を更新すると、パソコンの時計設定を取得して表示します。
- ③ **〈設定〉** [設定する時刻] (②) 欄に表示された時刻を本製品に手動で設定するボタンです。
※時刻を手動で設定するときは、本製品のWEB画面に再度アクセスするか、お使いのWWWブラウザで表示画面を更新してから、〈設定〉をクリックしてください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > SYSLOG

■SYSLOG設定

指定したホストにログ情報などを出力するための設定です。

SYSLOG設定

1 DEBUG:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
2 INFO:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
3 NOTICE:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
4 ホストアドレス:	<input type="text"/>

- | | | |
|-----------|--|----------|
| 1 DEBUG | 各種デバッグ情報をSYSLOGに出力する設定です。 | (初期値：無効) |
| 2 INFO | INFOタイプのメッセージをSYSLOGに出力する設定です。 | (初期値：有効) |
| 3 NOTICE | NOTICEタイプのメッセージをSYSLOGに出力する設定です。 | (初期値：有効) |
| 4 ホストアドレス | SYSLOG機能を使用する場合、SYSLOGを受けるホストのアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。 | |
| 5 <登録> | [SYSLOG設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。 | |
| 6 <取消> | [SYSLOG設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。 | |

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > SNMP

■SNMP設定

TCP/IPネットワークにおいて、ネットワーク上の各ホストから本製品の情報を自動的に収集して、ネットワーク管理をするときの設定です。

- | | |
|-----------------------|--|
| ① SNMP | 本製品のSNMP機能を設定します。
「有効」に設定すると、本製品の設定情報をSNMP管理ツール側で管理できません。
(初期値：有効) |
| ② コミュニティID(GET) | 本製品の設定情報をSNMP管理ツール側から読み出すことを許可するIDを、半角31文字以内の英数字で入力します。
(初期値：public) |
| ③ 場所 | MIB-II(RFC1213)に対応するSNMP管理ツール側で表示される場所を、半角127文字以内の英数字で入力します。 |
| ④ 連絡先 | MIB-II(RFC1213)に対応するSNMP管理ツール側で表示される連絡先を、半角127文字以内の英数字で入力します。 |
| ⑤ <登録> | [SNMP設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。 |
| ⑥ <取消> | [SNMP設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。 |

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > ネットワークテスト

■PINGテスト

本製品からPINGを送出し、ネットワークの疎通確認テストをします。

PINGテスト

① ホスト:

② 試行回数: 4 回

③ パケットサイズ: 64 バイト

④ タイムアウト時間: 1000 ミリ秒

⑤ 実行

- ① ホスト PINGを送出する対象ホストのアドレスを入力します。
- ② 試行回数 PINGを送出する回数を、「1」、「2」、「4」、「8」から選択します。(初期値：4)
- ③ パケットサイズ 送信するパケットのデータ部分のサイズを設定します。(初期値：64)
設定できるサイズは、「32」、「64」、「128」、「256」、「512」、「1024」、「1448」、「1500」、「2048」(バイト)です。
- ④ タイムアウト時間 PING送出後、応答を待つ時間を、「500」、「1000」、「5000」(ミリ秒)から選択します。(初期値：1000)
設定した時間以内に応答がないときは、タイムアウトになります。
- ⑤ <実行> PINGテストを実行するボタンです。
クリックして、表示される画面にしたがって操作すると、「PING結果」表示に切り替わり、テスト結果を表示します。

PING結果

```
Pinging 192.168.0.2 (192.168.0.2) with 64 bytes of data:
Reply from 192.168.0.2 bytes=64 ttl=64 seq=0 time=0ms
Reply from 192.168.0.2 bytes=64 ttl=64 seq=1 time=5ms
Reply from 192.168.0.2 bytes=64 ttl=64 seq=2 time=5ms
Reply from 192.168.0.2 bytes=64 ttl=64 seq=3 time=5ms

--- 192.168.0.2 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 received, 0% packet loss, time 3005 ms
rtt min/avg/max = 0/3/5 ms
```

保存 実行画面に戻る

【PING結果について】

※上図は、表示例です。

◎<保存>をクリックすると、テスト結果をファイル(拡張子：txt)に保存します。

※ファイル名は、「ping_[対象ホストのアドレス].txt」で保存されます。

◎<実行画面に戻る>をクリックすると、画面が「PINGテスト」表示に戻ります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > ネットワークテスト

■経路テスト

本製品から特定のノードに対しての経路テスト(tracert/traceroute)をします。

経路テスト

①ノード:

②最大ホップ数: 16 ▾

③タイムアウト時間: 3 ▾ 秒

④DNS名前解決: 無効 有効

⑤

- ①ノード 経路テストをする対象ノード(機器)のアドレスを入力します。
- ②最大ホップ数 経由するホップ数(中継設備数)の最大値を、「4」、「8」、「16」、「32」から選択します。
(初期値：16)
- ③タイムアウト時間 テスト開始後、応答を待つ時間を、「1」、「3」、「5」(秒)から選択します。
(初期値：3)
設定した時間以内に応答がないときは、タイムアウトになります。
- ④DNS名前解決 テスト結果に表示するIPアドレスを、ホスト名に変換するかどうか設定します。
(初期値：有効)
「有効」に設定すると、中継設備や対象ノードのアドレスに対して、DNS名前解決をします。
- ⑤〈実行〉 経路テストを実行するボタンです。
クリックして、表示される画面にしたがって操作すると、「経路テスト結果」表示に切り替わり、テスト結果を表示します。

【経路テスト結果について】

経路テスト結果

```
tracert to 192.168.100.1 (192.168.100.1) from 192.168.0.1, 16 hops max
 1:  5 ms  0 ms  0 ms  192.168.0.254
 2:  0 ms  5 ms  0 ms  192.168.68.1
 3:  5 ms  5 ms  0 ms
 4:  0 ms  5 ms  5 ms
 5:  5 ms  0 ms  0 ms  192.168.53.4
 6: 10 ms 10 ms 10 ms  192.168.100.3
 7: 10 ms  5 ms 10 ms  192.168.100.1
```

※上図は、表示例です。

◎〈保存〉をクリックすると、テスト結果をファイル(拡張子:txt)に保存します。

※ファイル名は、「tracert_[対象ノードのアドレス].txt」で保存されます。

◎〈実行画面に戻る〉をクリックすると、画面が「経路テスト」表示に戻ります。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 再起動

■再起動

〈実行〉をクリックすると、本製品は再起動します。

再起動	
再起動:	<input type="button" value="実行"/>

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 設定の保存

■設定の保存

本製品の設定内容を保存します。

設定の保存

設定の保存:

設定の保存.....

本製品すべての設定内容をパソコンに保存することで、本製品の設定をバックアップできます。

〈保存〉をクリックして、表示された画面にしたがって操作すると、設定ファイル(拡張子: sav)を保存できます。

保存したファイルは、[設定の復元]項目の操作で、本製品に書き込みできます。

※保存した設定ファイル(拡張子: sav)は、本製品以外では使用できません。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 設定の保存

■設定の復元

保存した設定ファイルの本製品に書き込みます。

※書き込みには数分かかる場合があります。

設定の復元

① 設定ファイルの選択:

② 復元:

- ① 設定ファイルの選択 …………… [設定の保存]項目の操作で保存した設定ファイル(拡張子:sav)の内容を本製品に書き込むとき使用します。
設定ファイルの保存先を指定するため、〈参照...〉をクリックします。
表示された画面から目的の設定ファイルをクリックして、〈開く(O)〉をクリックすると、選択した設定ファイルの参照先が表示されます。
- ② 復元 …………… [設定ファイルの選択] (①)欄のテキストボックスに保存先を指定後、〈復元〉をクリックすると、本製品にその設定内容を書き込みます。
書き込む前の設定内容は、消去されますのでご注意ください。
※書き込みを完了すると、本製品は自動的に再起動します。
※市販のソフトウェアなどで編集したものは、誤動作の原因になりますので、本製品に登録しないでください。

設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 設定の保存

■設定内容一覧

出荷時の設定から変更された内容を表示します。

※画面の内容は、表示例です。

設定内容一覧

```
ipradio cfg_group penalty 1 1
ipradio cfg_group stat_tn 1 1
ipradio cfg_group tn 1 1
ipradio id_list entry set 1 1 "個別11" "" indi "0011" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 2 1 "個別12" "" indi "0012" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 3 1 "個別13" "" indi "0013" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 4 1 "IP100H-A11" "" group "0010" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 5 1 "TG1" "" group "0011" none bel cnt3 1
ipradio id_list entry set 6 1 "TG2" "" group "0012" none bel cnt3 1
ipradio id_list entry set 7 1 "IP100H-1" "" indi "0001" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 8 1 "IP100H-2" "" indi "0002" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 9 1 "IP100H-3" "" indi "0003" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 10 1 "VP701-31" "" tel "31" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 11 1 "VP701-32" "" tel "32" none bel cnt3 0
ipradio id_list entry set 12 1 "500M14" "" indi "0014" none bel cnt3 0
ipradio id_list tbl_idx 1 1 1 1
ipradio id_list tbl_idx 2 1 1 2
ipradio id_list tbl_idx 3 1 1 3
ipradio id_list tbl_idx 4 1 1 4
ipradio id_list tbl_idx 5 1 1 5
ipradio id_list tbl_idx 6 1 1 6
ipradio id_list tbl_idx 7 1 1 7
ipradio id_list tbl_idx 8 1 1 8
ipradio id_list tbl_idx 9 1 1 9
ipradio id_list tbl_idx 10 1 1 10
ipradio id_list tbl_idx 11 1 1 11
ipradio id_list tbl_idx 12 1 1 12
ipradio msg_list entry msg 1 "おはようございます"
ipradio msg_list entry msg 2 "お戻りください"
ipradio msg_list entry msg 3 "電話がありました"
ipradio msg_list entry msg 4 "会議中です"
ipradio msg_list tbl_idx 1 1 1 1
ipradio msg_list tbl_idx 2 1 1 2
ipradio msg_list tbl_idx 3 1 1 3
```

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

管理 > 初期化

■初期化

〈実行〉をクリックすると、選択した初期化条件で、本製品の設定内容を初期化します。

※IPアドレスと管理者用のパスワードが不明な場合などの初期化については、7-4ページをご覧ください。

初期化

初期化:

初期化を行うとすべての設定が工場出荷状態となります。

ご注意

初期化すると、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1(初期値)」になります。

初期化実行後、本製品にアクセスできなくなったときは、パソコンのIPアドレスを変更してください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

バージョンアップについてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

※バージョンアップによって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめご確認ください。

管理 > ファームウェアの更新

■ファームウェア情報

本製品のファームウェアについて、バージョン情報を表示します。

ファームウェア情報

IPL: Rev.
バージョン: IP500M Ver. Copyright Icom Inc.

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

バージョンアップについてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

※バージョンアップによって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめご確認ください。

管理 > ファームウェアの更新

■オンライン更新

起動時にファームウェアを確認し、最新のファームウェアへ更新されます。

運用中に新しいファームウェアがリリースされた場合は、設定画面から確認、および更新ができます。

※ファームウェアの確認には、auの4G LTE (800MHz) 網への接続環境が必要です。

オンライン更新

ファームウェアの確認:

ファームウェアの確認……………

〈確認〉をクリックすると、アップデート管理サーバーに接続します。
接続に成功すると、最新のファームウェア情報(下図)を表示します。

ファームウェア情報

状況:	情報取得成功
バージョン:	
更新内容:	

ファームウェア情報について

◎「新しいファームウェアはありません」が表示されるときは、現在のファームウェアが最新ですので、ファームウェアの更新は必要ありません。

◎新しいファームウェアがあるときは、「情報取得成功」と更新内容が表示されます。

〈ファームウェアを更新〉をクリックすると最新のファームウェアをアップデート管理サーバーからオンラインで更新できます。

◎「接続失敗」や「サーバーからエラーが返されました」が表示されるときは、本製品からアップデート管理サーバーへ接続できる環境であることをご確認ください。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

バージョンアップについてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

※バージョンアップによって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめご確認ください。

管理 > ファームウェアの更新

■手動更新

パソコンに保存しているファイルを指定してファームウェアをバージョンアップします。

※アップデート用ファームウェアファイルは一般には公開していません。

※販売店から連絡があった場合に限り、ファームウェアを更新してください。

手動更新

① ファームウェアの選択:

② ファームウェアの更新:

- ① **ファームウェアの選択** …………… <参照...>をクリックして、表示された画面から、パソコンに保存している本製品のファームウェアファイル(拡張子: dat)を選択して、<開く(O)>をクリックします。
選択したファイルとその階層が、[ファームウェアの選択]項目のテキストボックスに自動入力されたことを確認します。
- ② **ファームウェアの更新** …………… <更新>をクリックすると、[ファームウェアの選択]項目のテキストボックスに表示された保存先のファームウェアファイル(拡張子: dat)を本製品に書き込みます。
更新を開始すると、「ファームウェアを更新しています。」と表示されます。

5 各種機能の設定(WEB画面)

9.「管理」メニュー(つづき)

お買い上げ時の設定により、「管理」メニューは使用できない場合があります。

バージョンアップについてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。
※バージョンアップによって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめご確認ください。

管理 > ファームウェアの更新

■LTEモジュール情報

LETモジュール(通信ユニット)をオンラインでバージョンアップします。

※ファームウェアの更新には、auの4G LTE (800MHz) 網への接続環境が必要です。

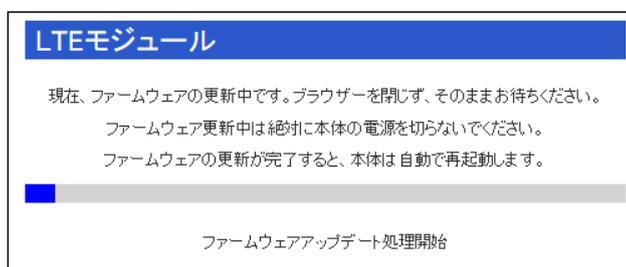
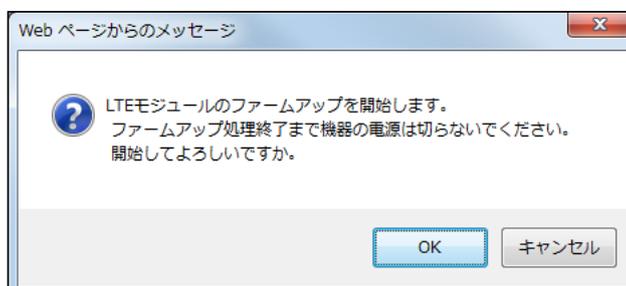
LTEモジュール情報

①バージョン: Ver.

②ファームウェアの更新:

①バージョン 通信ユニットのバージョン情報を表示します。

②ファームウェアの更新 <更新>をクリックし、画面(下図)にしたがって操作すると、アップデート管理サーバーに接続します。



※「新しいファームウェアはありません」が表示される場合は、現在のファームウェアが最新ですので、ファームウェアの更新は必要ありません。

この章では、
本製品で使用できる別売品について説明しています。

1. 別売品一覧	6-2
2. AM-5(アーム型マイクロホン)	6-3
3. SM-28(デスクトップマイクロホン)	6-3
4. OPC-2330(マイク分岐BOX)	6-4

6 別売品とその使いかた

1. 別売品一覧

弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> でも、別売品についてご覧いただけます。

別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障、または動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

マイクロホン関係		外部スピーカー	
AM-5	: アーム型マイクロホン(磁石付き基台)	SP-30	: 外部スピーカー(20W/4Ω) ※ケーブル長: 約2.8m
SM-28	: デスクトップマイクロホン	SP-35	: 外部スピーカー(5W/4Ω) ※ケーブル長: 約2m
HM-204★	: 防水スピーカーマイクロホン ※OPC-647を使用したときは、本製品、およびHM-204の防塵/防水性能を維持できません。		
HM-230★	: テンキー付きマイクロホン ※OPC-647を使用したときは、本製品、およびHM-230の防塵/防水性能を維持できません。		
OPC-647	: マイクロホン延長ケーブル(約2.5m) ※AM-5、SM-28、HM-204、HM-230、OPC-2330のいずれかでお使いになれます。 ※最大2本まで接続してお使いになれます。		
OPC-2355	: マイクロホン延長ケーブル(約2.5m) ※モジュラープラグが防水タイプになります。 ※AM-5、SM-28、HM-204、HM-230、OPC-2330のいずれかでお使いになれます。 ※最大2本まで接続してお使いになれます。		
OPC-2330	: マイク分岐BOX ※接続できるマイクロホンは、HM-204です。		

★ IP54の防塵/防水性能があります。
※防塵/防水性能は、「IP表記について」(Pii) をご覧ください。

CS-IP500Mについて

本製品をパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP500M(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※弊社ホームページに掲載の「CS-IP500M取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがって別売品のクローニングケーブル(OPC-1940)を接続してください。

※このソフトウェアは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップをすることがあります。
バージョンアップの作業をする前に、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

PM-IP500について

本製品の位置情報を確認したい場合は、地図上に位置情報を表示するためのソフトウェアとして、PM-IP500(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

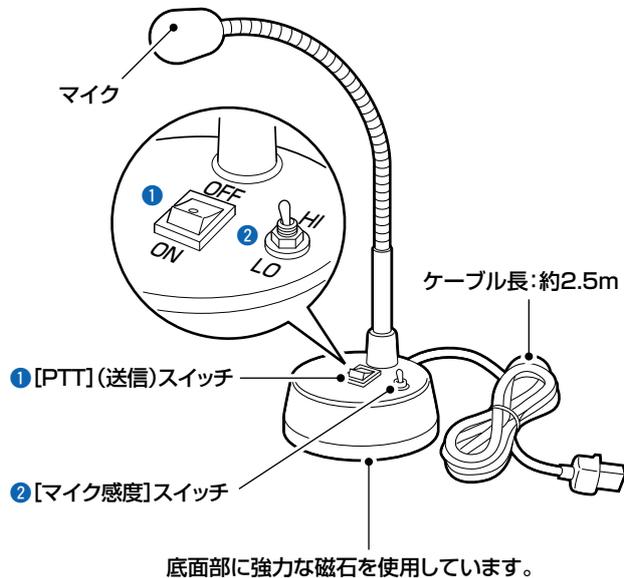
※弊社ホームページに掲載の「PM-IP500 ご利用ガイド」をよくお読みいただき、手順にしたがってインストールしてください。
※このソフトウェアは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップをすることがあります。
バージョンアップの作業をする前に、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

6 別売品とその使いかた

2. AM-5(アーム型マイクロホン)

エレクトレットコンデンサーマイクロホンです。

※外部スピーカー(別売品：SP-30、SP-35)と併せてご用意ください。



- 1 [PTT] (送信) スイッチ
「ON」にすると送信、「OFF」にすると待ち受け状態になります。
- 2 [マイク感度] スイッチ
「HI」にすると感度が高くなり、「LO」にすると低くなります。
※マイクとの距離、声の大きさ、周囲の騒音など、環境に応じて、切り替えてください。

△警告

心臓ペースメーカーなど電子医療機器をお使いのかたは、心臓ペースメーカーなどの植え込み部位の上にマイクロホンの底面部を近づけたり、当てたりしないでください。

電子医療機器などの動作に影響を与え、生命の危険があります。

△注意

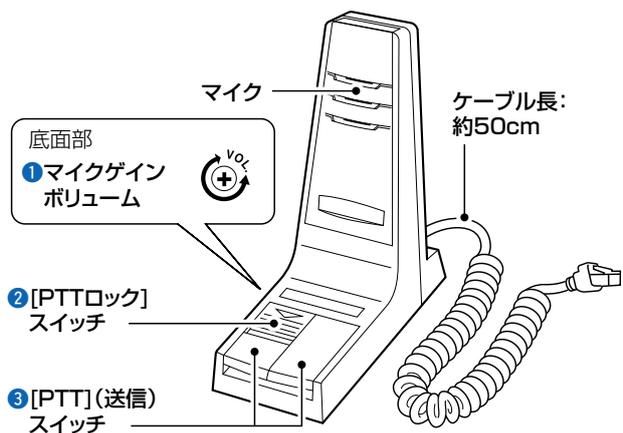
時計、コンパスや精密機器、キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気/ICカードを近づけないでください。

製品の誤動作の原因になったり、磁気/ICカードの内容が消去されたりすることがあります。

3. SM-28(デスクトップマイクロホン)

マイクアンプ内蔵の単一指向性ダイナミックマイクロホンです。

※外部スピーカー(別売品：SP-30、SP-35)と併せてご用意ください。



- 1 マイクゲインボリューム
マイクとの距離、声の大きさ、周囲の騒音など、環境に応じて、マイクの感度を調整します。
※ボリュームを左に回すと、感度が高くなります。
- 2 [PTTロック] スイッチ
押しながら三角印の方向にスライドすると、[PTT] (送信) スイッチ (3) がロックされ、ハンズフリーで送信できます。
ロックを解除するときは、反対方向にスライドします。
- 3 [PTT] (送信) スイッチ
押し続けている間は送信状態、はなすと待ち受け状態に戻ります。

6 別売品とその使いかた

4. OPC-2330(マイク分岐BOX)

下図のように接続すると、無線機以外の場所から、増設したマイクロホン(HM-204)で通話できます。電源は、1台、または2台で接続できます。2台接続する場合は、6-5ページをご覧ください。

※マイク1とマイク2の[PTT](送信)スイッチが両方とも押されたときは、「ブー」と大きな音が鳴ります。

このときに鳴る音量を変更したい場合は、OPC-2330をお買い上げいただいた販売店にご依頼ください。

※DC電源ケーブルのヒューズの交換については、7-17ページで説明しています。

呼び出しをしたときの動作

無線機本体に接続したマイクロホンを除き、マイク分岐BOXに接続したマイクロホン同士は、最初に[PTT](送信)スイッチを押したマイクロホンから送信できます。

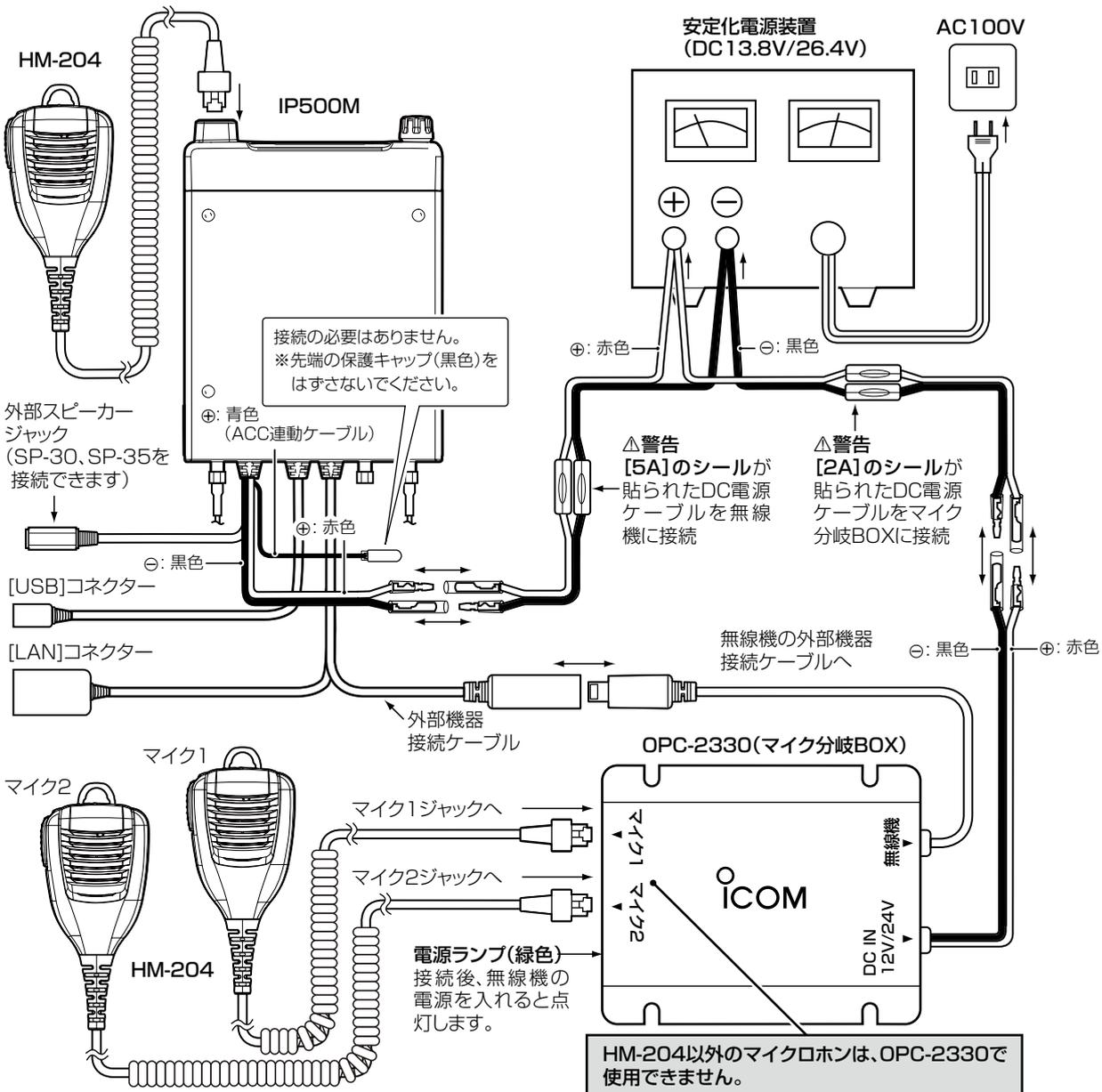
呼び出しを受けたときの動作

相手局から受信した音声は、本製品とマイク分岐BOXに接続されたすべてのマイクロホンのスピーカーから出力されます。

※外部スピーカー接続時は、外部スピーカーからだけ出力します。

本製品とマイク分岐BOXに接続されたすべてのマイクロホンからは出力されません。

【電源を1台で接続するとき】



この章では、

設定内容の保存や初期化、WEB画面からファームウェアのバージョンアップをする手順について説明しています。

1. 設定内容の保存	7-2
2. 保存された設定の書き込み(復元)	7-3
3. 設定を出荷時の状態に戻すには	7-4
A) SET モード(詳細)でリセット操作をする	7-4
B) WEB 画面を使用する	7-5
4. ファームウェアをバージョンアップする	7-6
ファームウェアについて	7-6
バージョンアップについてのご注意	7-6
A) ファイルを指定して更新する	7-7
B) オンラインバージョンアップ	7-8
5. USB メモリーによる自動設定機能について	7-9
■ USB メモリーによる自動設定機能について	7-9
6. USB メモリーから自動で設定を復元するには	7-13
設定ファイルを保存して復元するまでの手順	7-13
7. USB メモリーからファームウェアをバージョンアップするには	7-15
バージョンアップするまでの手順	7-15
8. ヒューズの交換について	7-17

初期値や設定できる項目について

お買い上げ時の設定により、初期値設定の変更や一部の設定項目が使用できないことがあります。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

7 保守について

1. 設定内容の保存

本製品の設定内容を設定ファイル(拡張子:sav)としてパソコン、またはUSBメモリーに保存できます。

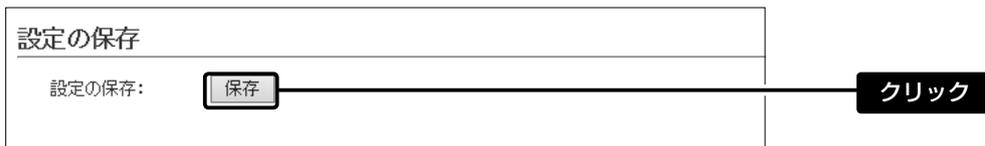
※保存した設定ファイル(拡張子:sav)は、本製品以外の製品では使用できません。

※設定を保存しておく、誤って設定内容が失われたときなどに利用できます。

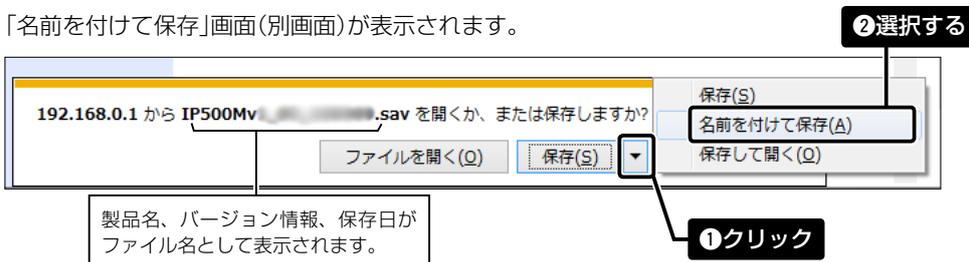
※設定ファイルをUSBメモリー(市販品)に保存して、本製品に書き込むこともできます。(P.7-13)

管理 > 設定の保存

- 1 本製品のWEB画面にアクセスします。
- 2 「管理」メニュー、「設定の保存」の順にクリックします。
「設定の保存」画面が表示されます。
- 3 「設定の保存」欄の〈保存〉をクリックします。
ファイルの確認画面(別画面)が表示されます。



- 4 〈保存(S)〉の「▼」をクリックして、「名前を付けて保存(A)」を選択します。
「名前を付けて保存」画面(別画面)が表示されます。



- 5 保存する場所を選択して、〈保存(S)〉をクリックします。
選択した場所に設定ファイル(拡張子:sav)が保存されます。

7 保守について

2. 保存された設定の書き込み(復元)

本製品のWEB画面からパソコンに保存した設定ファイル(P.7-2)を本製品に書き込む手順を説明します。
※設定ファイルをUSBメモリー(市販品)に保存して、本製品に書き込むこともできます。(P.7-13)

管理 > 設定の保存

- 1 本製品のWEB画面にアクセスします。
- 2 「管理」メニュー、「設定の保存」の順にクリックします。
「設定の保存」画面が表示されます。
- 3 設定ファイルを指定するため、〈参照...〉をクリックします。
「アップロードするファイルの選択」画面(別画面)が表示されます。

設定の保存	
設定の保存:	<input type="button" value="保存"/>
設定の復元	
設定ファイルの選択:	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
復元:	<input type="button" value="復元"/>

設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

7 保守について

3. 設定を出荷時の状態に戻すには

ネットワーク構成を変更するときなど、既存の設定データをすべて消去して、設定をはじめからやりなおすときは、本製品の設定内容を初期値に戻せます。

そのときの状況に応じて、次の2とおりの方法があります。

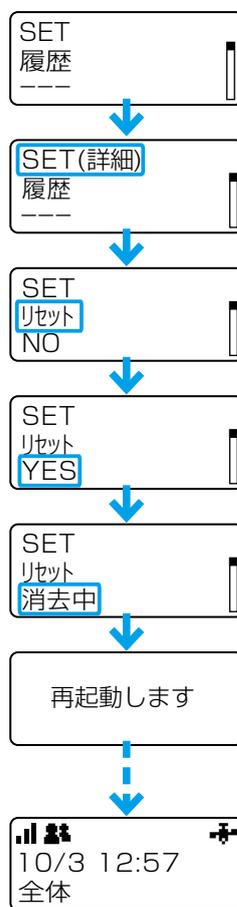
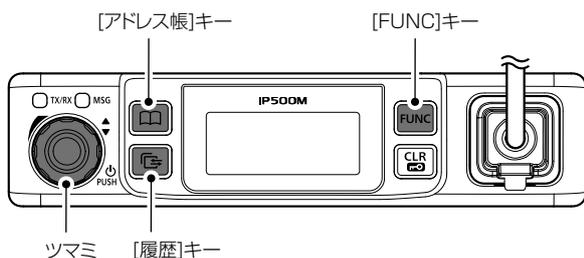
A SETモード(詳細)でリセット操作をする

本製品に設定されたIPアドレスと管理者パスワードが不明な場合など、WEB画面にアクセスできないとき

B WEB画面を使用する(P.7-5)

A SETモード(詳細)でリセット操作をする

1. SETモード(基本)に移行します。(P.4-4)
2. SETモード(基本)の状態では、[FUNC]キーを長く(約5秒)押しします。
3. 「SET(詳細)」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
4. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、「リセット」項目を選択します。
5. 本製品のツマミを回し、「YES」を選択します。
6. [履歴]キーを押します。
 - 「消去中」が表示されたあと、本製品が再起動して、待受画面に戻ります。



7 保守について

3. 設定を出荷時の状態に戻すには(つづき)

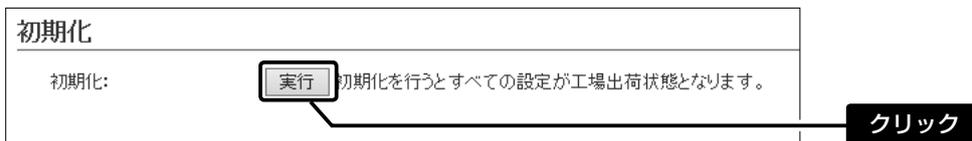
本製品に設定されたIPアドレスと管理者パスワードがわかっていて、そのIPアドレスでWEB画面にアクセスできるときは、本製品のWEB画面から、すべての設定を初期値に戻せます。

※IPアドレスと管理者パスワードが不明な場合などの初期化については、7-4ページをご覧ください。

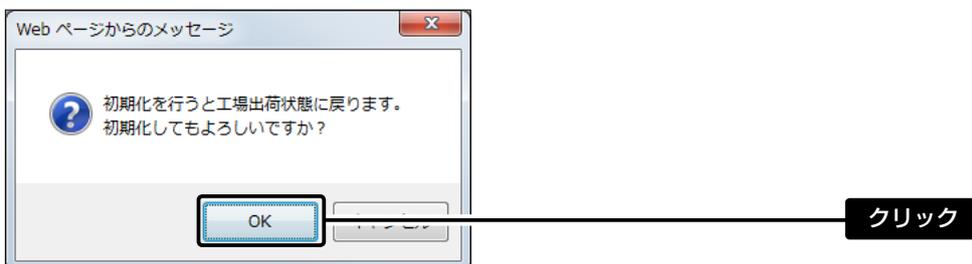
管理 > 設定の保存/復元

⑧ WEB画面を使用する

- 1 本製品のWEB画面にアクセスします。
- 2 「管理」メニュー、「初期化」の順にクリックします。
「初期化」画面が表示されます。
- 3 <実行>をクリックします。



- 4 <OK>をクリックします。
設定内容を初期の状態に戻すために、本製品が再起動します。



ご注意

初期化すると、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1(初期値)」になります。

初期化実行後、本製品にアクセスできなくなったときは、パソコンのIPアドレスを変更してください。

※IPアドレスの初期値は販売店の設定によって異なることがあります。

7 保守について

4. ファームウェアをバージョンアップする

本製品のWEB画面からファームウェアをバージョンアップできます。

Ⓐ ファイルを指定して更新する

※アップデート用ファームウェアファイルは一般には公開していません。

※販売店から連絡があった場合に限り、手動で更新してください。

Ⓑ オンラインバージョンアップ(P.7-8)

auの4G LTE(800MHz)網から本製品のファームウェアを最新の状態に自動更新できます。

※ ファームウェアファイルをUSBメモリー(市販品)に保存して、本製品をバージョンアップすることもできます。(P.7-15)

ファームウェアについて

ファームウェアは、本製品を動作させるために、出荷時から本製品のフラッシュメモリーに書き込まれているプログラムです。

このプログラムは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップをすることがあります。

バージョンアップの作業をする前に、本製品のWEB画面にアクセスして、「TOP」画面に表示するバージョン情報を確認してください。

バージョンアップをすると、機能の追加など、本製品を最良の状態にできます。

製品情報	
本体名称	IP500M
IPL	Rev. 1.00
バージョン	Ver. 1.00 copyright © 2014 Icom Inc.
LAN MACアドレス	XXXXXXXXXX
無線 MACアドレス	XXXXXXXXXX

バージョンアップについてのご注意

◎ ファームウェアの更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。

更新中に電源を切ると、データの消失や故障の原因になります。

◎ ご使用のパソコンでファイアウォール機能が動作していると、バージョンアップできないことがあります。

バージョンアップできない場合は、ファイアウォール機能を「無効」にしてください。

◆ バージョンアップの結果については、自己責任の範囲となります。

次に示す内容をよくお読みになってから、弊社より提供される本製品のアップデート用ファームウェアファイルをご使用ください。

本製品以外の機器への書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

7 保守について

4. ファームウェアをバージョンアップする(つづき)

管理 > ファームウェアの更新

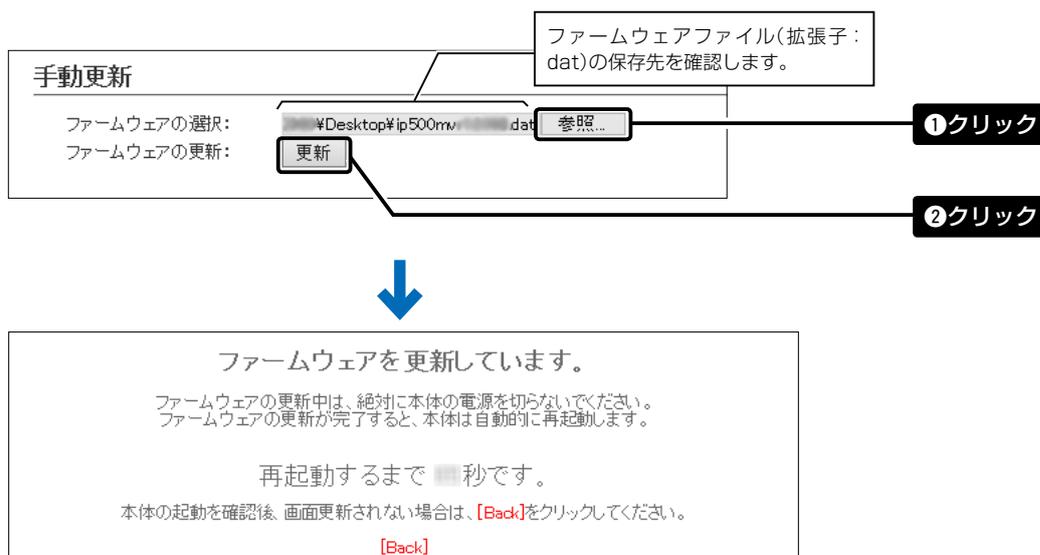
A ファイルを指定して更新する

バージョンアップの前に、現在の設定内容を保存されることをおすすめします。(P.7-2)

※バージョンアップ後、既存の設定内容が初期化されるファームウェアファイルがありますので、事前にご確認ください。

※日常、管理者以外の端末からバージョンアップできないように、WEB画面へのアクセス制限の設定(P.5-77)をおすすめします。

- 1 本製品のWEB画面にアクセスします。
- 2 「管理」メニュー、「ファームウェアの更新」の順にクリックします。
「ファームウェアの更新」画面が表示されます。
- 3 下記のように、ファームウェアファイル(拡張子: dat)の保存先を指定して、更新します。
更新を開始すると、「ファームウェアを更新しています。」(下図)が表示されます。
※ファームウェアの更新を完了すると、「TOP」画面になります。



ご注意

ファームウェアの更新が完了するまで、ご使用のパソコンや本製品の電源を絶対に切らないでください。

途中で電源を切ると、データの消失や誤動作の原因になります。

※初期値に戻るような注意書きがあるバージョンアップ用ファームウェアの場合は、上図の[Back]をクリックしてもWEB画面に戻れないことがあります。

接続するパソコンのIPアドレスを「例：192.168.0.100」に設定してから、本製品のWEB画面にアクセスしなおしてください。

7 保守について

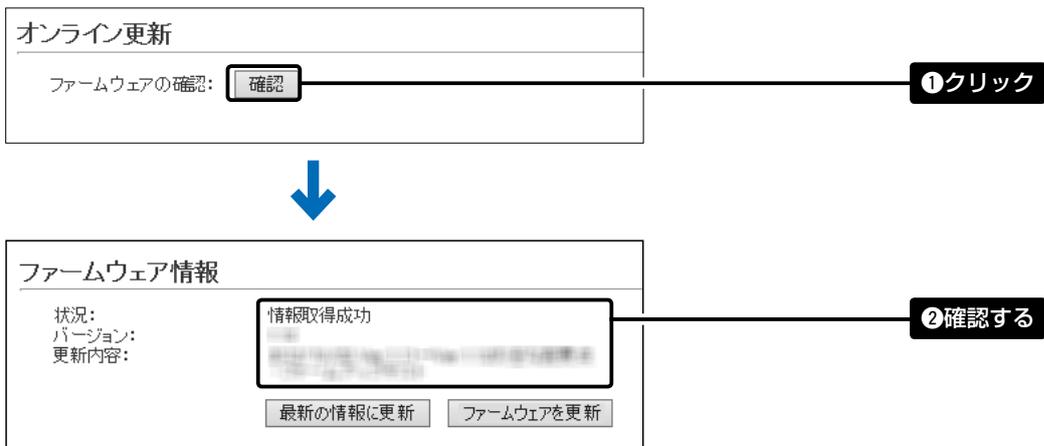
4. ファームウェアをバージョンアップする(つづき)

管理 > ファームウェアの更新

㊦ オンラインバージョンアップ

下記の手順で、最新のファームウェアを確認後、本製品のファームウェアをオンラインでバージョンアップできます。
※ ファームウェアの確認には、auの4G LTE(800MHz)網への接続環境が必要です。
※ バージョンアップの前に、現在の設定内容を保存されることをおすすめします。(P.7-2)

- 1 本製品のWEB画面にアクセスします。
- 2 「管理」メニュー、「ファームウェアの更新」の順にクリックします。
「ファームウェアの更新」画面が表示されます。
- 3 [ファームウェアの確認]欄の<確認>をクリックして、表示される更新内容(下記参照)を確認します。
※「接続失敗」、または「新しいファームウェアはありません。」が表示されたときは、バージョンアップは必要ありません。
◎接続失敗 : 本製品への更新情報ファイルがない場合
◎新しいファームウェアはありません : 取得情報が現在のファームウェアと一致した場合
◎情報取得成功 : バージョン *.*.*
更新内容 *****



- 4 <ファームウェアを更新>をクリックします。
アップデート管理サーバーにアクセスを開始します。
※バージョンアップにより、既存の設定内容が初期化されるファームウェアファイルがありますので、バージョンアップする前に、表示される更新内容をご確認ください。
- 5 更新が完了するまで、そのまま数分程度お待ちください。
アップデート管理サーバーに接続すると、ファームウェアのダウンロードを開始し、更新後は、自動的に再起動します。

ファームウェア更新中は絶対に本体の電源を切らないでください。
ファームウェア更新中はブラウザを閉じず、そのままお待ちください。
ファームウェアの更新が完了すると、本体は自動で再起動します。

5. USBメモリーによる自動設定機能について

■ USBメモリーによる自動設定機能について

本製品の[USB]コネクタにUSBメモリー(市販品)を接続して電源を入れると、あらかじめUSBメモリーに保存されたファームウェアファイルや設定ファイル(本製品の設定が保存されたファイル)などを本製品に自動で読み込みます。

また、本製品のMACアドレスをフォルダー名とするフォルダーを作成することで、1つのUSBメモリーを使用して、複数台(本製品)の設定復元やファームウェアのバージョンアップができます。

※操作方法については、7-10ページ～7-12ページをご覧ください。

◎ファームウェアの更新(P.7-15)

本製品のファームウェアファイル(拡張子: dat)をUSBメモリーに保存後、本製品にUSBメモリーを差し込んで、ファームウェアをバージョンアップします。

※アップデート用ファームウェアファイルは一般には公開していません。

※販売店から連絡があった場合に限り、手動で更新してください。

◎設定の保存/復元(P.7-13)

本製品の設定ファイルをUSBメモリーに保存後、本製品にUSBメモリーを差し込んで、自動で設定を復元します。

ご参考に

「管理」メニューの「管理ツール」で、[USBメモリー]欄が「有効」に設定されているとき、USBメモリーが差し込まれた本製品の電源を入れると、USBメモリーへのアクセスが開始されます。(初期値: 無効)

USB設定

USBメモリー: 無効 有効
USBアクセス許可: ファームウェアの更新
 設定の保存/復元

(次ページにつづく)

5. USBメモリーによる自動設定機能について

■ USBメモリーによる自動設定機能について(つづき)

【USBメモリー使用時のご注意】

- ◎ 指紋認証型、アプリケーション認証(パスワード認証)型など、セキュリティー対応型のUSBメモリーは使用できません。
- ◎ ご使用になる前に、あらかじめ、USBメモリー内のデータをバックアップしてください。
- ◎ データ保護のため、必ず本製品の電源を切ってから、USBメモリーの接続や取りはずしをしてください。
設定保存/復元、ファームウェアのバージョンアップを使用する場合など、USBメモリーにアクセス中([MSG]ランプ緑点灯中)は、絶対にUSBメモリーを取りはずさないでください。
ファイルの消失や故障の原因になります。
- ◎ USBメモリーを差し込むときは、形状と差し込み方向に注意して、奥まで確実に差し込んでください。
- ◎ 設定を復元する直前の設定値は、設定ファイル(bakdata.sav)として、本製品に接続したUSBメモリーにバックアップされます。
- ◎ USBメモリーに保存された設定ファイルやファームウェアファイルが、本製品に適用されているものと同じ場合や、破損していたり、本製品以外のものであったりするときは、自動設定、またはファームウェアの更新をしません。
※本製品で動作中のものより古い設定ファイルやファームウェアファイルが、USBメモリーに保存されている場合は、その内容で自動設定されます。
- ◎ 設定ファイルとファームウェアファイルの両方がUSBメモリーに保存されている場合は、設定復元、ファームウェアのバージョンアップの順に自動設定を実行します。

【対応するUSBメモリーの規格】

インターフェース : USB2.0/1.1(USB3.0接続時は、USB2.0で動作します。)

デバイス : USB 大容量デバイス(USB Mass Storage Class)

フォーマット : FAT16/FAT32(exFATやNTFSなど、ほかのフォーマットには対応していません。)

※すべてのUSBメモリーでの動作を保証するものではありません。

(次ページにつづく)

5. USBメモリーによる自動設定機能について(つづき)

■ USBメモリーによる自動設定機能について

【自動設定に使用するファイル名の付けかた】

設定ファイル名は、「savedata」(拡張子：sav)でUSBメモリーに保存してください。

※自動設定に使用する設定ファイルは、「管理」メニュー→「設定の保存」画面→[設定の保存]項目(P.7-2)で保存したものと、自動バックアップされる設定ファイル以外は、使用できません。

ファームウェアファイル名は、「firmware」(拡張子：dat)でUSBメモリーに保存してください。

※ファームウェアの自動バージョンアップに使用するファームウェアファイルは、圧縮ファイル(ZIP形式)を解凍してから、ファームウェアファイル名を変更してください。

【自動バックアップされる設定ファイルについて】

バックアップは、下記のファイル名で、最大10世代前まで自動バックアップされます。

最新のバックアップ設定ファイルは、bakdata.savで自動バックアップされます。

例：1世代前のファイル名	bakdata_1.sav
2世代前のファイル名	bakdata_2.sav
3世代前のファイル名	bakdata_3.sav
～ 中略 ～	
10世代前のファイル名	bakdata_10.sav

※10世代を超えると、最も古いバックアップ設定ファイル(bakdata_10.sav)が削除されます。

また、削除と同時に、ファイル名の数字が1世代後退します。(例：bakdata_9.sav→bakdata_10.sav)

※ファームウェアファイルは、バックアップされません。

※本製品の設定内容を変更した場合に、設定ファイル(bakdata.sav)が自動バックアップされます。

(次ページにつづく)

7 保守について

5. USBメモリーによる自動設定機能について

■ USBメモリーによる自動設定機能について(つづき)

【複数台分の設定ファイルを1つのUSBメモリーで管理するには】

1つのUSBメモリーを使用して、本製品(複数台分)の設定復元やファームウェアのバージョンアップをするときは、あらかじめ、本製品のMACアドレス(P.5-9)をフォルダー名[★]とするフォルダーを作成し、そのフォルダーに本製品の設定ファイルやファームウェアファイルを保存しておく必要があります。

★全角のフォルダー名は使用できません。

ルートディレクトリーにフォルダーがないとき

自身のMACアドレスと一致するフォルダーがないため、USBメモリーのルートディレクトリーにバックアップ設定ファイルを作成します。

自身のMACアドレスと一致するフォルダーがないため、ルートディレクトリーにある設定ファイルやファームウェアファイルを読み込みます。

自身のMACアドレス(例：0090C7000001)と一致するフォルダーがあるとき

あらかじめ作成しておいたフォルダーの中にバックアップ設定ファイルを作成します。

あらかじめ作成しておいたフォルダーの中にある設定ファイルやファームウェアファイルを読み込みます。

自身のMACアドレス(例：0090C7000002)と一致するフォルダーがないとき

自身のMACアドレスと一致するフォルダーがないため、USBメモリーのルートディレクトリーにバックアップ設定ファイルを作成します。

自身のMACアドレスと一致するフォルダーがないため、ルートディレクトリーにある設定ファイルやファームウェアファイルを読み込みます。

7 保守について

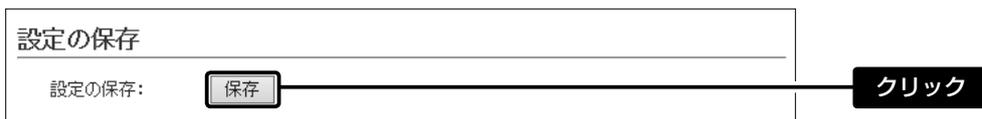
6. USBメモリーから自動で設定を復元するには

本製品の設定ファイルをUSBメモリー(市販品)に保存後、設定が異なる本製品にUSBメモリーを差し込んで、自動で設定を復元するまでの手順について説明します。

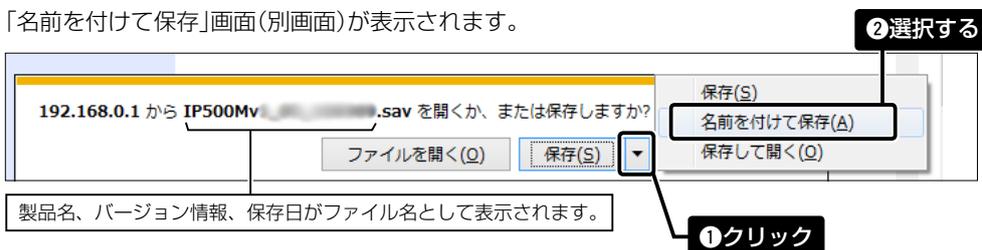
※ 使用条件については、「USBメモリーによる自動設定機能について」(P.7-9)をご覧ください。

設定ファイルを保存して復元するまでの手順

- 1 USBメモリーをパソコンに差し込みます。
- 2 本製品のWEB画面にアクセスします。
- 3 「管理」メニュー、「設定の保存」の順にクリックします。
「設定の保存」画面が表示されます。
- 4 「設定の保存」欄の〈保存〉をクリックします。
ファイルの確認画面(別画面)が表示されます。



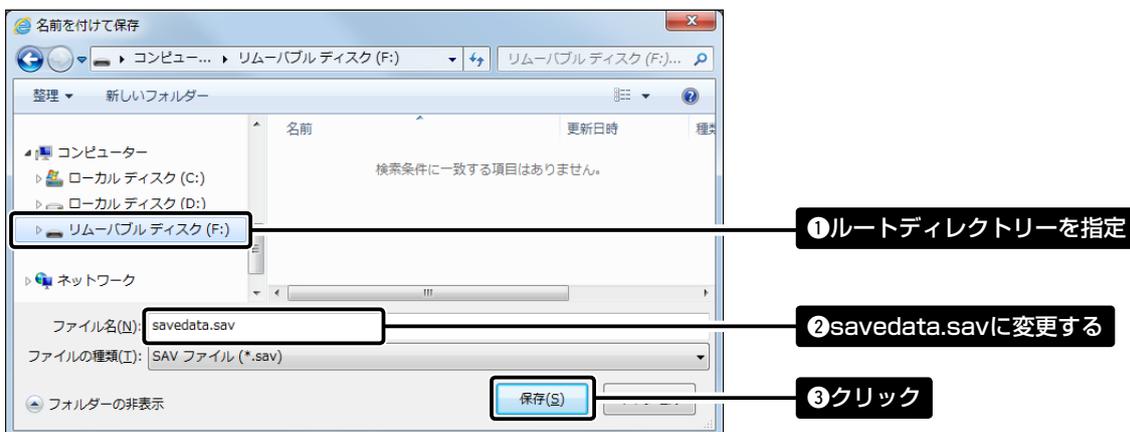
- 5 〈保存(S)〉の「▼」をクリックして、「名前を付けて保存(A)」を選択します。
「名前を付けて保存」画面(別画面)が表示されます。



- 6 「名前を付けて保存」(別画面)画面で、設定ファイルの保存先にUSBメモリーのルートディレクトリーを指定し、ファイル名を「savedata.sav」に変更してから、〈保存(S)〉をクリックします。

※ ファイル名は、必ず「savedata.sav」に変更してください。

「savedata.sav」以外のファイル名では、USBメモリーからの復元に使用できません。



(次ページにつづく)

7 保守について

6. USBメモリーから自動で設定を復元するには

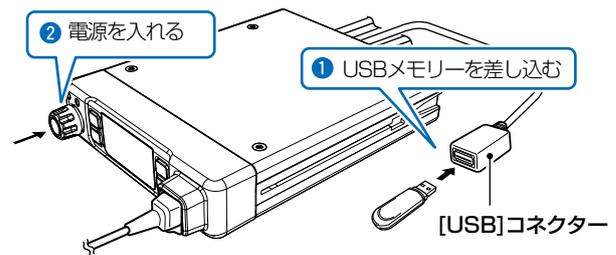
設定ファイルを保存して復元するまでの手順(つづき)

7 USBメモリーをパソコンから取りはずします。
※USBメモリーの取りはずしかたは、各周辺機器に付属する取扱説明書の記載内容にしたがってください。

8 設定を復元する本製品を用意します。

9 本製品の電源を切ります。

10 「電源OFF…」の表示が消えたことを確認し、savedata.savが保存されたUSBメモリーを本製品の[USB]コネクタに差し込んでから、本製品の電源を入れます。



11 USBメモリーへのアクセスを開始すると、[MSG]ランプが緑色で点灯します。

【ご注意】 設定復元(アクセス)が完了するまで、絶対にUSBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりしないでください。

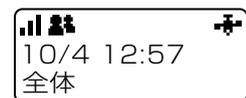
途中で、USBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりすると、設定ファイルの消失や故障の原因になります。また、設定復元が完了するまで、本製品のWEB画面にアクセスしないでください。

12 待受画面に切り替わったことを確認してから本製品の電源を切ります。

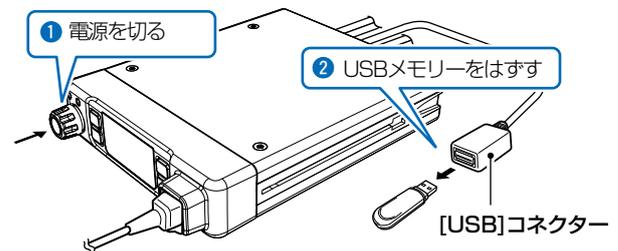
「電源OFF…」の表示が消えたことを確認し、本製品からUSBメモリーを取りはずします。

※USBメモリーには、復元前の設定内容を保存した設定ファイルが自動でバックアップファイル(bakdata.sav)として保存されています。

【ご注意】 データ保護のため、必ず本製品の電源を切ってから、USBメモリーを取りはずしてください。



待受画面



ご参考に

「管理」メニューの「管理ツール」で、[USBメモリー]欄が「有効」に設定されているとき、USBメモリーが差し込まれた本製品の電源を入れると、USBメモリーへのアクセスが開始されます。(P.5-78)

7 保守について

7. USBメモリーからファームウェアをバージョンアップするには

本製品のファームウェアファイル(拡張子: dat)をUSBメモリー(市販品)に保存して、本製品のファームウェアをバージョンアップするまでの手順について説明します。

※アップデート用ファームウェアファイルは一般には公開していません。

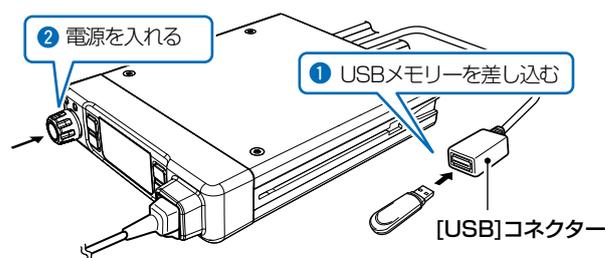
※販売店から連絡があった場合に限り、手動で更新してください。

※使用条件については、「USBメモリーによる自動設定機能について」(P.7-9)をご覧ください。

※バージョンアップの前に、「バージョンアップについてのご注意」(P.7-6)をご覧ください。

バージョンアップするまでの手順

- 1 本製品のファームウェアファイルが圧縮されている場合、必要に応じて解凍します。
- 2 ファームウェアファイルのファイル名「firmware.dat」を確認します。
※ファイル名が異なる場合は、必ず「firmware.dat」に変更してください。
「firmware.dat」以外のファイル名は、USBメモリーからのバージョンアップに使用できません。
- 3 USBメモリーをパソコンに差し込みます。
- 4 firmware.datをUSBメモリーのルートディレクトリーに保存します。
- 5 USBメモリーをパソコンから取りはずします。
※USBメモリーの取りはずしかたは、各周辺機器に付属する取扱説明書の記載内容にしたがってください。
- 6 バージョンアップする本製品を用意します。
- 7 本製品の電源を切り、本製品に接続するすべての機器を取りはずします。
- 8 firmware.datが保存されたUSBメモリーを本製品の[USB]コネクタに差し込んでから、本製品の電源を入れます。



- 9 USBメモリーへのアクセスを開始すると、[MSG]ランプが緑色で点灯します。
【ご注意】 ファームウェアのバージョンアップが完了するまで、絶対にUSBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりしないでください。
バージョンアップ中に、USBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりすると、故障の原因になります。

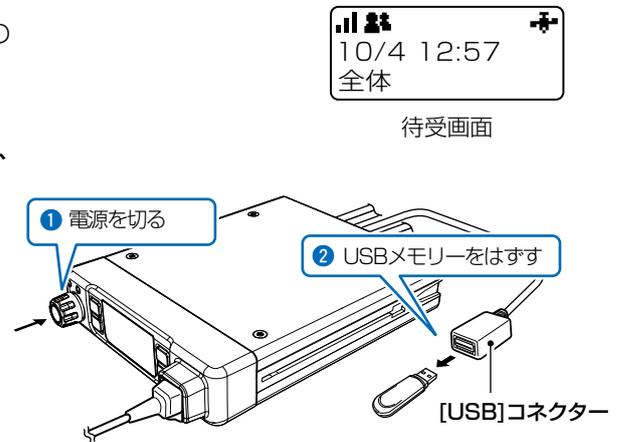
(次ページにつづく)

7 保守について

7. USBメモリーからファームウェアをバージョンアップするには

バージョンアップするまでの手順(つづき)

- 10** 待受画面に切り替わったことを確認してから本製品の電源を切ります。
最後に、本製品からUSBメモリーを取りはずします。
【ご注意】 データ保護のため、必ず本製品の電源を切ってから、USBメモリーを取りはずしてください。



バージョンアップ操作後の確認について

ファームウェアを更新した場合は、正しく更新できているかどうか、無線機の電源を入れたときに表示されるファームウェアバージョンを確認してください。(P.1-2)

※本製品のWEB画面にアクセスしても、ファームウェアバージョンを確認できます。(P.7-6)

※USBメモリーに保存された設定ファイルやファームウェアファイルが本製品に適用されているものと同一とき、破損や本製品以外のものである場合は、自動設定、またはファームウェアの更新をしません。

7 保守について

8. ヒューズの交換について

DC電源ケーブル(付属品)には、2本のヒューズが使用されています。

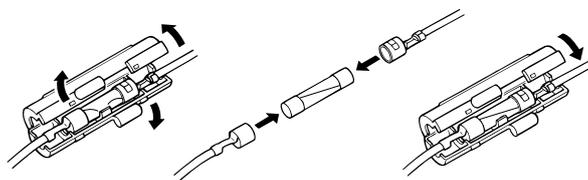
マイク分岐BOX(別売品：OPC-2330)をご使用の場合は、無線機のDC電源ケーブルとヒューズが異なりますので、間違えないようにご注意ください。

◎無線機に使用するヒューズ : 125V/5A

◎マイク分岐BOXに使用するヒューズ : 125V/2A

※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。

※下図のヒューズカバーには、「5A」、「2A」のシールが貼られています。



この章では、
困ったときの対処方法、仕様などを説明しています。

1. 困ったときは	8-2
2. アフターサービスについて	8-4
3. WEB画面の構成について	8-5
4. 定格について	8-11
■ 一般仕様	8-11
■ 音声部	8-11
■ 有線LAN部	8-11
■ 無線LAN部	8-11
■ HM-204 防水スピーカーマイクロホン	8-12
■ HM-230 テンキー付きマイクロホン	8-12

8 ご参考に

1. 困ったときは

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.8-4)までお問い合わせください。

電源が入らない

- **接続端子の接触不良**
→ 安定化電源装置、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)との接続を確認する(別紙のIP500M取付ガイド)
- **DC電源ケーブルのヒューズが切れている**
→ 原因を取り除いたあとで、新品のヒューズと交換する(P.7-17)

スピーカーから音が聞こえない

- **音量が最小に調整されている**
→ 無線機本体の音量レベルを確認する(P.1-4)
- **マイクロホン、または外部スピーカー端子が接続されていない**
→ マイクロホン、または外部スピーカーが正常に接続されているか、ケーブルが断線していないかを点検する

相手から応答がない

- **圏外(点滅)になっている**
→ 場所を移動してから通話してみる
- **未レジスト(点灯)になっている**
→ 再レジストのために、[PTT](送信)スイッチを押す
→ しばらく待つ、または場所を移動する
→ LTEの回線契約、開通が完了しているかどうかを確認する
- **相手局が不在、または電源を切っている**
→ 相手局の状態を確認する

操作キーを押すと、「キーロック」と表示される

- **ロック機能が動作している**
→ ロック機能を解除する(P.1-11)

圏外(点滅)、または「接続試行中」と表示される

- **電波が不安定な場所にいる**
→ 場所を移動してみる
→ 無線機の電源を入れなおす

電源を入れても、「ACC端子未接続」と表示されて電源が切れる

- **ACC連動ケーブルを接続していない**
→ 自動車の鍵(エンジンスイッチ)の操作と連動する電源にACC連動ケーブルを接続する
→ 卓上電源装置(別売品:PS-230A)に接続する場合は、SETモードで、「ACC端子接続確認」を「無効」に変更する

本製品のWEB画面にアクセスできない

- **パソコンのIPアドレスを設定していない**
→ 初期導入時や全設定初期化時は、パソコンのIPアドレスを固定IPアドレスに設定する(P.5-4)
- **IPアドレスのネットワーク部が、本製品とパソコンで異なっている**
→ パソコンに設定されたIPアドレスのネットワーク部を本製品と同じにする(P.5-7)
- **LANケーブルが本製品と正しく接続されていない**
→ 本製品やパソコンの[LAN]ポート、またはLANケーブルを確認する
- **ご使用のWWWブラウザにプロキシサーバーが設定されている**
→ Internet Explorer®の「ツール(T)」メニューから「インターネットオプション(O)」、「接続」タブ、「LANの設定(L)」の順に操作して、「設定を自動的に検出する(A)」や「LANにプロキシサーバーを使用する(X)」にチェックマークが入っていないことを確認する

1. 困ったときは(つづき)

本製品のWEB画面が正しく表示されない

- WWWブラウザのJavaScript®機能、およびCookieを無効に設定している
→ JavaScript®機能、およびCookieを有効に設定する
- Microsoft® Internet Explorer® 8.0以前を使用している
→ Microsoft® Internet Explorer® 9.0以降を使用する

無線LAN通信ができない

- パソコンの無線LANが機能していない
→ ご使用のパソコン、または無線LANアダプターに付属の取扱説明書を確認する
- 無線LAN端末と本製品の無線LAN規格が異なっている
→ ご使用になる無線LAN端末が準拠している無線LAN規格を確認する
- 本製品の無線LAN機能を無効に設定している
→ 本製品の無線LAN機能を有効に設定する
- 通信終了後、無線通信しない状態が4分以上つづいた
→ 本製品に再度アクセスして点灯することを確認する
- 無線LAN端末の通信モードが「アドホック」になっている
→ 無線通信モードを「インフラストラクチャー」に変更する
- SSID(またはESSID)の設定が異なっている
→ 本製品と無線LAN端末のSSIDを確認する
- 暗号化認証モードが異なるタイプである
→ 無線LAN端末、または本製品の認証モードを同じ設定にする
- MACアドレスフィルタリングで通信できる端末を制限している
→ 通信を許可する無線LAN端末のMACアドレスを本製品に登録する
- 本製品のANY接続拒否機能を有効に設定している
→ 本製品のANY接続拒否機能を無効に設定する
- 暗号化セキュリティーの設定が異なっている
→ 本製品と無線LAN端末の暗号化セキュリティーの設定を確認する

IEEE802.11n規格で通信できない

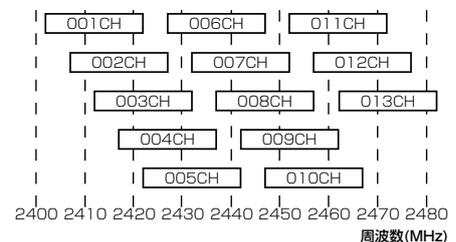
- 無線LAN端末がIEEE802.11n規格に準拠していない
→ IEEE802.11n規格に準拠した無線LAN端末を使用する
- 「AES」以外の暗号化セキュリティーを使用している
→ IEEE802.11n規格で通信する場合は、暗号化設定を「なし」、または「AES」に設定する

2.4GHz帯使用時に電波干渉が発生した

本製品の近くに2.4GHz帯の無線アクセスポイントやビル間通信機器が存在する

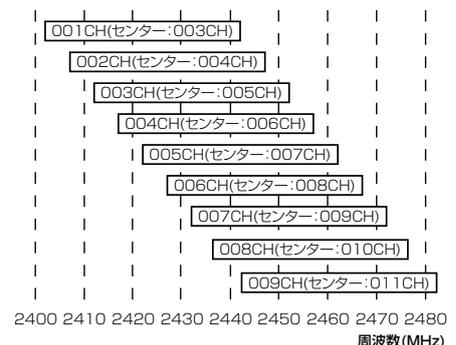
【帯域幅が20MHzの場合】(帯域の1部が重複)

- 使用場所を移動する
- 近くに存在するネットワークグループと4チャンネル以上空けて、本製品のチャンネルを変更する
※たとえば、お互いの設定を「001CH(2412MHz)」-「006CH(2437MHz)」-「011CH(2462MHz)」にすると電波干渉しません。



【帯域幅が40MHzの場合】(帯域の1部がすべてのチャンネルで重複)

- 使用場所を移動する
- 本製品の帯域幅(20MHz)やパワーレベルを変更する
- 本製品のチャンネルを変更する
※たとえば、お互いの設定を、「001CH(2412MHz)」-「009CH(2452MHz)」にすると電波干渉しません。
※通常(20MHz)の2倍の周波数帯域幅を使用するため、設定できるのは「001CH(2412MHz)~009CH(2452MHz)」だけです。



2. アフターサービスについて

「困ったときは」(P.8-2)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00～17:00)

電子メール：support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

3. WEB画面の構成について

本製品の全設定を初期化したとき、WWWブラウザに表示される画面構成です。

※お買い上げ時の設定により、初期値設定の変更や一部の設定項目が使用できないことがあります。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご注意

- ◎WEB画面、CS-IP500M、SETモード(基本/詳細)により、表示される項目が異なります。
- ◎CS-IP500Mで設定保存や復元するときは、設定情報をクローニング形式(拡張子:ini)で保存し、それを読み込んで無線機本体に転送します。
※WEB画面で保存する設定ファイル(拡張子:sav)と互換性はありません。
- ◎SETモードには、ACC端子接続確認(有効/無効)、ICCID(表示)、履歴(削除操作)があります。
※詳細には、FIRM UP(オンライン確認)、LTEユニットバージョン表示があります。
※ICCIDは、WEB画面のTOPでも確認できます。(CS-IP500Mにはありません。)

設定メニュー	設定画面	設定項目	WEB画面	CS-IP500M	SETモード		
					基本	詳細	
情報表示	SYSLOG	SYSLOG					
		SYSLOG	○				
	統計情報	メモリー使用率					
		表示間隔	○				
		自動リロード	○				
		トラフィック統計					
		表示するインターフェース	○				
		表示間隔	○				
		自動リロード	○				
		一括ウィンドウ表示	○				
		ネットワーク設定	本体IPアドレス	本体名称			
				本体名称	○		
				VLAN設定			
マネージメントID	○			○			
IPアドレス設定							
IPアドレス	○			○			
サブネットマスク	○			○			
デフォルトゲートウェイ	○			○			
プライマリーDNSサーバー	○			○			
セカンダリーDNSサーバー	○			○			
DHCPサーバー	DHCPサーバー設定						
	DHCPサーバー			○	○		
	割り当て開始IPアドレス			○	○		
	割り当て個数			○	○		
	サブネットマスク			○	○		
	リース期間			○	○		
	ドメイン名		○	○			
	デフォルトゲートウェイ	○	○				
	プライマリーDNSサーバー	○	○				
	セカンダリーDNSサーバー	○	○				
静的DHCPサーバー設定							
MACアドレス	○	○					
IPアドレス	○	○					

3. WEB画面の構成について(つづき)

設定メニュー	設定画面	設定項目	WEB画面	CS-IP500M	SETモード		
					基本	詳細	
無線LAN設定	無線LAN	無線LAN設定					
		無線UNIT	○	○			
		帯域幅	○	○			
		チャンネル	○	○			
		パワーレベル	○	○			
		DTIM間隔	○	○			
	仮想AP	仮想AP設定					
		インターフェース	○	○			
		仮想AP	○	○			
		SSID	○	○			
		VLAN ID	○	○			
		ANY接続拒否	○	○			
		接続端末制限	○	○			
		暗号化設定					
		ネットワーク認証	○	○			
		暗号化方式	○	○			
		キージェネレーター	○	○			
		WEPキー	○	○			
		PSK (Pre-Shared Key)	○	○			
		WPAキー更新間隔	○	○			
		MACアドレスフィルタリング	MACアドレスフィルタリング設定				
	インターフェース		○	○			
	MACアドレスフィルタリング		○	○			
	フィルタリングポリシー		○	○			
	端末MACアドレスリスト						
	無線機設定	無線機基本	表示部				
			表示項目	○	○		
名前			○	○			
バックライト(本体)			○	○		○	
バックライト(テンキーマイク)			○	○		○	
コントラスト(本体)			○	○	○	○	
コントラスト(テンキーマイク)			○	○	○	○	
送信動作							
送信禁止			○	○			
呼出先指定							
待受画面での呼出			○	○		○	
アドレス帳からの呼出			○	○			
アドレス帳先頭番号			○	○			
全体呼出の表示			○	○			
呼出種別			○	○			
呼出先番号			○	○			
起動時のトークグループ指定			○	○			
受信通知							
通知音量			○	○	○	○	
通知音(受信通知を除く)							
通知音量	○	○	○	○			

3. WEB画面の構成について(つづき)

設定メニュー	設定画面	設定項目	WEB画面	CS-IP500M	SETモード	
					基本	詳細
		機能設定				
		通信方式	○	○		
		優先呼出	○	○		
		メッセージ	○	○		
		メッセージ先頭番号	○	○		
		プレゼンス	○	○		
		キー割当				
		オプションキー(P1、P2、P3、緊急)	○	○		
		メッセージ番号	○	○		
		呼出種別	○	○		
		呼出先番号	○	○		
		受信音声ミュート自動解除	○	○		
		時間	○	○		
		通話中の電話切断	○	○		
		テンキー設定				
		テンキー呼出	○	○		
		開始呼出種別	○	○		
		テンキー発信規制	○	○		
		オプション機能	○	○		
		ワンタッチ(0～9、*、#)	○	○		
		アドレス帳検索	○	○		
		接続確認				
		接続確認	○	○		
		キー操作音				
		キー操作音	○	○	○	○
		音量	○	○	○	○
		マイク				
		マイクゲイン	○	○	○	○
		エコーキャンセラー	○	○		○
		ノイズキャンセラー	○	○		○
		エマージェンシー設定				
		エマージェンシー	○	○		
		履歴キーへの割当	○	○		
		動作判定時間	○	○		
		解除判定時間	○	○		
		警告音	○	○		
		音量	○	○		
		呼出種別	○	○		
		呼出先番号	○	○		
		応答後の解除	○	○		
		自動解除	○	○		
		時間	○	○		
		エマージェンシー着信設定				
		警告音	○	○		
		音量	○	○		
		Lone Worker設定				
		Lone worker	○	○		
		Lone worker監視タイマー	○	○		
		Lone worker警告タイマー	○	○		
		PTT遅延タイマー	○	○		

3. WEB画面の構成について(つづき)

設定メニュー	設定画面	設定項目	WEB画面	CS-IP500M	SETモード	
					基本	詳細
		V/RoIP設定				
		ジッターバッファ種別	○	○		○
		ジッターバッファサイズ	○	○		○
		セキュリティ設定				
		アクセスパスワード	○	○		
		SETモード				
		RESET (基本モード)				
		RESET (詳細モード)	○	○		
		アクセス制限設定				
		クローンTCP/IP接続	○	○		
	無線機詳細	送信開始通知音				
		個別呼出	○	○		○
		グループ呼出	○	○		○
		全体呼出	○	○		○
		電話通信	○	○		○
		接続通知音				
		接続通知	○	○		○
		失敗通知	○	○		○
		受信通知音				
		個別呼出	○	○		○
		呼出方式	○	○		○
		呼出回数	○	○		○
		グループ呼出	○	○		○
		呼出方式	○	○		○
		呼出回数	○	○		○
		全体呼出	○	○		○
		呼出方式	○	○		○
		呼出回数	○	○		○
		電話通信呼出	○	○		○
		呼出方式	○	○		○
		呼出回数	○	○		○
		メッセージ受信	○	○		○
		呼出回数	○	○		○
		受信終了通知音				
		個別呼出	○	○		○
		グループ呼出	○	○		○
		全体呼出	○	○		○
		電話通信	○	○		○
		通信圏外通知				
		通信圏外通知音	○	○		○
		端末表示				
		相手局の表示切替	○	○		○
		履歴表示	○	○		
		トークグループ選択	○	○		
		終話判定				
		終話判定時間	○	○		
	終話判定時間(電話通信)	○	○			
	終話判定時間内の新規着信拒否	○	○			

3. WEB画面の構成について(つづき)

設定メニュー	設定画面	設定項目	WEB画面	CS-IP500M	SETモード		
					基本	詳細	
	アドレス帳	アドレス帳設定の保存と書き込み					
		保存したファイルを書き込む	○				
		ファイルに保存する	○				
		アドレス帳設定					
		番号	○	○			
		名前	○	○			
		ヨミガナ	○	○			
		呼出種別	○	○			
		呼出先番号	○	○			
	メッセージ	メッセージの保存と書き込み	保存したファイルを書き込む	○			
			ファイルに保存する	○			
			メッセージ設定				
			番号	○	○		
		定型文メッセージ	○	○			
プレゼンス	プレゼンス設定	ステータス番号	○	○			
		ステータス名	○	○			
無線機情報通知設定	無線機情報フィルタリング	無線機情報フィルタリング設定					
		無線機情報フィルタリング	○				
		フィルタリングポリシー	○				
		フィルタリングリスト設定					
		個別番号	○				
		フィルタリングリスト一括設定					
管理	管理者	管理者パスワードの変更					
		管理者ID	○				
		現在のパスワード	○				
		新しいパスワード	○				
		新しいパスワード再入力	○				
	管理ツール	USB設定	USBメモリ	○			
			USBアクセス許可	○			
	時計	時刻設定	本体の現在時刻	○			
			設定する時刻	○			
	SYSLOG	SYSLOG設定	DEBUG	○			
			INFO	○			
			NOTICE	○			
			ホストアドレス	○			
	SNMP	SNMP設定	SNMP	○			
			コミュニティID (GET)	○			
場所			○				
連絡先			○				

3. WEB画面の構成について(つづき)

設定メニュー	設定画面	設定項目	WEB画面	CS-IP500M	SETモード	
					基本	詳細
ネットワークテスト	ネットワークテスト	PINGテスト				
		ホスト	○			
		試行回数	○			
		パケットサイズ	○			
		タイムアウト時間	○			
		経路テスト				
		ノード	○			
		最大ホップ数	○			
		タイムアウト時間	○			
		DNS名前解決	○			
再起動	再起動	再起動				
		再起動	○			
設定の保存	設定の保存	設定の保存	○	○		
		設定の復元				
		設定ファイルの選択	○	○		
		復元	○	○		
		初期化				
初期化	初期化	初期化	○	○		○
		初期化				
ファームウェアの更新	ファームウェアの更新	オンライン更新				
		ファームウェアの確認	○			○
		手動更新				
		ファームウェアの選択	○	○		
		ファームウェアの更新	○	○		
		LTEモジュール情報				
		バージョン	○			○
ファームウェアの更新	○					

4. 定格について

■ 一般仕様

使用温度範囲：-10～+60℃
湿度：25～85%以下(結露状態を除く)
外形寸法：125(W)×29(H)×156(D) mm(突起物を除く)
重量：約870g(本体のみ)
電源：DC13.8V±10%/DC26.4V±10%
適合規格：クラスB情報技術装置(VCCI)
インターフェース：ランプ(TX/RX、MSG)
[USB]コネクター：USBタイプA(USB2.0/1.1)
[LAN]コネクター
外部機器接続ケーブル(Mini-DIN 9ピンコネクター)
外部スピーカージャック(φ3.5mm)
アンテナコネクター(LTE用×2、無線LANメンテナンス用×1)
防水関係：IP54

■ 音声部

音声符号形式：G.726
低周波出力：4W以上(外部スピーカー 4Ω 10%歪時)
マイクインピーダンス：600Ω
低周波負荷
インピーダンス：外部スピーカー 4Ω

■ 有線LAN部

通信速度：10/100/1000Mbps(自動切り替え/全二重)
インターフェース：[LAN]ポート(RJ-45型)×1(Auto MDI/MDI-X)
●IEEE802.3/10BASE-T準拠
●IEEE802.3u/100BASE-TX準拠
●IEEE802.3ab/1000BASE-T準拠

■ 無線LAN部

国際規格：IEEE802.11n準拠
IEEE802.11a準拠、IEEE802.11b/g準拠
国内規格：ARIB STD-T71/ARIB STD-T66
使用周波数範囲：5180～5700MHz
2412～2472MHz

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

4. 定格について(つづき)

■ HM-204 防水スピーカーマイクロホン

使用温度範囲：-20～+60℃

低周波出力：0.7W以上(8Ω、10%歪時)

低周波出力

インピーダンス：8Ω

重 量：約190g

寸 法：64.4(W)×90.5(H)×33.5(D) mm (突起物を除く)

■ HM-230 テンキー付きマイクロホン

使用温度範囲：-20～+60℃

低周波出力：0.7W以上(12Ω、10%歪時)

低周波出力

インピーダンス：12Ω

重 量：約250g

寸 法：60(W)×187(H)×37(D) mm (突起物を除く)

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

さくいん

A		V	
ACC端子接続確認	1-3, 4-3	VLAN ID	5-17, 5-27
AM-5	6-3	W	
C		WEB画面の構成	8-5
CS-IP500M	5-60, 5-61, 8-5	WEB画面へのアクセス	5-6
D		あ	
DFS機能	vi, 5-23	相手局の表示切替	4-3, 5-64
DHCPサーバー機能	5-20	アクセスパスワード	5-60
F		アドレス帳	5-68
FIRM UP	4-2	アドレス帳からの呼出	2-4, 2-5
I		暗号化設定	5-29
ICCID	4-3, 5-10	え	
IPアドレス	5-18	エコーキャンセラー	4-3, 5-56
L		エマージェンシー	3-12, 5-52
LANケーブルの接続	5-5	お	
Lone Worker	3-13	オプションキー	5-46
LTEユニットバージョン	4-3, 5-10	か	
M		仮想AP	5-26
MACアドレスフィルタリング	5-34	き	
O		キー操作音	4-3, 5-55
OPC-2330	6-4	キー操作音量	4-3
P		緊急呼び出し機能	3-12
PINGテスト	5-82	く	
PM-IP500	3-5, 3-6	クローンTCP/IP接続	5-61
Pベル	3-11, 4-2, 5-63	け	
S		経路テスト	5-83
SETモード	4-2, 4-4, 7-4, 8-5	こ	
SM-28	6-3	固定IPアドレスの設定	5-4
SNMP	5-81	コントラスト	4-3, 4-3
SSID	5-27	し	
SYSLOG	5-11, 5-80	自局番号	1-2
T		ジッターバッファ	4-3, 5-60
[TX/RX]ランプ	2-2	失敗通知	4-2, 5-62
U		シャットダウン処理	1-3
USBメモリー	5-78, 7-9	受信音声ミュート	5-50
		受信したメッセージの確認	3-5

さくいん

受信終了通知音…………… 4-2, 5-64
受信通知音…………… 4-2, 5-63
受信通知音量…………… 4-2
受信通知回数…………… 4-2
受信通知方式…………… 4-2
初期化…………… 4-2, 7-4

せ

接続確認…………… 5-55
接続通知…………… 4-2, 5-62

そ

送信開始通知音…………… 4-2
送信開始通知音…………… 5-62
送信禁止…………… 5-40

た

帯域幅…………… v, 5-23

つ

通信圏外通知音…………… 4-2, 5-64
通信方式…………… 5-42
通知音量…………… 4-3

て

デフォルトゲートウェイ…………… 5-18, 5-21
テンキー呼出…………… 5-51
電話切断…………… 5-49, 5-53

と

トークグループ…………… 3-8, 3-9
トラフィック統計…………… 5-15

の

ノイズキャンセラー…………… 4-3, 5-56

は

バージョン情報…………… 1-2, 7-6
パスワードの変更…………… 5-77
バックライト…………… 4-3, 4-3

ひ

ヒューズの交換…………… 7-17

ふ

ファームウェア…………… 4-2, 7-6
プレゼンス…………… 3-5, 5-45, 5-73

ほ

ポケットビープ…………… 3-11, 3-6, 4-2, 5-63
本体IPアドレスの変更…………… 5-7

ま

マイクゲイン…………… 4-3, 5-55
待受画面での呼出…………… 4-3, 5-40

む

無線LAN機能…………… 5-23
無線機情報フィルタリング設定…………… 5-74

め

メッセージ…………… 3-2, 3-3, 3-4

ゆ

優先呼出…………… 5-43

よ

呼出種別…………… 5-41

り

リセット…………… 4-2, 5-60, 7-4
履歴からの呼出…………… 2-6, 2-7
履歴の消去…………… 2-8, 2-9

れ

連続送信…………… 2-3

わ

ワンタッチ…………… 5-48

高品質がテーマです。